

(5) 鳥類調査(広域調査)

1) 調査地点

表 5.1 鳥類調査時の調査位置一覧

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	St.1	35 ° 32 17.46	139 ° 45 50.19	
2	St.2	35 ° 32 26.68	139 ° 45 26.72	
3	St.3	35 ° 32 29.37	139 ° 44 29.70	
4	St.4	35 ° 32 42.15	139 ° 44 29.86	
5	St.5	35 ° 32 44.88	139 ° 45 7.13	
6	St.6	35 ° 32 38.24	139 ° 45 47.88	
7	St.7	35 ° 32 26.38	139 ° 44 53.83	

2) 調査方法

表 5.2 鳥類の調査手法

調査方法	定点観察法	任意観察法
概要		
	R2年度春季 (R2. 4. 25, R2. 5. 7)	
		
R2年度秋季 (R2. 9. 20, 9. 3)		
概要		
	R2年度冬季 (R3. 2. 10)	
	<p>定点観察法は、調査範囲内に設定した調査定点に留まり、8～10倍程度の双眼鏡及び20～40倍程度の望遠鏡を用いて周辺に出現する鳥類を目視、または鳴き声等によって確認する手法である。</p> <p>本調査では、視野の範囲内で識別できる典型種(カモメ類、カモ類、シギ・チドリ類)を対象とし、出現した典型種の種名・個体数・確認箇所・行動・飛翔高度等を記録した。なお、定点は、調査範囲内全域を視認できるように5地点を設定した。</p>	<p>任意確認法は、8～10倍程度の双眼鏡を用いて周辺に出現する鳥類を姿または鳴き声によって確認する調査手法である。</p> <p>本調査では、確認した鳥類の種名、確認環境、繁殖行動等を記録した。</p>
備考	<p>定点観察の時間帯は、調査日の潮回りを考慮し、満潮時、下げ潮時、干潮時、上げ潮時の4回を設定した。</p>	<p>本調査では、調査範囲内において繁殖を行っている可能性のある種について特に観察を行った。</p>

3) 重要種の選定基準

表 5.3 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・ 発行者	制定・発 行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
	法律	文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2019」(環境省、2019年)に記載されている種	環境省	2019	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2013～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種 本調査では、「区部」の地域区分該当種が対象となる。	東京都	2013	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
	文献	神奈川県RDB	「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種	神奈川県	2006	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

3) 調査結果

調査結果は、次頁以降に示すとおりである。

表 5.4 鳥類確認種一覧

No.	分類			渡り 区分	調査年度									
	目名	科名	種名		H27	H28	H29	H30	R1	R2				
									4/22	5/7	9/1	9/13	2/10	
1	キジ	キジ	キジ	留鳥										
2	カモ	カモ	オカヨシガモ	冬鳥										
3			ヒドリガモ	冬鳥										
4			マガモ	留鳥										
5			カルガモ	留鳥										
6			オナガガモ	冬鳥										
7			コガモ	冬鳥										
8			ホシハジロ	冬鳥										
9			キンクロハジロ	冬鳥										
10			スズガモ	冬鳥										
11			ビロードキンクロ	冬鳥										
12			クログモ	冬鳥										
13			ホオジロガモ	冬鳥										
14			カウアイサ	冬鳥										
15			ウミアイサ	冬鳥										
16	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥										
17			カンムリカイツブリ	冬鳥										
18			ミミカイツブリ	冬鳥										
19			ハジロカイツブリ	冬鳥										
20	ハト	ハト	トバト	留鳥										
21			キジバト	留鳥										
22	カツオドリ	ウ	カウ	留鳥										
23			ウミウ	留鳥										
24	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	夏鳥										
25			ササゴイ	夏鳥										
26			アマサギ	旅鳥										
27			アオサギ	留鳥										
28			ダイサギ	留鳥										
29			チュウサギ	旅鳥										
30			コサギ	留鳥										
31			カラシラサギ	旅鳥										
32	ツル	クイナ	クイナ	冬鳥										
33			バン	留鳥										
34			オオバン	冬鳥										
35	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	夏鳥										
36	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	夏鳥										
37	チドリ	チドリ	ムナグロ	旅鳥										
38			ダイゼン	旅鳥										
39			コチドリ	夏鳥										
40			シロチドリ	旅鳥										
41			メダイチドリ	旅鳥										
42		ミヤコドリ	ミヤコドリ	旅鳥										
43		セイタカシギ	セイタカシギ	旅鳥										
44		シギ	タンシギ	旅鳥										
45			オオソリハシシギ	旅鳥										
46			チュウシャクシギ	旅鳥										
47			ダイシャクシギ	旅鳥										
48			ホウロクシギ	旅鳥										
49			アオアシシギ	旅鳥										
50			キアシシギ	旅鳥										
51			ソリハシシギ	旅鳥										
52			イソシギ	留鳥										
53			キョウジョシギ	旅鳥										
54			トウネン	旅鳥										
55			ハマシギ	旅鳥										
56		カモメ	ユリカモメ	冬鳥										
57			ウミネコ	留鳥										
58			カモメ	冬鳥										
59			セグロカモメ	冬鳥										
60			オオセグロカモメ	冬鳥										
61			コアシサシ	夏鳥										
62			アジサシ	旅鳥										
63	タカ	ミサゴ	ミサゴ	留鳥										
64		タカ	トビ	留鳥										
65			チュウヒ	旅鳥										
66			ノスリ	留鳥										
67	フクロウ	フクロウ	コムシズク	冬鳥										
68	ブッポウソウ	カウセミ	カウセミ	留鳥										
69	キツツキ	キツツキ	コゲラ	留鳥										
70	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	留鳥										
71			ハヤブサ	留鳥										
72	スズメ	モズ	モズ	留鳥										
73		カラス	カケス	留鳥										
74			オナガ	留鳥										
75			ハシボソガラス	留鳥										
76			ハシブトガラス	留鳥										
77		シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥										
78		ヒバリ	ヒバリ	留鳥										
79		ツバメ	ツバメ	夏鳥										
80			イワツバメ	夏鳥										
81		ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥										
82		ウグイス	ウグイス	留鳥										
83		ムシクイ	センダイムシクイ	夏鳥										
84		メジロ	メジロ	留鳥										
85		ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥										
86		セッカ	セッカ	留鳥										
87		ムクドリ	ムクドリ	留鳥										
88		ヒタキ	アカハラ	冬鳥										
89			ツグミ	冬鳥										
90			ジョウビタキ	冬鳥										
91			イソヒヨドリ	留鳥										
92		スズメ	スズメ	留鳥										
93		セキレイ	ハクセキレイ	留鳥										
94			セグロセキレイ	留鳥										
95			タヒバリ	冬鳥										
96		アトリ	カワラヒフ	留鳥										
97		ホオジロ	ホオジロ	留鳥										
98			カシラダカ	冬鳥										
99			アオジ	留鳥										
100			オオジョリ	冬鳥										
合計	16目	37科	100種		72種	42種	77種	68種	72種	42種	41種	29種	31種	54種

*種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

表 5.5 鳥類重要種一覧

No.	分類*1			渡り区分*2	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2年度調査実施時期			重要種選定基準*3						
	目名	科名	種名							春季	秋季	冬季	文化財	種の保存	環境省RL	東京都 (区部)	繁殖期	非繁殖期	
										4/25 5/7	8/20 9/3	2/10							
1	キジ	キジ	キジ	留鳥												EN			
2	カモ	カモ	スズガモ	冬鳥												留意			
3			ビロードキンクロ	冬鳥												DD			
4			クロガモ	冬鳥												DD			
5			ホオジロガモ	冬鳥												VU			
6	カイツブリ	カイツブリ	ウミアイサ	冬鳥											DD		NT		
7			カイツブリ	留鳥											NT				
8			カンムリカイツブリ	冬鳥												留意			
9	カツオドリ	ウ	ウミウ	留鳥													NT		
10	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	夏鳥										NT	CR	VU			
11			ササゴイ	夏鳥											CR	VU			
12			アマサギ	旅鳥													減少		
13			ダイサギ	留鳥												VU			
14			チュウサギ	旅鳥										NT	VU	VU			
15			コサギ	留鳥												VU			
16	ツル	クイナ	カラシラサギ	旅鳥										NT					
17			クイナ	冬鳥												DD		VU	
18			バン	留鳥												VU			
19			オオバン	冬鳥												VU			
20	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	夏鳥											VU	減少			
21	チドリ	チドリ	ムナグロ	旅鳥											VU	減少	減少		
22			ダイゼン	旅鳥												VU	減少		
23			コチドリ	夏鳥												VU	注目		
24			シロチドリ	留鳥										VU	VU	VU	NT		
25			メダイチドリ	旅鳥												NT		NT	
26			ミヤコドリ	旅鳥												EN			
27			チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	旅鳥									VU	EN			
28			シギ	タンギ	冬鳥												VU		注目
29				オオソリハシシギ	旅鳥											VU	EN	VU	
30				チュウシャクシギ	旅鳥												VU	VU	
31	ダイシャクシギ	旅鳥													CR	EN			
32	ホウロクシギ	旅鳥												VU	CR	EN			
33	アオアシシギ	旅鳥													NT	NT			
34	キアシシギ	旅鳥													VU	VU			
35	ソリハシシギ	旅鳥													VU	VU			
36	イソシギ	留鳥													VU	希少	注目		
37	キョウジョシギ	旅鳥													VU	VU			
38	トウネン	旅鳥													NT	NT	VU		
39	ハマシギ	旅鳥													NT	NT	VU		
40	カモメ	オオセグロカモメ		冬鳥											国際	VU	EN	CR+EN	
41		コアジサシ	夏鳥											国際	VU	EN	CR+EN		
42	タカ	ミサゴ	ミサゴ	留鳥										NT	EN	VU	NT		
43	タカ	トビ	留鳥												NT				
44		チュウヒ	旅鳥											国内	EN	EN	VU		
45		ノスリ	留鳥												EN	VU	希少		
46	フクロウ	フクロウ	コミミズク	冬鳥											CR	EN			
47	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥											VU				
48	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	留鳥											EN				
49		ハヤブサ	留鳥										国内	VU	EN	CR+EN	希少		
50	スズメ	モズ	モズ	留鳥											VU	減少			
51		ヒバリ	留鳥												VU	減少			
52		ツバメ	ツバメ	夏鳥												減少			
53			センダイムシクイ	夏鳥												NT			
54		ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥											VU	VU			
55		セッカ	セッカ	留鳥												減少	減少		
56		ヒタキ	アカハラ	冬鳥												減少			
57			イソヒヨドリ	留鳥												DD			
58		セキレイ	セグロセキレイ	留鳥											VU	減少			
59		アトリ	カワラヒワ	留鳥												減少			
60		ホオジロ	アオジ	留鳥												VU	減少		
61		アオジュリン	冬鳥														VU		
計	14目	26科	61種		40種	41種	41種	48種	38種	29種	19種	22種	0種	3種	13種	51種	21種	26種	

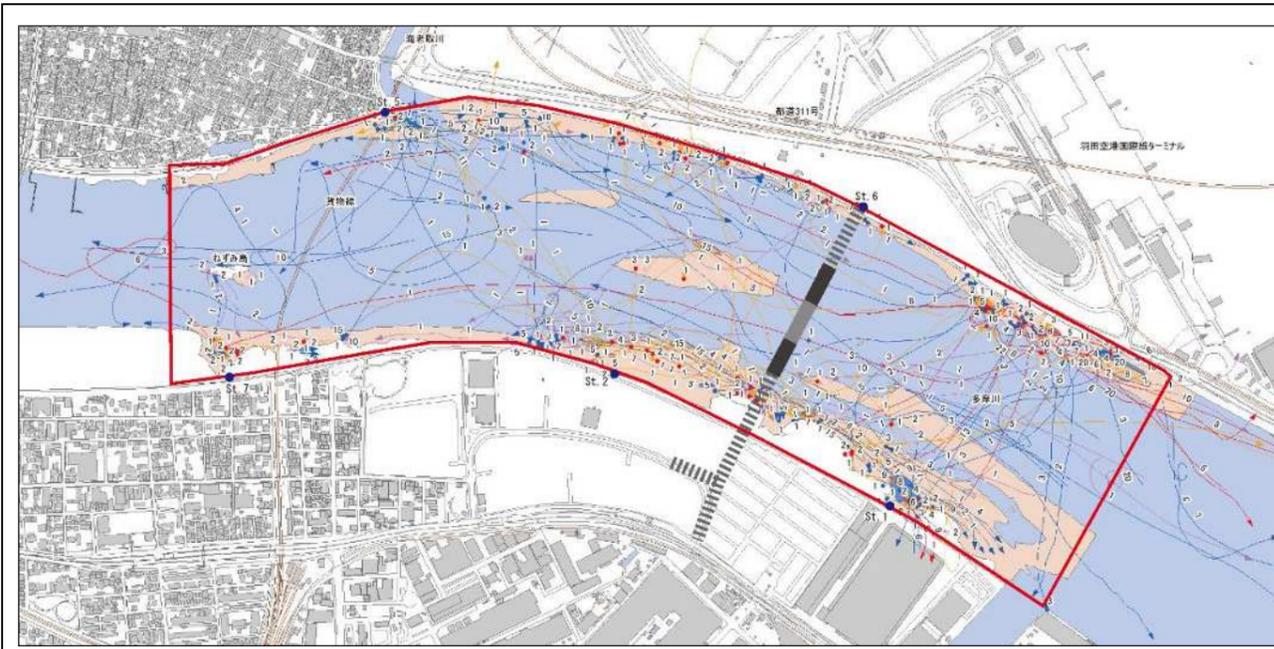
*種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

表 5.6 シギ・チドリ類の確認状況(調査日別)

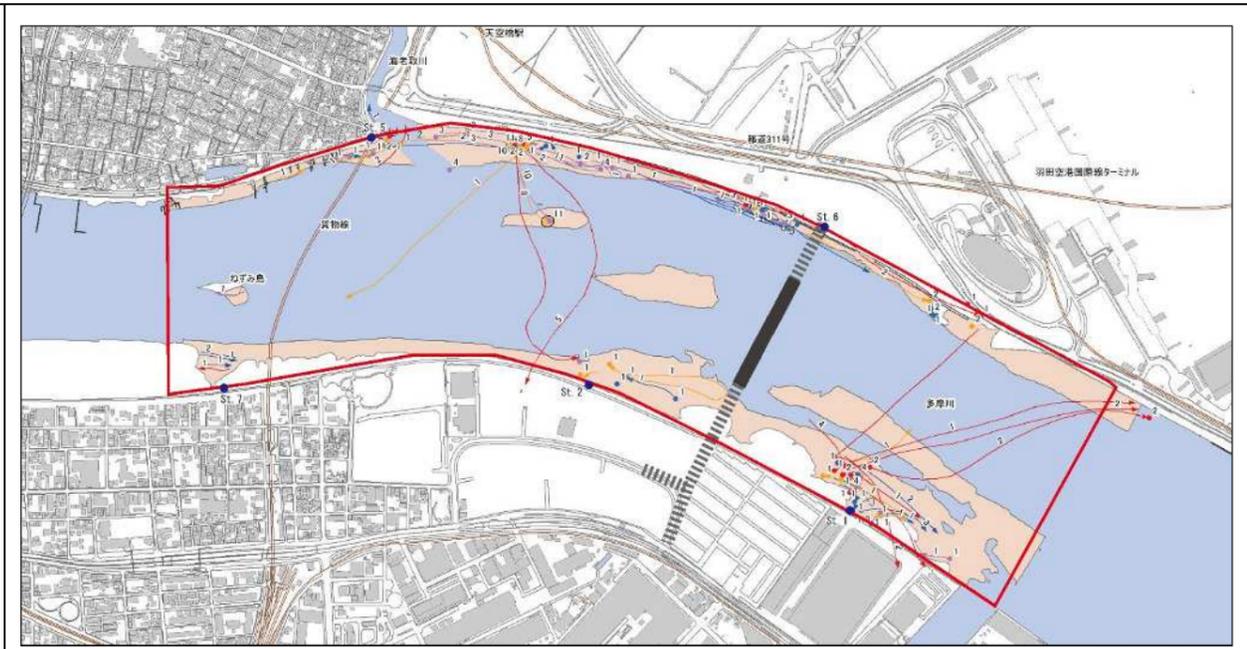
No.	分類			R2年度調査日				
	目名	科名	種名	4/25	5/7	8/20	9/3	2/10
1	チドリ	チドリ	ムナグロ		1			
2			コチドリ	10	2			
3			メダイチドリ	55	80	48	14	
4		シギ	タシギ	2				1
5			チュウシャクシギ	214	104			
6			キアシシギ	9	146	32	16	
7			ソリハシシギ		5	8		
8			オオソリハシシギ		2			
9			イソシギ	25	24	8	15	27
10			キョウジョシギ	24	68			
-		シギ科		20				
計	1目	2科	10種	339例	452例	96例	45例	28例
				7種	9種	4種	3種	2種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

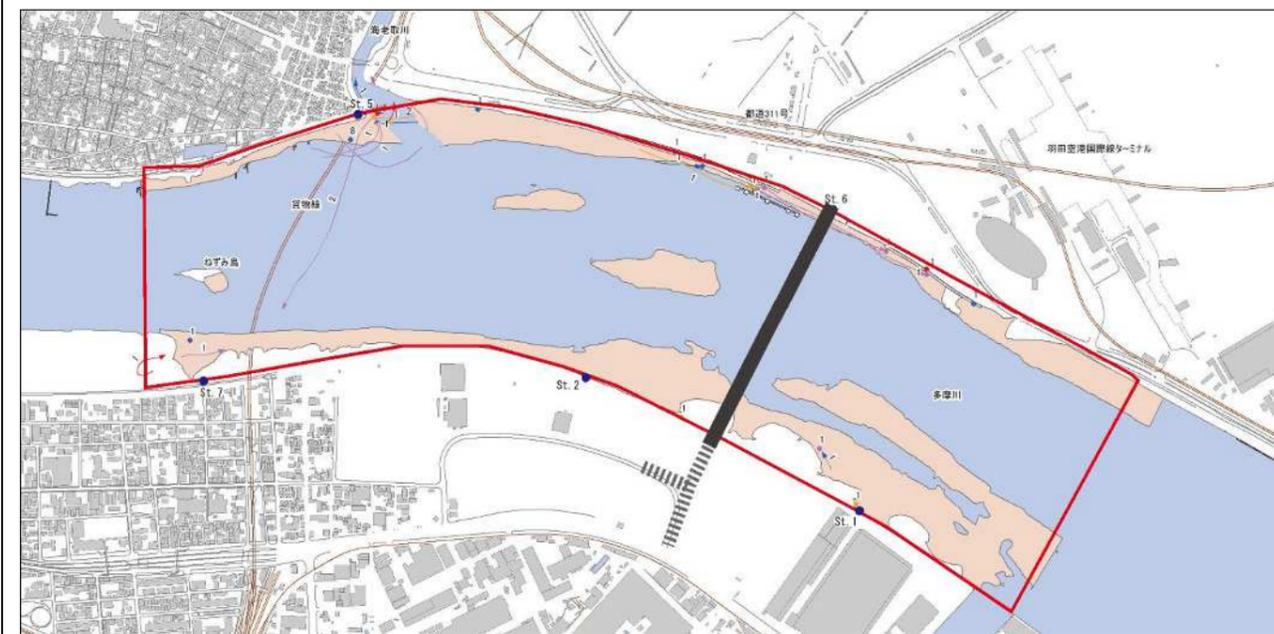
*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。



R2 年度春季(R2.4.25,5.7)



R2 年度秋季(R2.8.20, 9.3)



R2 年度冬季(R3.2.10)

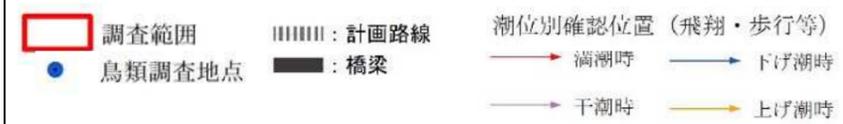


図 5.1 シギ・チドリ類確認位置(移動経路集積図)【R2 年度春季・秋季・冬季】

表 5.7 (1) 種別確認状況

項目	内容
種名	ムナグロ
一般的生態	全長約 24cm。旅鳥として、日本の海岸・干潟等に渡来する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): 減少
確認状況	令和 2 年 5 月 7 日に 1 例確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日:平成 31 年 4 月 22 日)令和 2 年度画像なし	
項目	内容
種名	コチドリ
一般的生態	全長 14-17cm。本州中部以北では夏鳥として、日本の河原、水田、干潟等に渡来する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (繁殖期): 注目
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 10 例、5 月 7 日に 2 例確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日:令和元年 5 月 7 日)令和 2 年度画像なし	

表 5.7 (2) 種別確認状況

項目	内容
種名	メダイチドリ
一般的生態	全長 19-21cm。旅鳥として、国内の干潟、水田、砂浜等に飛来する。泥干潟を好む傾向にあり、ゴカイ類やカニ類等の底生動物を採食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): NT 神奈川県 RDB (非繁殖期): NT
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 55 例、5 月 7 日に 80 例、8 月 20 日に 48 例、9 月 3 日に 14 例確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
<p>(撮影日: 令和 2 年 4 月 25 日) (撮影日: 令和 2 年 8 月 20 日)</p>	
項目	内容
種名	タシギ
一般的生態	全長 25-27cm。冬鳥または旅鳥として、国内に渡来する。水田、湿地、河川等で見られ、昆虫類、甲殻類、植物種子等を食べる。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): 注目
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 2 例、令和 3 年 2 月 10 日に 1 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られなかった。また、本種は昨年度確認されていなかった種であることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
<p>(出典: 「新版 日本の野鳥」(叶内拓哉ほか、平成 25 年))</p>	

表 5.7 (3) 種別確認状況

項目	内容
種名	チュウシャクシギ
一般的生態	全長 40-46cm。旅鳥として、国内の農耕地、湿地、干潟、河口、岩礁等に飛来する。干潟に生息するカニ類等の甲殻類を捕食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): VU
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 214 例、5 月 7 日に 104 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日: 令和 2 年 4 月 25 日)	
項目	内容
種名	キアシシギ
一般的生態	全長 23-27cm。旅鳥として、国内の干潟、河口、岩礁等に飛来する。岩礁や干潟に生息するカニ類や底生動物等を採食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): VU
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 9 例、5 月 7 日に 146 例、8 月 20 日に 32 例、9 月 3 日に 16 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日: 令和 2 年 5 月 7 日)	

表 5.7 (5) 種別確認状況

項目	内容
種名	ソリハシギ
一般的生態	全長 22-25cm。旅鳥として、国内の干潟、河口、砂浜等に飛来する。底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): VU
確認状況	令和 2 年 5 月 7 日に 5 例、8 月 20 日に 8 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日: 令和元年 9 月 1 日) 令和 2 年度画像なし	
項目	内容
種名	イソシギ
一般的生態	全長 19-22cm。留鳥として、主に淡水～汽水の水辺に生息する。底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (繁殖期): 希少 (非繁殖期): 注目
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 25 例、5 月 7 日に 24 例、8 月 20 日に 8 例、9 月 3 日に 15 例、令和 3 年 2 月 10 日に 27 例が確認された。
築造工事による影響	築造工事に伴う騒音による本種の忌避行動や異常な行動は見られず、昨年度から継続して確認されていることから、本種に対する築造工事の影響はないものと考えられる。
<個体写真>	
	
(撮影日: 令和 3 年 2 月 10 日)	

表 5.7 (9) 種別確認状況

項目	内容
種名	キョウジョシギ
一般的生態	全長 21-25.5cm。旅鳥として、主に水田、海岸、干潟、埋立地、岩礁等に渡来する。短い嘴で転石を起こして底生動物や小型の昆虫類等を採食する。
重要種の選定状況	東京都 RDB (区部): VU 神奈川県 RDB (非繁殖期): VU
確認状況	令和 2 年 4 月 25 日に 24 例、5 月 7 日に 68 例が確認された。
<p data-bbox="225 459 347 488"><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="459 842 772 871">(撮影日：令和 2 年 5 月 7 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p data-bbox="895 842 1208 871">(撮影日：令和元年 5 月 7 日)</p> </div> </div>	

表 5.8 鳥類の飛翔高度 (R2 年度シギ・チドリ類)

確認日	潮位 カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)							合計
				0m	1-5m未満	5-10m未満	10-20m未満	20-30m未満	30m-50m未満	50m以上	
4月25日	下げ潮	右岸	コチドリ	1				1			2
			チュウシャクシギ		55	11	18				84
			キアシシギ	2							2
		左岸	イソシギ		5						5
			コチドリ		2						2
			メダイチドリ			10					10
	干潮時	右岸	チュウシャクシギ		20		3		1		24
			キアシシギ	4			2			6	
			イソシギ	2	7					9	
		左岸	キョウジョシギ	2	17					19	
			コチドリ	1						1	
			タシギ		2					2	
	上げ潮	右岸	チュウシャクシギ	3	4					7	
			イソシギ		2					2	
			コチドリ		1					1	
		左岸	チュウシャクシギ	1	7					8	
			イソシギ	1	3					4	
			キョウジョシギ	1						1	
	満潮時	右岸	コチドリ	2						2	
			メダイチドリ	15	15					30	
			チュウシャクシギ	4	2					6	
			キアシシギ				1			1	
			イソシギ	1						1	
			キョウジョシギ				2			2	
		左岸	チュウシャクシギ		1			1		2	
			イソシギ		2					2	
			コチドリ	2						2	
			メダイチドリ				15			15	
			チュウシャクシギ		40		8			48	
			イソシギ	2						2	
5月7日	下げ潮	右岸	チュウシャクシギ		23	6	6			35	
			キョウジョシギ		2					2	
			コチドリ	2						2	
		左岸	メダイチドリ	21			18			39	
			オオソリハシシギ	1			1			2	
			チュウシャクシギ	8	9	2				19	
	干潮時	右岸	キアシシギ	16	13	1			30		
			イソシギ	2					2		
			キョウジョシギ	1	1	1			3		
		左岸	チュウシャクシギ	2	5	1			8		
			キアシシギ	5	5	3	1		14		
			イソシギ	1	4				5		
満潮時	右岸	キョウジョシギ		15		10		25			
		メダイチドリ	17	11		7		35			
		チュウシャクシギ	4	9	2	2		17			
		キアシシギ	12	8		6		26			
		ソリハシシギ	1					1			
		イソシギ	1	5				6			
	左岸	メダイチドリ	3					3			
		チュウシャクシギ	1	5				6			
		キアシシギ	3					3			
		イソシギ	1					1			
		キョウジョシギ	5					5			
		シギ科						20	20		
上げ潮	右岸	ムナクロ					1		1		
		メダイチドリ				3			3		
		チュウシャクシギ	4	13	11				28		
		キアシシギ	9	26	4	5			44		
		ソリハシシギ	2						2		
		イソシギ	4	1					5		
	左岸	チュウシャクシギ	4	5	1				10		
		キアシシギ	3	3					6		
		キョウジョシギ		21					21		
		チュウシャクシギ	12	2					14		
		キアシシギ	13				6		19		
		ソリハシシギ	2						2		
満潮時	右岸	イソシギ	5					5			
		キョウジョシギ	14					14			
		チュウシャクシギ	2					2			
	左岸	キアシシギ	2					2			
		イソシギ	5					5			
		キョウジョシギ	14					14			

確認日	潮位 カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)							合計
				0m	1-5m未満	5-10m未満	10-20m未満	20-30m未満	30m-50m未満	50m以上	
8月20日	下げ潮	右岸	メダイチドリ	4							4
			キアシシギ	2	5					7	
			ソリハシシギ	1	3					4	
		左岸	イソシギ	1						1	
			キアシシギ	2	1					3	
			イソシギ		3					3	
	干潮時	右岸	キアシシギ	2	1					3	
			ソリハシシギ	1						1	
			イソシギ	1						1	
		左岸	メダイチドリ	4	11					15	
			キアシシギ		6					6	
			イソシギ	2						2	
上げ潮	右岸	キアシシギ	3	2					5		
		ソリハシシギ	1	1					2		
		メダイチドリ	2	10					12		
	左岸	キアシシギ		4					4		
		イソシギ	1						1		
		メダイチドリ				4			4		
満潮時	右岸	キアシシギ		2					2		
		ソリハシシギ		1					1		
		メダイチドリ				8	5		13		
	左岸	キアシシギ	1	1					2		
		イソシギ									
		メダイチドリ									
9月3日	下げ潮	右岸	メダイチドリ	1						1	
			キアシシギ	2	3					5	
			イソシギ	2						2	
		左岸	キアシシギ		1					1	
			イソシギ	2						2	
			メダイチドリ								
	干潮時	右岸	キアシシギ	1						1	
			イソシギ	1						1	
			メダイチドリ	7						7	
		左岸	キアシシギ		1					1	
			イソシギ	1						1	
			メダイチドリ								
上げ潮	右岸	メダイチドリ	2						2		
		キアシシギ	1	1					2		
		イソシギ		2					2		
	左岸	メダイチドリ	2						2		
		キアシシギ	1						1		
		イソシギ	1						1		
満潮時	右岸	メダイチドリ				2			2		
		キアシシギ		3					3		
		イソシギ	1	1					2		
	左岸	キアシシギ	1	1					2		
		イソシギ	1	3					4		
		メダイチドリ									

確認日	潮位 カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)							合計
				0m	1-5m未満	5-10m未満	10-20m未満	20-30m未満	30m-50m未満	50m以上	
2月10日	下げ潮	右岸	イソシギ	2	1						3
		左岸	イソシギ	2	9						11
干潮時	右岸	イソシギ	2							2	
		左岸	イソシギ		7					7	
上げ潮	右岸	イソシギ	2							2	
		左岸	イソシギ		1					1	
満潮時	右岸	タシギ		1						1	
		イソシギ	1							1	
R2.4.25			確認例数	44	210	27	55	2	1	339	
			構成比	12.98%	61.95%	7.96%	16.22%	0.59%	0.29%	-	
R1.5.7			確認例数	183	163	26	53	1	6	452	
			構成比	40.49%	36.06%	5.75%	11.73%	0.22%	1.33%	4.42%	
R2.8.22			確認例数	28	51	12	5			96	
			構成比	29.17%	53.13%	12.50%	5.21%			-	
R2.9.3			確認例数	27	16	2				45	
			構成比	60.00%	35.56%	4.44%				-	
R3.2.10			確認例数	9	19					28	
			構成比	32.14%	67.86%					-	

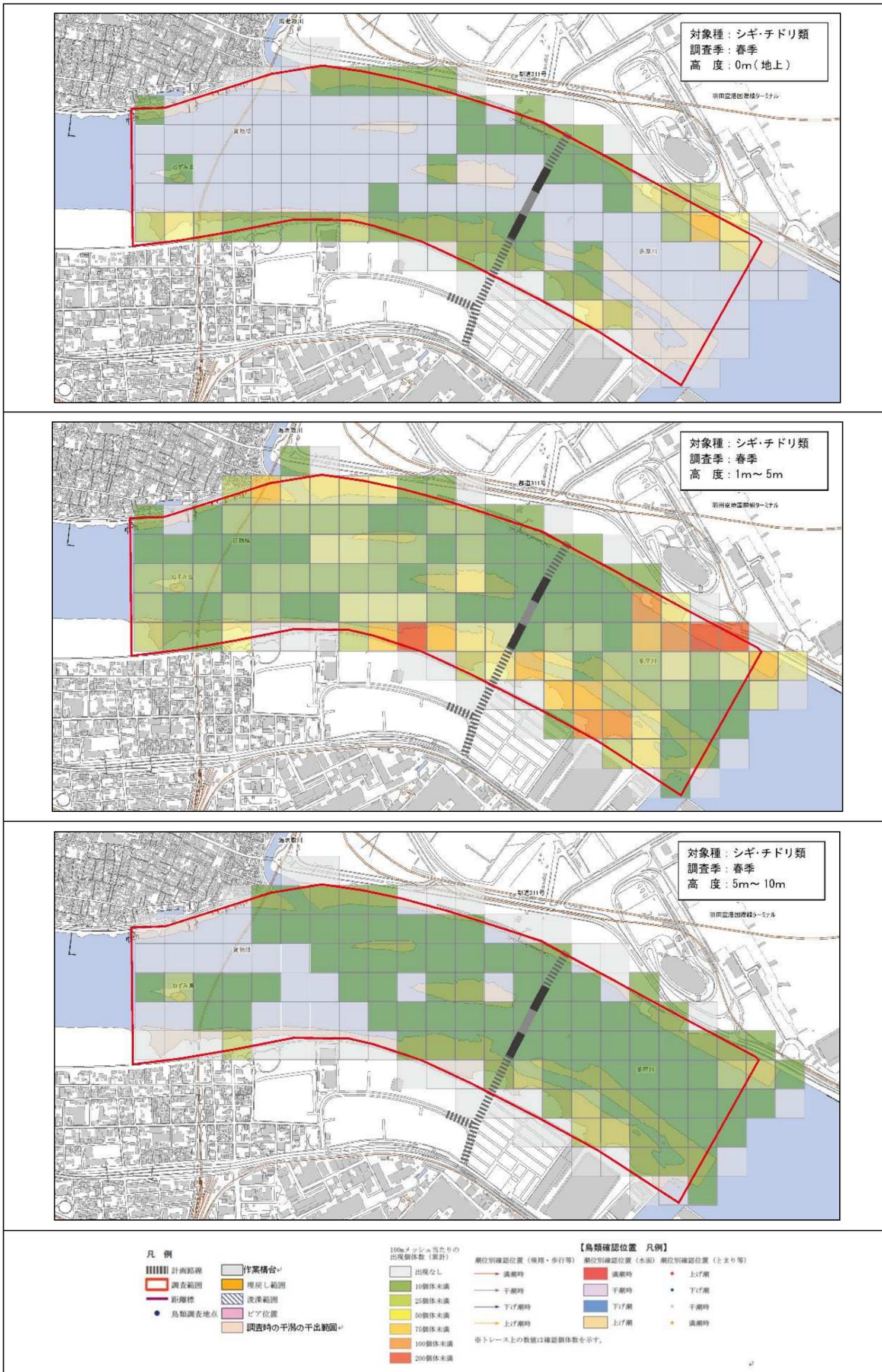


図 5.2 (1) 平面分布図(シギ・チドリ類：R2 年度春季 0m, 1~5m, 5~10m)

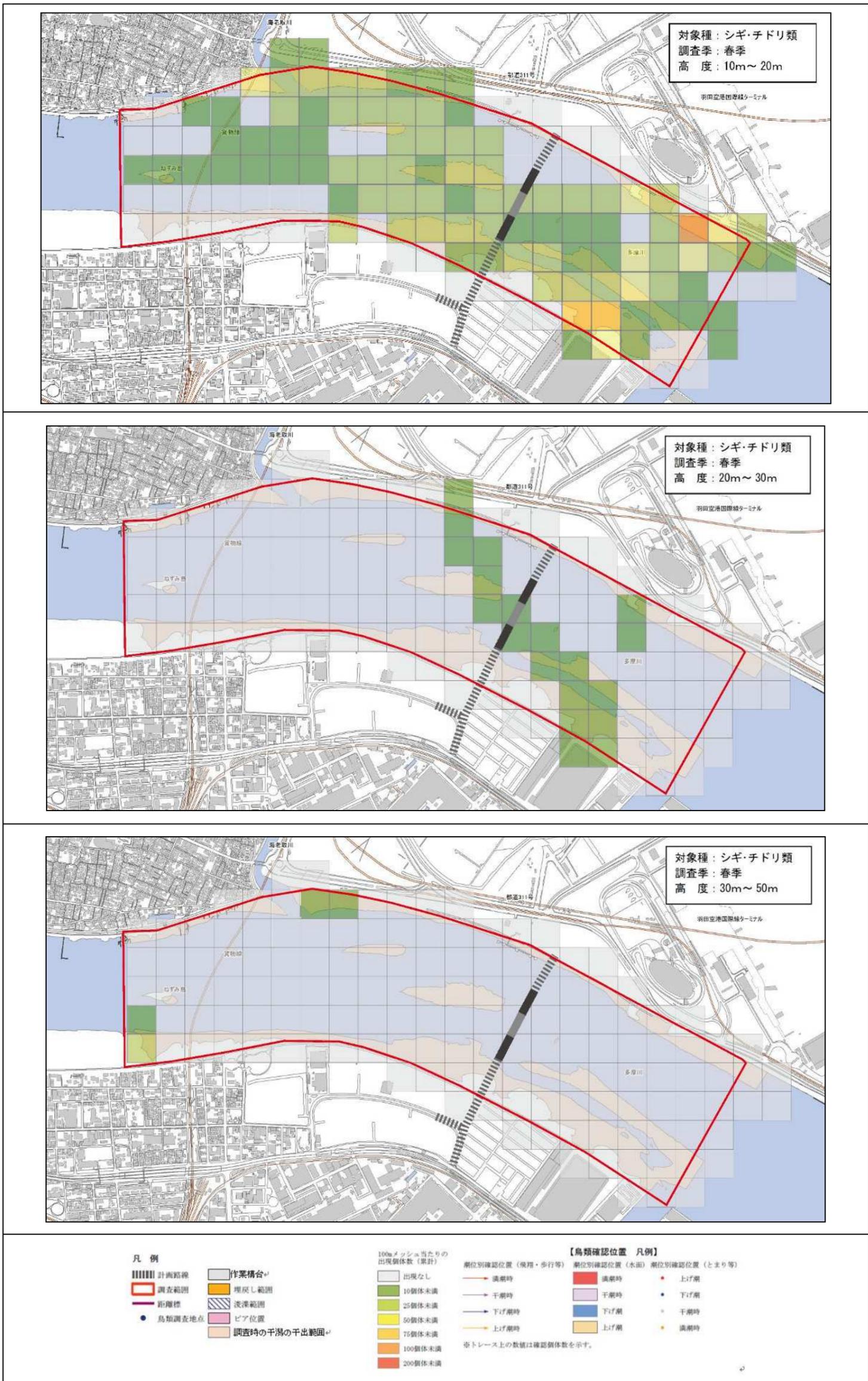


図 5.2 (2) 平面分布図(シギ・チドリ類：R2 年度春季 10～20m，20～30m、30～50m)

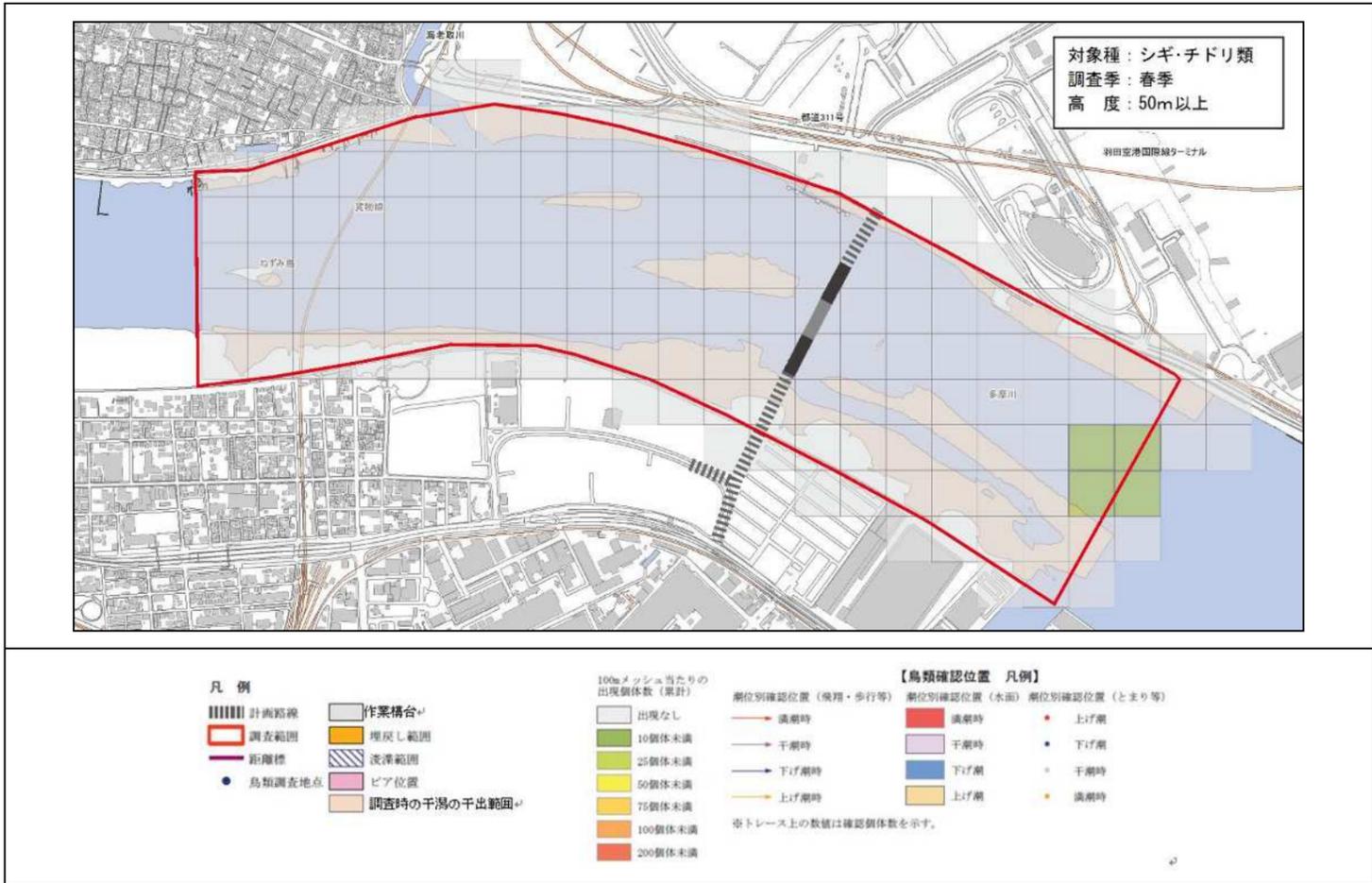
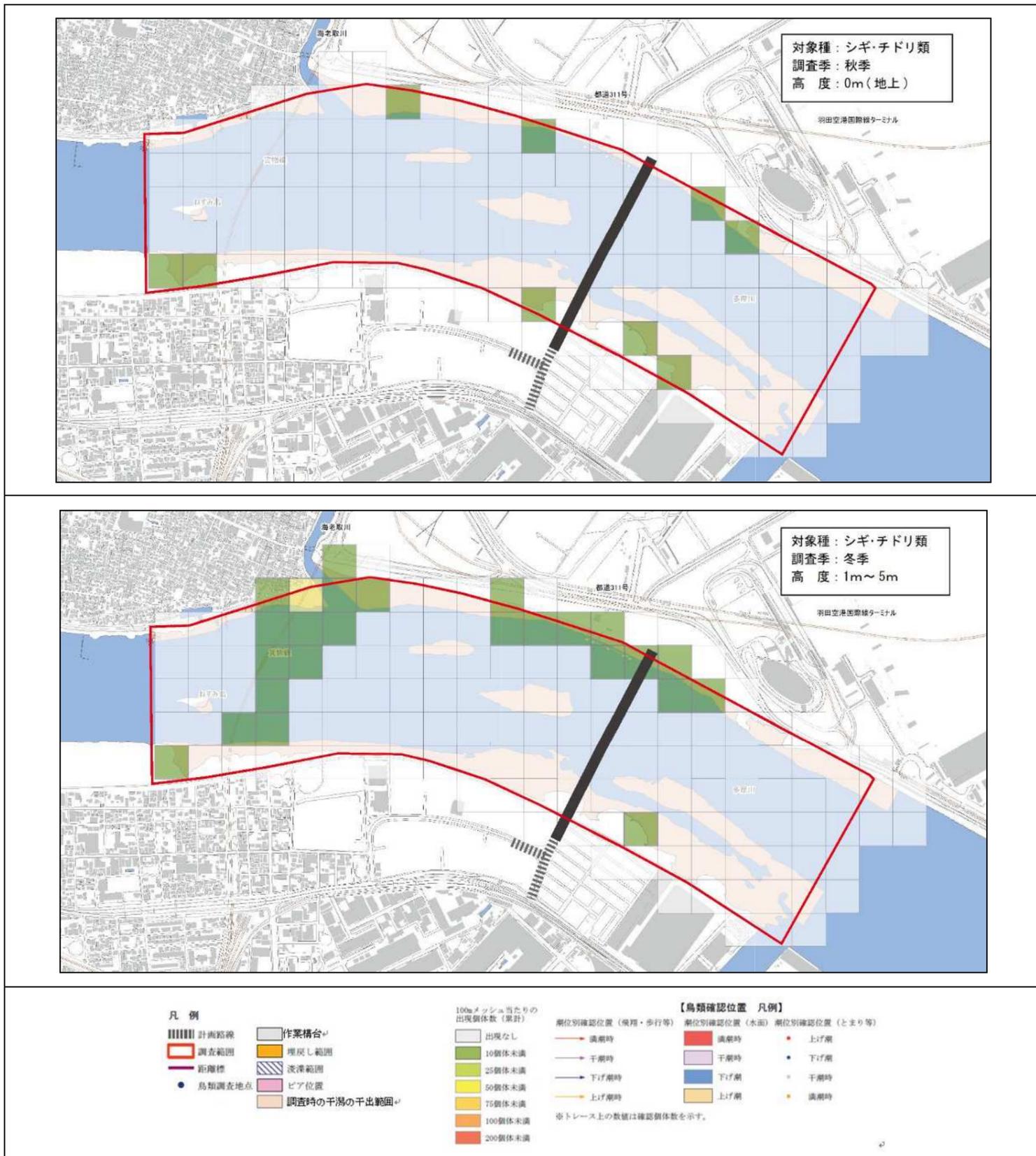


図 5.2 (3) 平面分布図(シギ・チドリ類：R2 年度春季 50m以上)



R2 年度秋季は 10～20m 以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.2(3) 平面分布図(シギ・チドリ類：R2 年度秋季 0m, 0～5m, 5～10m)



R2年度冬季は5～10m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.2(5) 平面分布図(シギ・チドリ類：R2年度冬季 0m, 0～5m, 5～10m)

表 5.9 カモメ類の確認状況(調査日別)

No.	分類			R2年度調査日				
	目名	科名	種名	4/25	5/7	8/20	9/3	2/10
1	チドリ	カモメ	ユリカモメ	497	78			34
2			ウミネコ	68	29	249	351	2
3			セグロカモメ	22	1	2	3	48
4			オオセグロカモメ	2	0	133	160	
計	1目	1科	4種	589例 4種	108例 4種	384例 3種	514例 3種	84例 3種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。

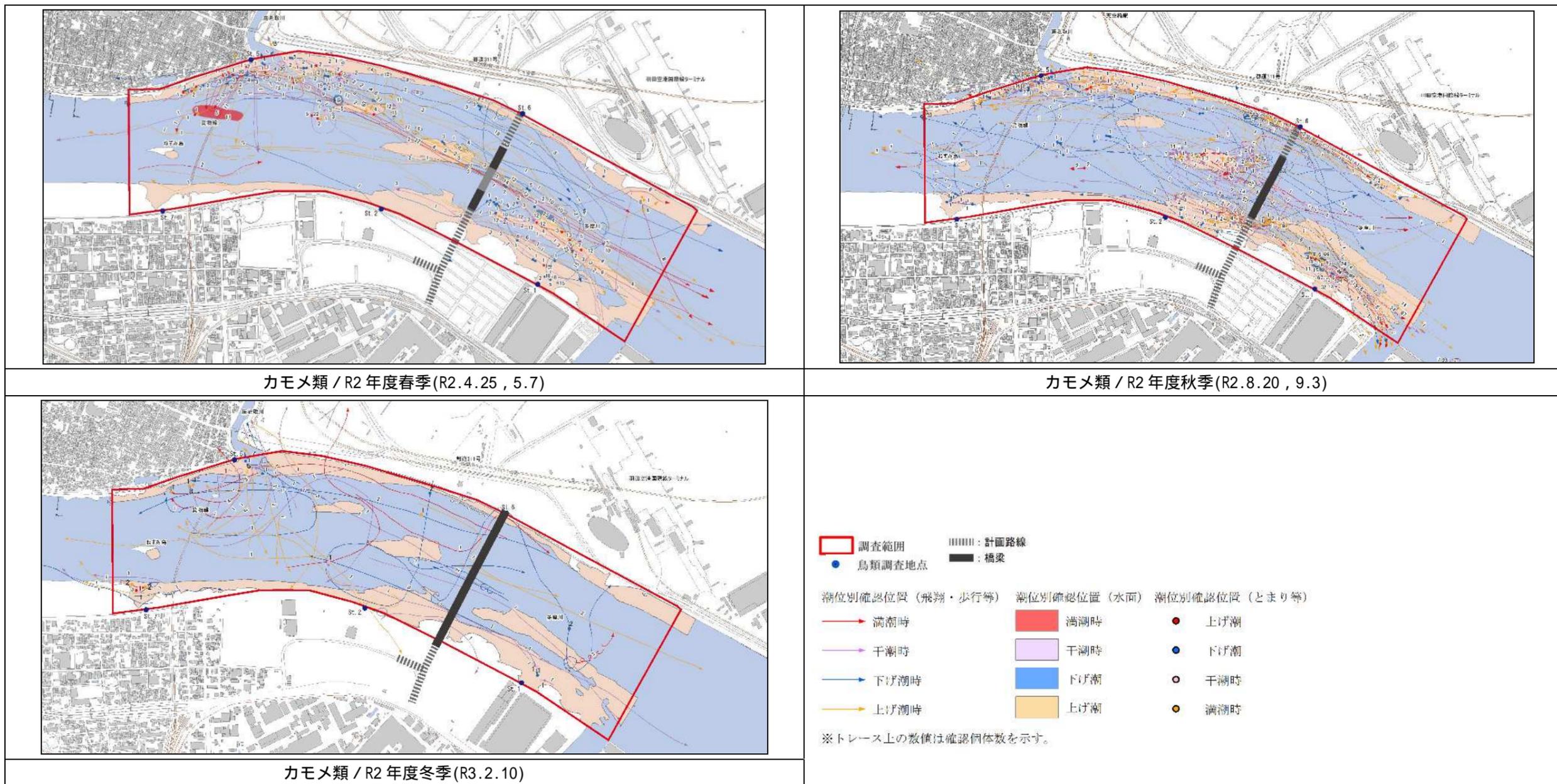


図 5.6 カモメ類確認位置(移動経路集積図)【R2 年度春季・秋季・冬季】

表 5.10 鳥類の飛翔高度(カモメ類)

確認日	潮位カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						合計	確認日	潮位カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						合計					
				0m	1~5m未満	5~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~50m未満						50m以上	0m	1~5m未満	5~10m未満	10~20m未満	20~30m未満		30~50m未満	50m以上			
4月25日	下げ潮	右岸	ユリカモメ	2	40	33		5	5		85	2月10日	下げ潮	右岸	ユリカモメ		3					3				
			ウミネコ	11	3	1				5	1				21	左岸	セグロカモメ				1	4	3	8		
			セグロカモメ	4	1					1					6		ユリカモメ		2	1					3	
		オオセグロカモメ					2				2		セグロカモメ	1	1		2	2				6				
		干潮時	左岸	ユリカモメ	17	7	19	19					62	干潮時	右岸	ユリカモメ		1	1					3		
				ウミネコ			1	2			5						セグロカモメ	1	1	1		4		7		
	セグロカモメ						1					1	ユリカモメ				4					4				
	右岸		ユリカモメ	27	6						33	上げ潮	左岸		ユリカモメ				2				2			
			ウミネコ	6					2		8				セグロカモメ		2	1	2				5			
			セグロカモメ	6	1						7				ユリカモメ	1	1		1				2			
	左岸	ユリカモメ	38	14	1					53	満潮時		右岸	セグロカモメ								45	30	1	0.17%	-
		ウミネコ	4	1	1	1				7				R1.5.7	確認例数	25	13	23	30	17			108			
		ユリカモメ	4	75		30	27			136				構成比	23.15%	12.04%	21.30%	27.78%	15.74%			-				
	右岸	ユリカモメ	4		1	3	2			10		R2.8.22	右岸	ユリカモメ	146	17	108	94	15	4			384			
		ウミネコ	4			3	2			3				構成比	38.02%	4.43%	28.13%	24.48%	3.91%	1.04%	-					
		セグロカモメ	3			12	7	14		75				R2.9.3	確認例数	128	211	108	54	12	1		514			
	左岸	ユリカモメ		33	9	12				55	構成比		24.90%	41.05%	21.01%	10.51%	2.33%	0.19%	-							
		ウミネコ		4						4	R3.2.10		右岸	ユリカモメ	13	29	17	12	10	3		87				
		セグロカモメ	1			2				3				構成比	14.94%	33.33%	19.54%	13.79%	11.49%	3.45%	3.45%	-				
	オオセグロカモメ	1							1	確認例数		132		188	85	108	45	30	1							
	満潮時	右岸	ユリカモメ	3	2		10					15	左岸	セグロカモメ	1			1	1			4				
			ウミネコ	1								1		確認例数	13	29	17	12	10	3						
			セグロカモメ	1								1		構成比	14.94%	33.33%	19.54%	13.79%	11.49%	3.45%	3.45%	-				
	5月7日	下げ潮	右岸	ユリカモメ			1	5			6	8月20日	下げ潮	右岸	ウミネコ	11	2	1	3	1	3		21			
ウミネコ					1										1	セグロカモメ		1					1			
セグロカモメ				1											1	オオセグロカモメ	16			2			18			
左岸		ユリカモメ									6			干潮時	左岸	ウミネコ	3		2	3	3		11			
		ウミネコ									1					オオセグロカモメ	3			1			1			
		セグロカモメ									1					ウミネコ	38	5	8	2	1		54			
干潮時	右岸	ユリカモメ				12				12	上げ潮	右岸	ウミネコ									1				
		ウミネコ					8						11		オオセグロカモメ	18			35			53				
		セグロカモメ					1						1		ウミネコ	6	4	1	2			13				
左岸	ユリカモメ	2	1	20					23	満潮時		左岸	オオセグロカモメ	2		1	3				6					
	ウミネコ	1	1						2				ウミネコ	32	1	2	29	6		70						
	セグロカモメ	1							1				オオセグロカモメ	20			11			31						
上げ潮	右岸	ユリカモメ	12	1							13	満潮時	右岸	ウミネコ		1	4	1			6					
		ウミネコ	1	4		5	2				12			オオセグロカモメ		3	3	4		1	11					
		セグロカモメ	3		1		13				17			ウミネコ		3	73		1		74					
満潮時	左岸	ユリカモメ								2	9月3日		下げ潮	右岸	ウミネコ	13	61	1	1	2		78				
		セグロカモメ													1	セグロカモメ		1		1		2				
		オオセグロカモメ													1	オオセグロカモメ	14	66	3	1		84				
右岸	ウミネコ									1		干潮時		左岸	ウミネコ	3	1	1	5		1	11				
	セグロカモメ									3					オオセグロカモメ	1			2		3					
	オオセグロカモメ									1					ウミネコ	4	3	69	9		85					
左岸	ユリカモメ									1	上げ潮		右岸	ウミネコ	4	1	25				31					
	ウミネコ	41	1	4	2	1			49	オオセグロカモメ				4	1	1			11							
	セグロカモメ	10							11	ウミネコ				5	58	3	12		78							
満潮時	右岸	ユリカモメ								1		満潮時	左岸	セグロカモメ					11		16					
		ウミネコ								2				ウミネコ	24		2	2	2	30						
		セグロカモメ								1				オオセグロカモメ	7			2	1	10						
左岸	ユリカモメ									2	満潮時		右岸	ウミネコ		8		3	3		14					
	ウミネコ									5				ウミネコ		5				5						
	セグロカモメ									3				オオセグロカモメ						5						
満潮時	左岸	ユリカモメ								1		満潮時	左岸	ウミネコ	2	1		3			6					
		ウミネコ												3	ウミネコ						6					
		セグロカモメ												1	ウミネコ						1					

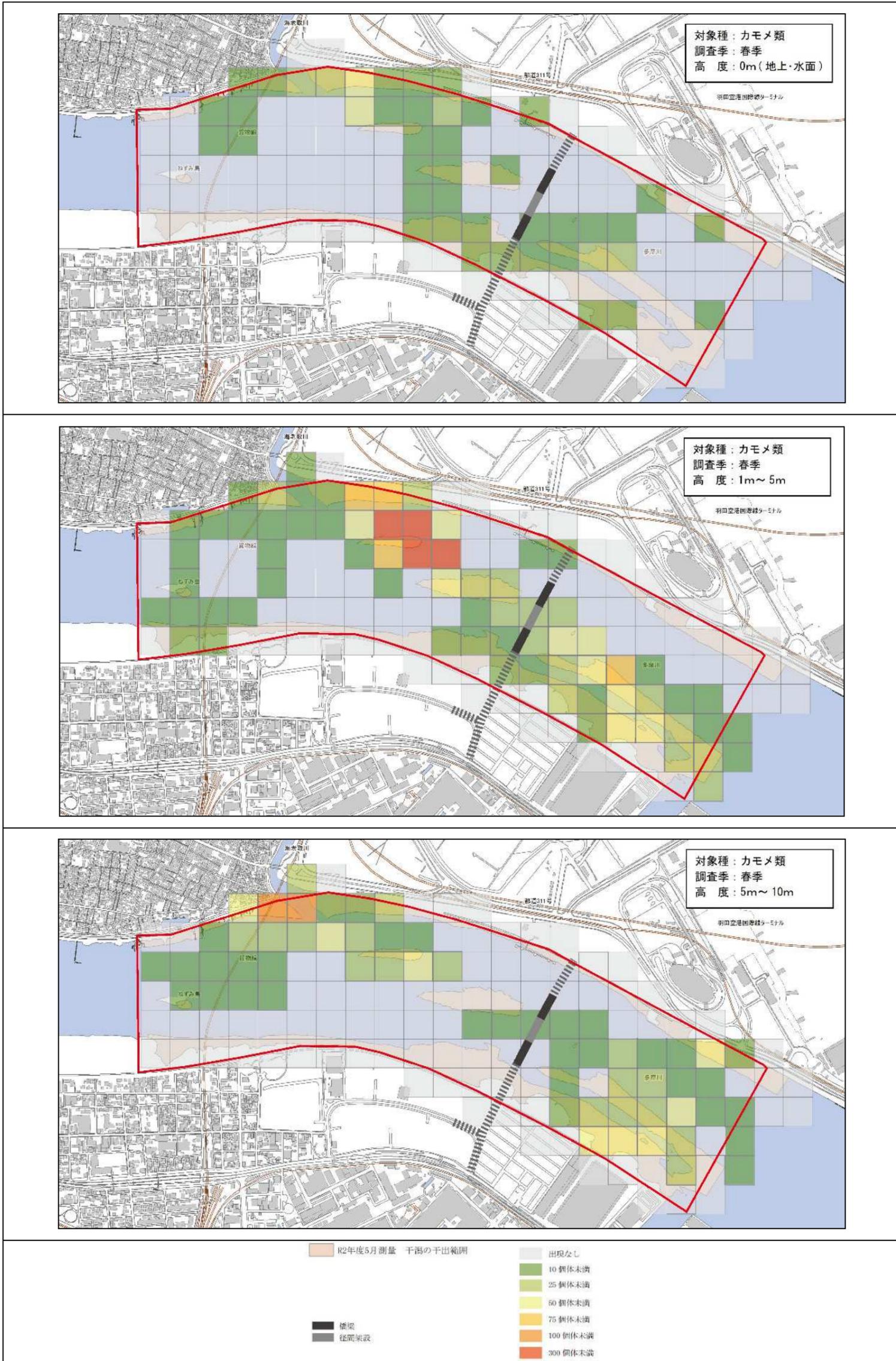


図 5.7 (1) 平面分布図(カモメ類：R2 年度春季 0m, 1～5m, 5～10m)



図 5.7 (2) 平面分布図(カモメ類：R2 年度春季 10～20m，20～30m，30～50m)

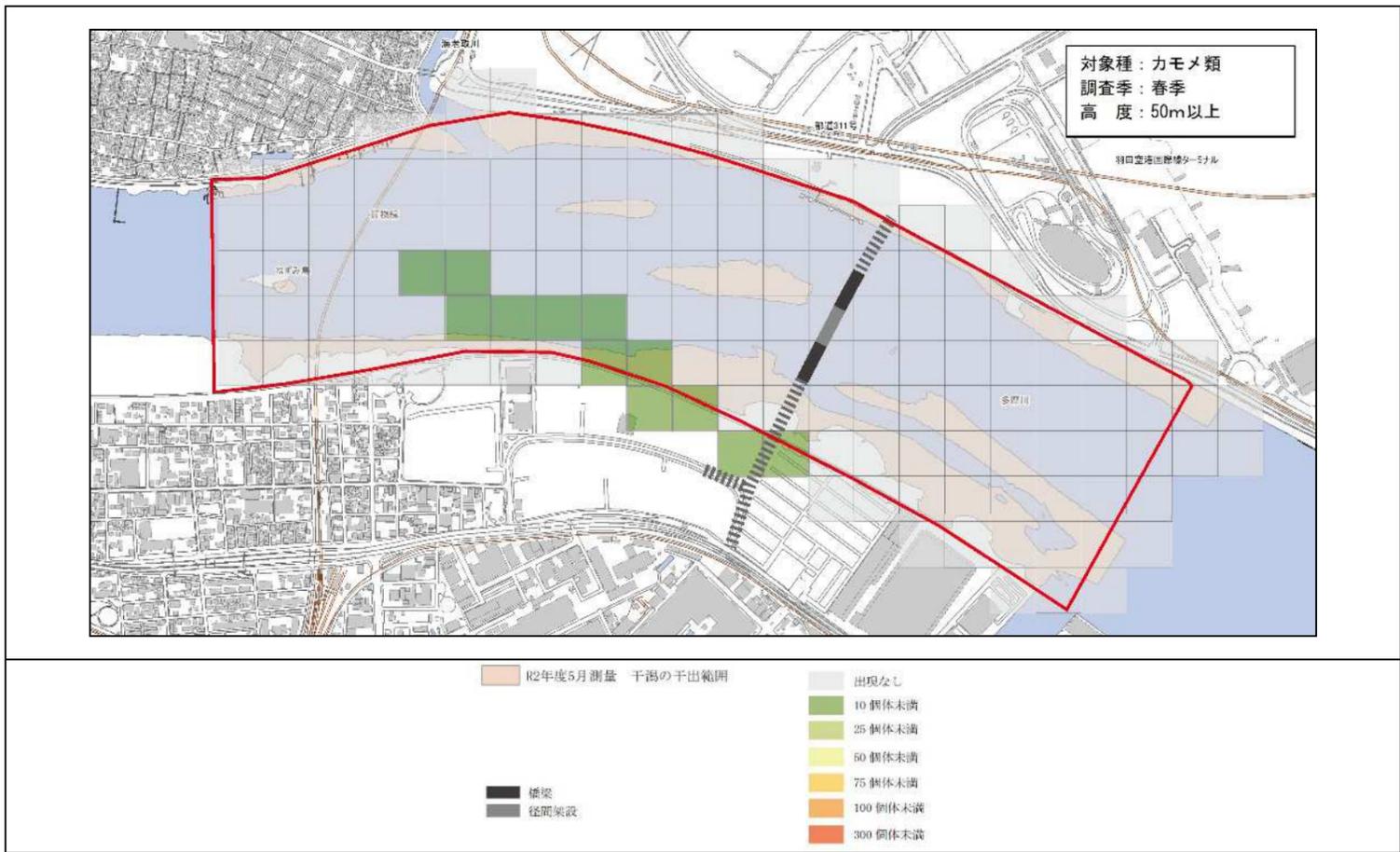


図 5.7 (3) 平面分布図(カモメ類：R2 年度春季 50m以上)

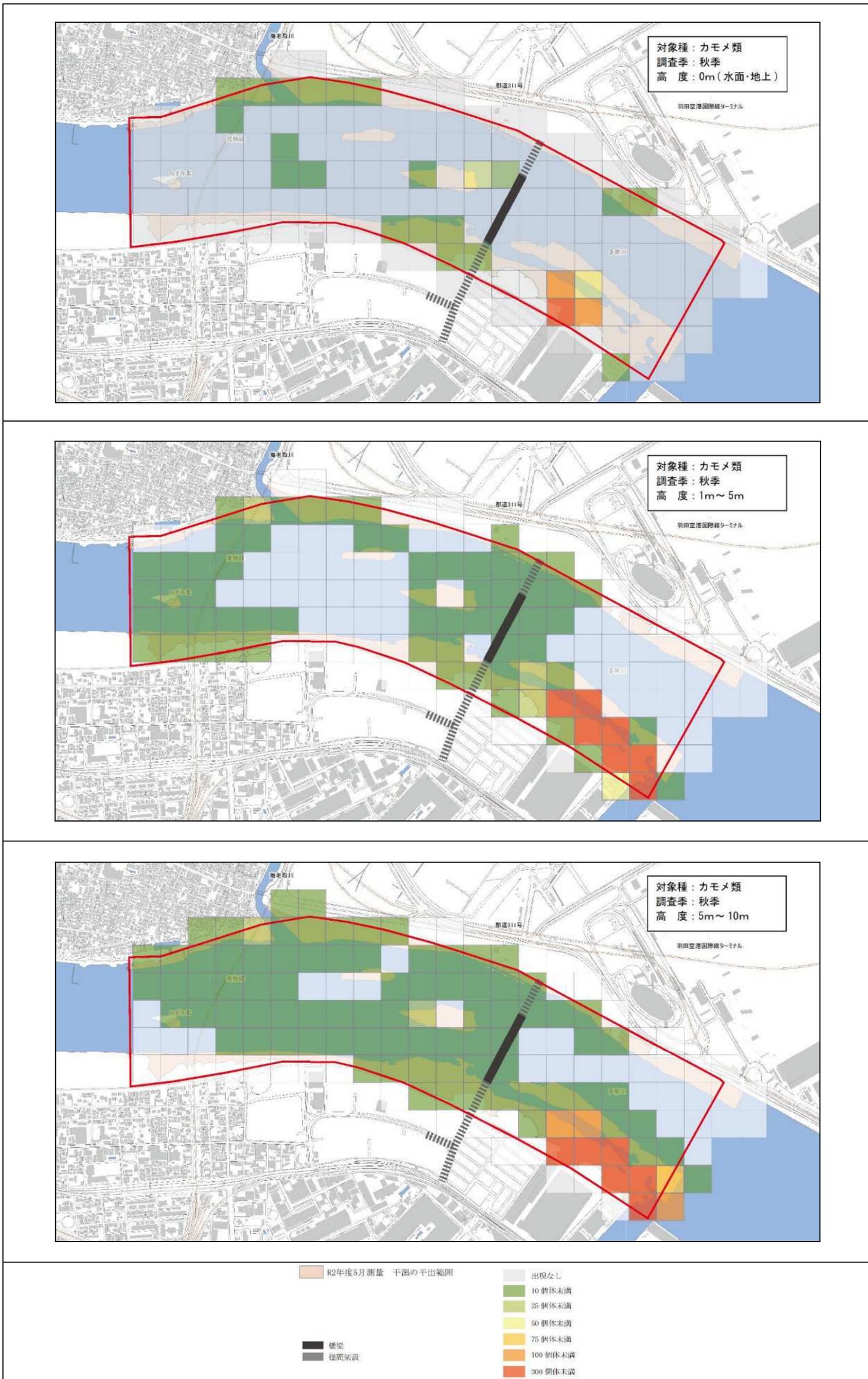


図 5.7 (4) 平面分布図(カモメ類：秋季 0m , 1～5m , 5～10m)

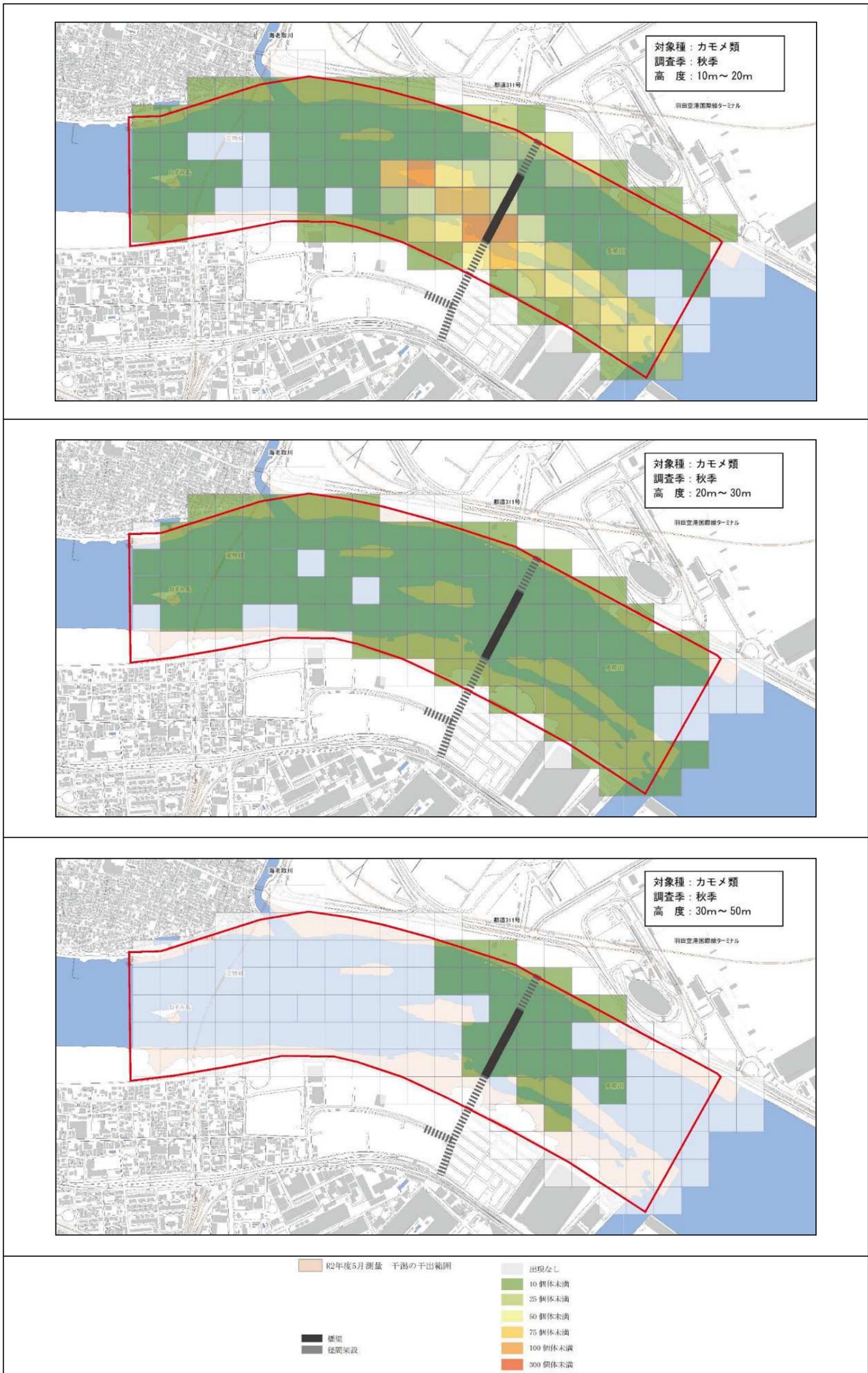


図 5.7 (5) 平面分布図(カモメ類：R2 年度秋季 10～20m，20～30m，30～50m)

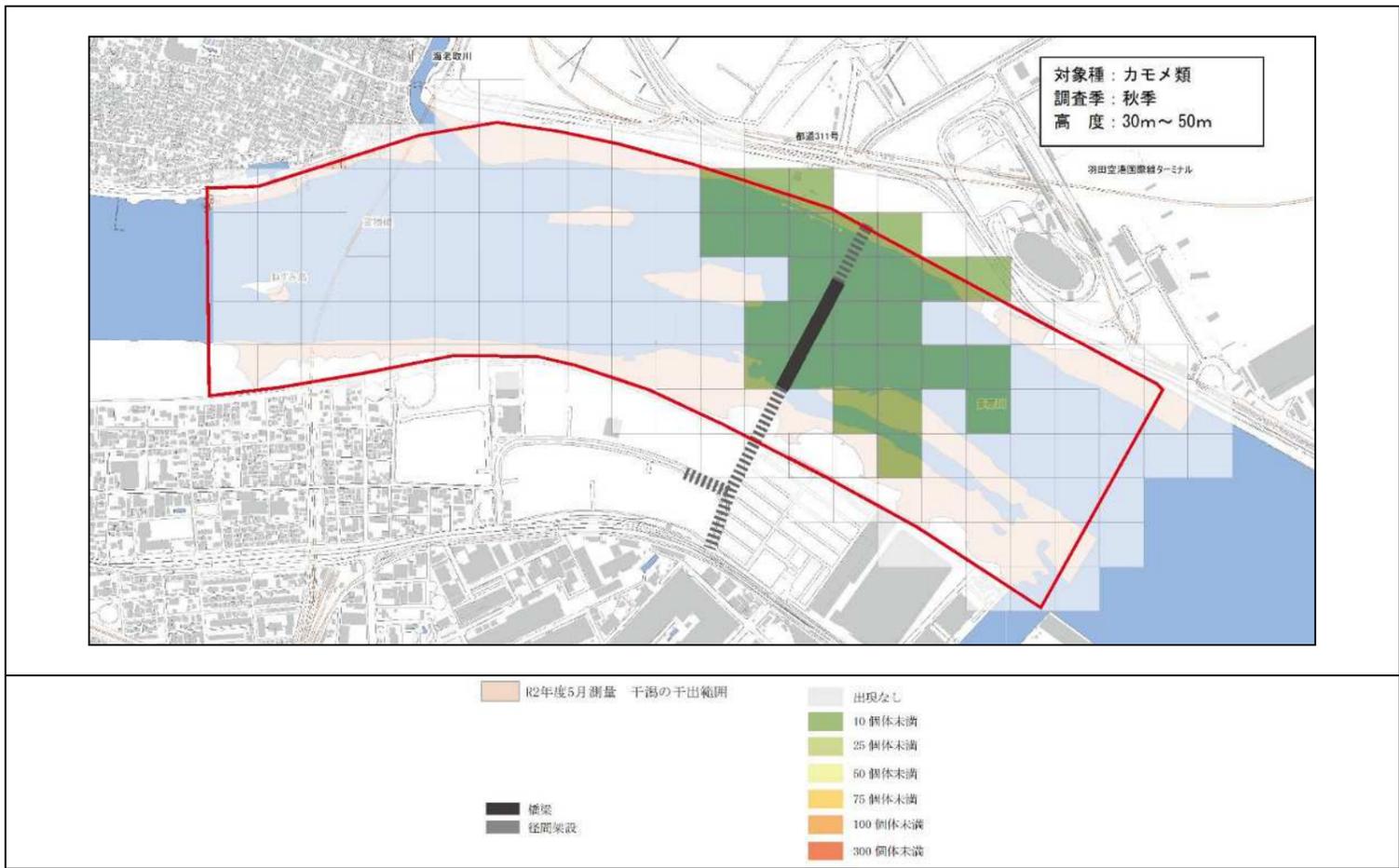


図 5.7 (6) 平面分布図(カモメ類：R2 年度秋季 50m以上)

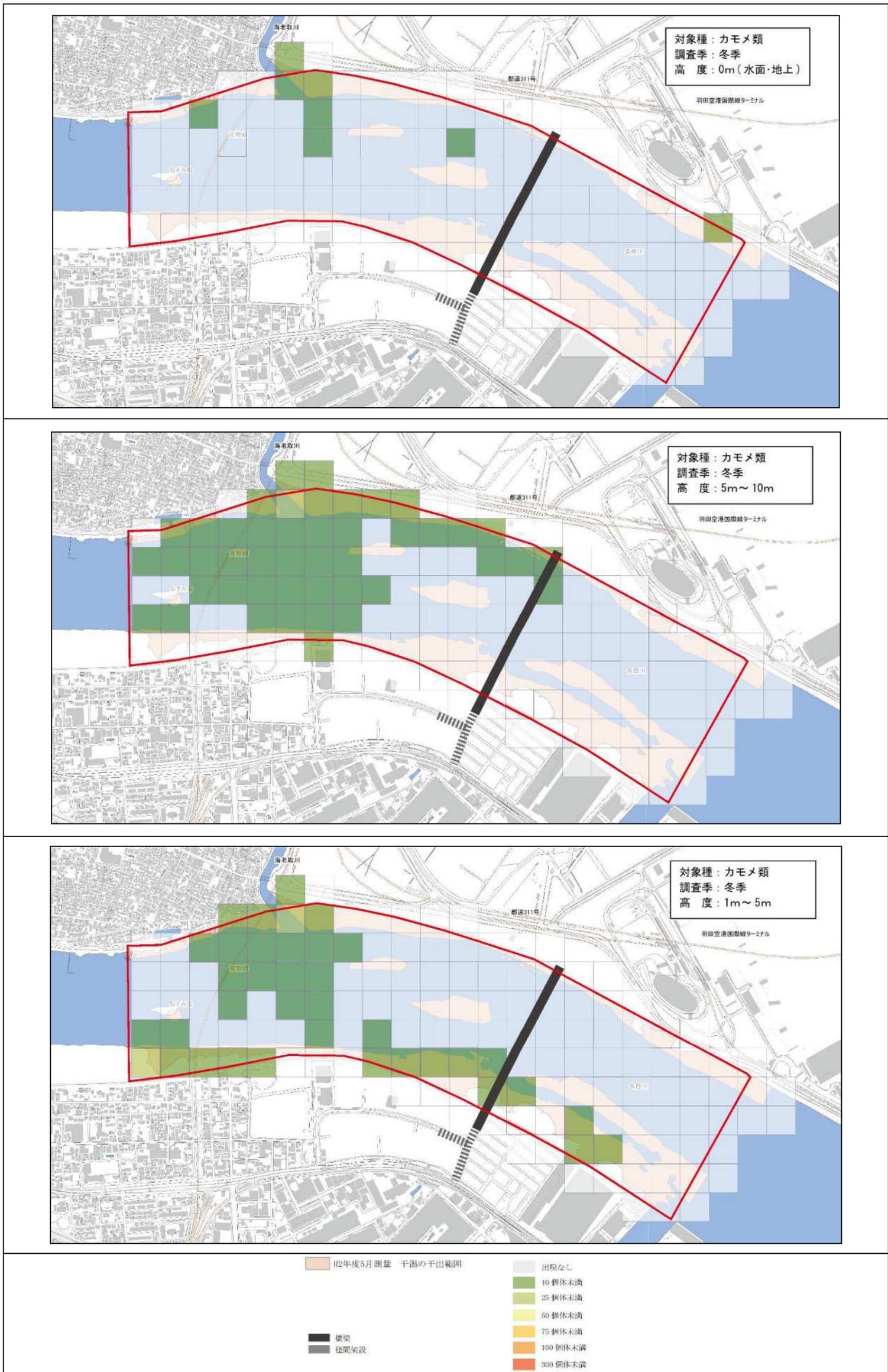


図 5.7 (7) 平面分布図(カモメ類：R2 年度冬季 0m, 1～5m, 5～10m)



図 5.7 (8) 平面分布図(カモメ類：R2 年度冬季 10～20m，20～30m，30～50m)

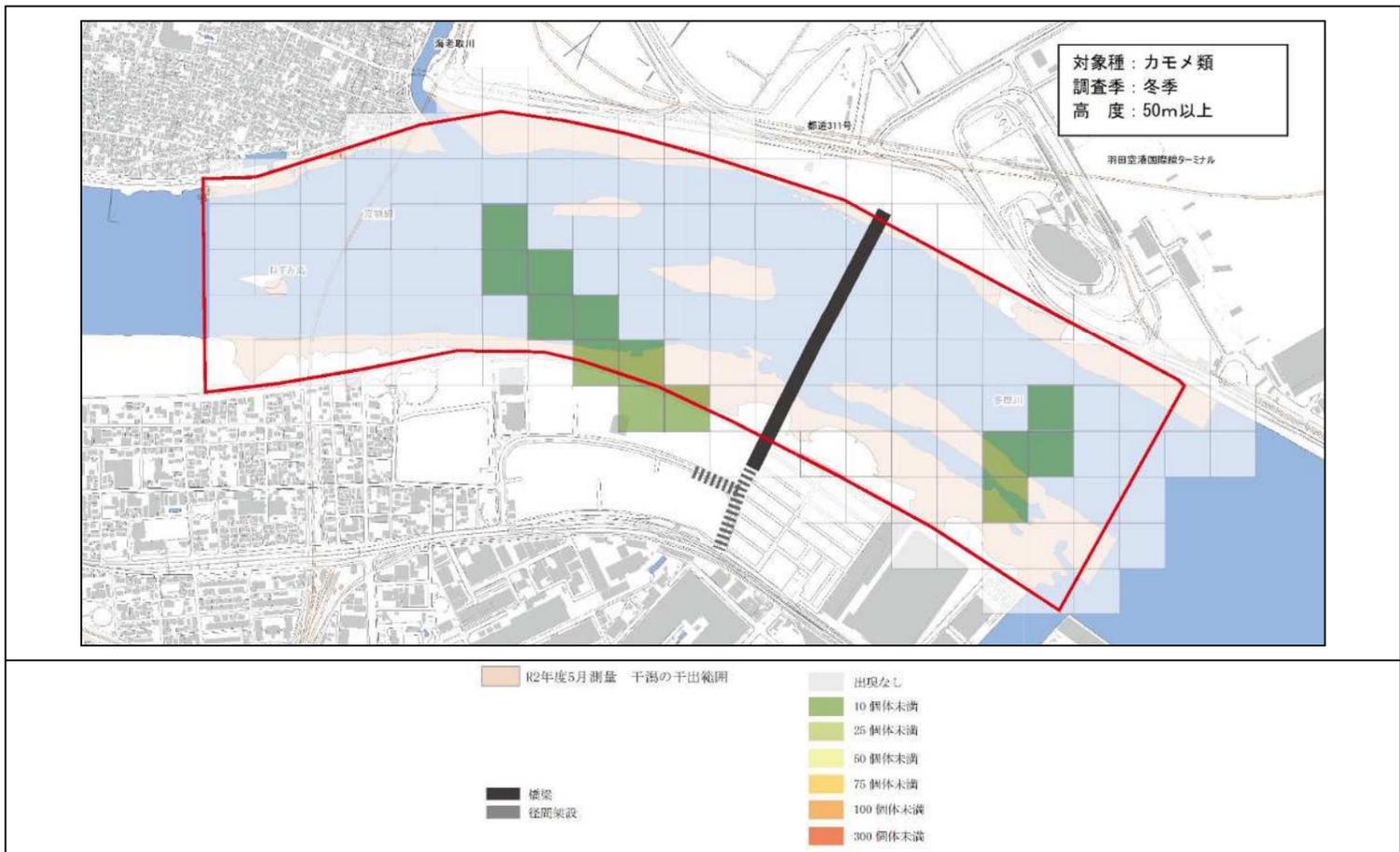


図 5.7 (9) 平面分布図(カモメ類：R2 年度冬季 50m以上)

表 5.11 カモ類の確認状況(調査日別)

No.	分類			R2年度調査日				
	目名	科名	種名	4/25	5/7	8/20	9/3	2/10
1	カモ	カモ	オカヨシガモ					42
2			ヒドリガモ	2				121
3			マガモ					32
4			オナガガモ					48
5			コガモ	2	2			11
6			ホシハジロ					24
7			キンクロハジロ					51
8			スズガモ	279	101		3	457
-			スズガモ属					3
9			ホオジロガモ					2
10			カワアイサ					1
11	ウミアイサ					2		
12	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				2	1
13			カンムリカイツブリ	17	13			43
14			ハジロカイツブリ					44
15	ツル	クイナ	オオバン	29	15			82
計	3目	3科	15種	329例	131例	0例	5例	964例
				5種	4種	0種	2種	15種

*1：種名及び配列は「日本産鳥類目録改訂第7版(編 日本鳥学会 2012年)」に基本的に準拠した。

*2：欄内に数値を入力した種が当該調査日に確認されていることを示し、値は確認された回数を示している。

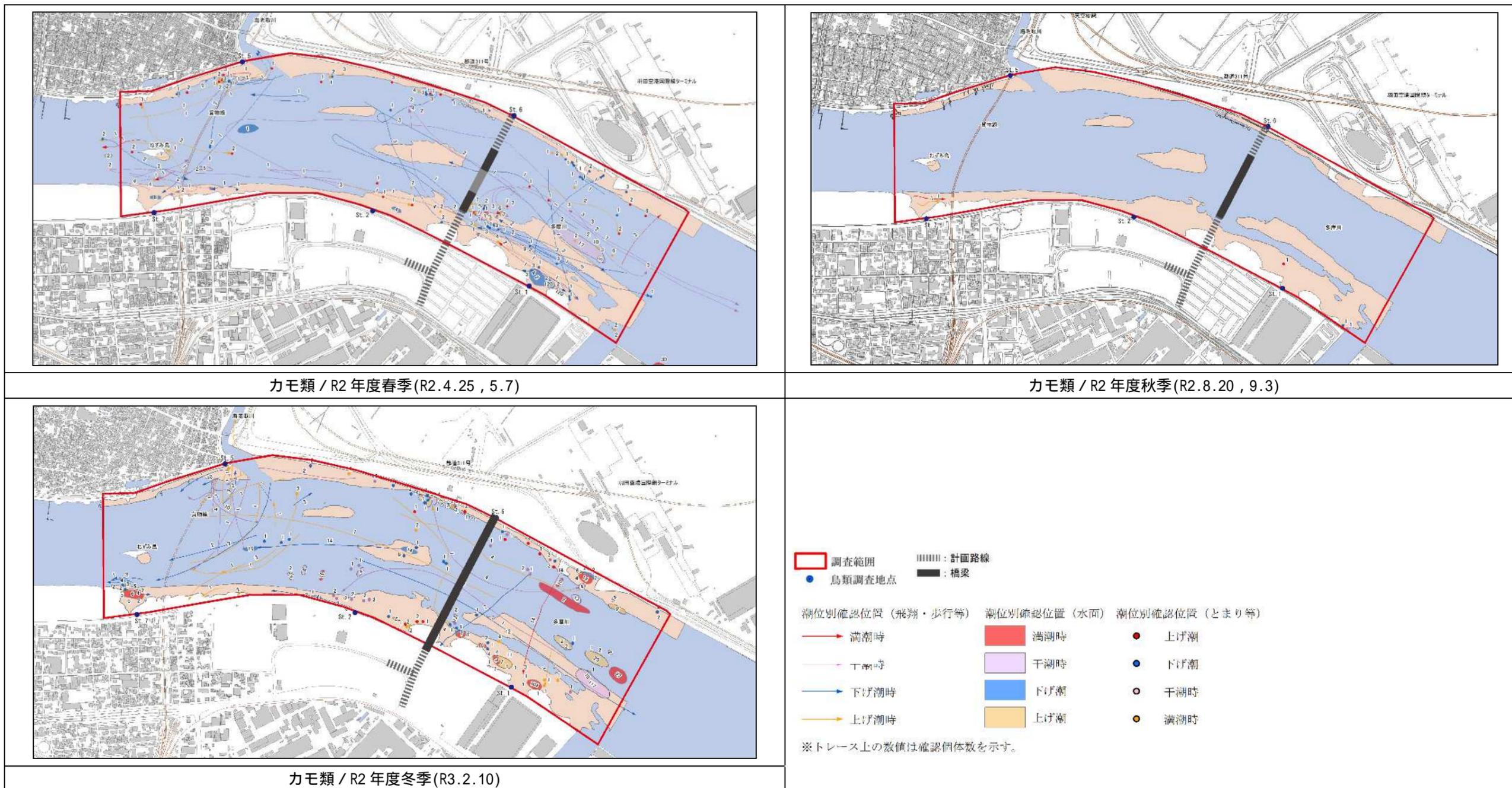


図 5.8 カモ類確認位置(移動経路集積図)【R2 年度春季・秋季・冬季】

表 5.12 鳥類の飛翔高度(カモ類)

確認日	潮位 カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						合計	確認日	潮位 カテゴリー	左右岸	種名	飛翔高度区分(m)						合計		
				0m	1-5m未満	5-10m未満	10-20m未満	20-30m未満	30m-50m未満						50m以上	0m	1-5m未満	5-10m未満	10-20m未満	20-30m未満		30m-50m未満	50m以上
4月25日	下げ潮	右岸	スズガモ	129	5	3					137	2月10日	下げ潮	右岸	オカヨシガモ	4							4
			カンムリカイツブリ	4												13							
			オオバン	10	1											10							
		左岸	コガモ	2												10							
			スズガモ	4	5											9							
			カンムリカイツブリ	2												2							
	干潮時	右岸	オオバン	5											5								
			ヒドリガモ	1											1								
			スズガモ	30	1											31							
		左岸	カンムリカイツブリ	3												3							
			オオバン	2												2							
			ヒドリガモ	1												1							
	上げ潮	右岸	スズガモ	8										8									
			カンムリカイツブリ	1										1									
			オオバン	2											2								
		左岸	スズガモ	11	2										13								
			カンムリカイツブリ	2											2								
			オオバン	2											2								
	満潮時	右岸	スズガモ	14	1									15									
			カンムリカイツブリ	2	2										4								
			オオバン	2											2								
		左岸	スズガモ	2											2								
			カンムリカイツブリ	11	2										13								
			オオバン	2											2								
5月7日	下げ潮	右岸	スズガモ	10	5						15	干潮時	右岸	オカヨシガモ	3							3	
			カンムリカイツブリ	1											1								
			オオバン	1											1								
		左岸	スズガモ	42	7	2									51								
			オオバン	4											4								
			ヒドリガモ	1											1								
	干潮時	右岸	スズガモ	7	2	9								18									
			カンムリカイツブリ	1											1								
			オオバン	2	1										3								
		左岸	スズガモ	1											1								
			カンムリカイツブリ	1											1								
			オオバン	1											1								
	上げ潮	右岸	スズガモ	14	8	3	9						34										
			カンムリカイツブリ	5										5									
			オオバン	1										1									
		左岸	スズガモ	4	3									7									
			オオバン	1										1									
			コガモ	2										2									
	満潮時	右岸	スズガモ	12	1								13										
			カンムリカイツブリ	3										3									
			オオバン	2										2									
		左岸	スズガモ	3	1									4									
			オオバン	1										1									
			スズガモ	20										20									
8月22日 9月3日	下げ潮	右岸	スズガモ	20							20	上げ潮	右岸	オカヨシガモ	14							14	
			カンムリカイツブリ	3											3								
			オオバン	4											4								
		左岸	スズガモ	4											4								
			オオバン	1											1								
			ヒドリガモ	1											1								
	干潮時	右岸	スズガモ	1										1									
			カンムリカイツブリ	3										3									
			オオバン	4											4								
		左岸	スズガモ	4											4								
			オオバン	1											1								
			ヒドリガモ	1											1								
	上げ潮	右岸	スズガモ	1									1										
			カンムリカイツブリ	3									3										
			オオバン	4										4									
		左岸	スズガモ	4										4									
			オオバン	1										1									
			ヒドリガモ	1										1									
	満潮時	右岸	スズガモ	1									1										
			カンムリカイツブリ	3									3										
			オオバン	4										4									
		左岸	スズガモ	4										4									
			オオバン	1										1									
			ヒドリガモ	1										1									
R2.4.25 R1.5.7 R2.8.22 R2.9.3 R3.2.10	下げ潮	右岸	スズガモ	1							1	満潮時	右岸	オカヨシガモ	8							8	
			カンムリカイツブリ	1											1								
			オオバン	1											1								
		左岸	スズガモ	1										1									
			カイツブリ	1										1									
			スズガモ	1										1									
	干潮時	右岸	スズガモ	1							1												
			カンムリカイツブリ	1										1									
			オオバン	1										1									
		左岸	スズガモ	1										1									
			カイツブリ	1										1									
			スズガモ	1										1									
	上げ潮	右岸	スズガモ	1							1												
			カンムリカイツブリ	1									1										
			オオバン	1									1										
		左岸	スズガモ	1									1										
			カイツブリ	1									1										
			スズガモ	1									1										
	満潮時	右岸	スズガモ	1							1												
			カンムリカイツブリ	1									1										
			オオバン	1									1										
		左岸	スズガモ	1									1										
			カイツブリ	1									1										
			スズガモ	1									1										
確認例数														292	32	5					329		
構成比														88.75%	9.73%	1.52%					-		
確認例数														92	18	12	9				131		
構成比														70.23%	13.74%	9.16%	6.87%				-		
確認例数														5							5		
構成比														100.00%							-		
確認例数														918	57	3	1	1			980		
構成比														93.67%	5.82%	0.31%	0.10%	0.10%			-		

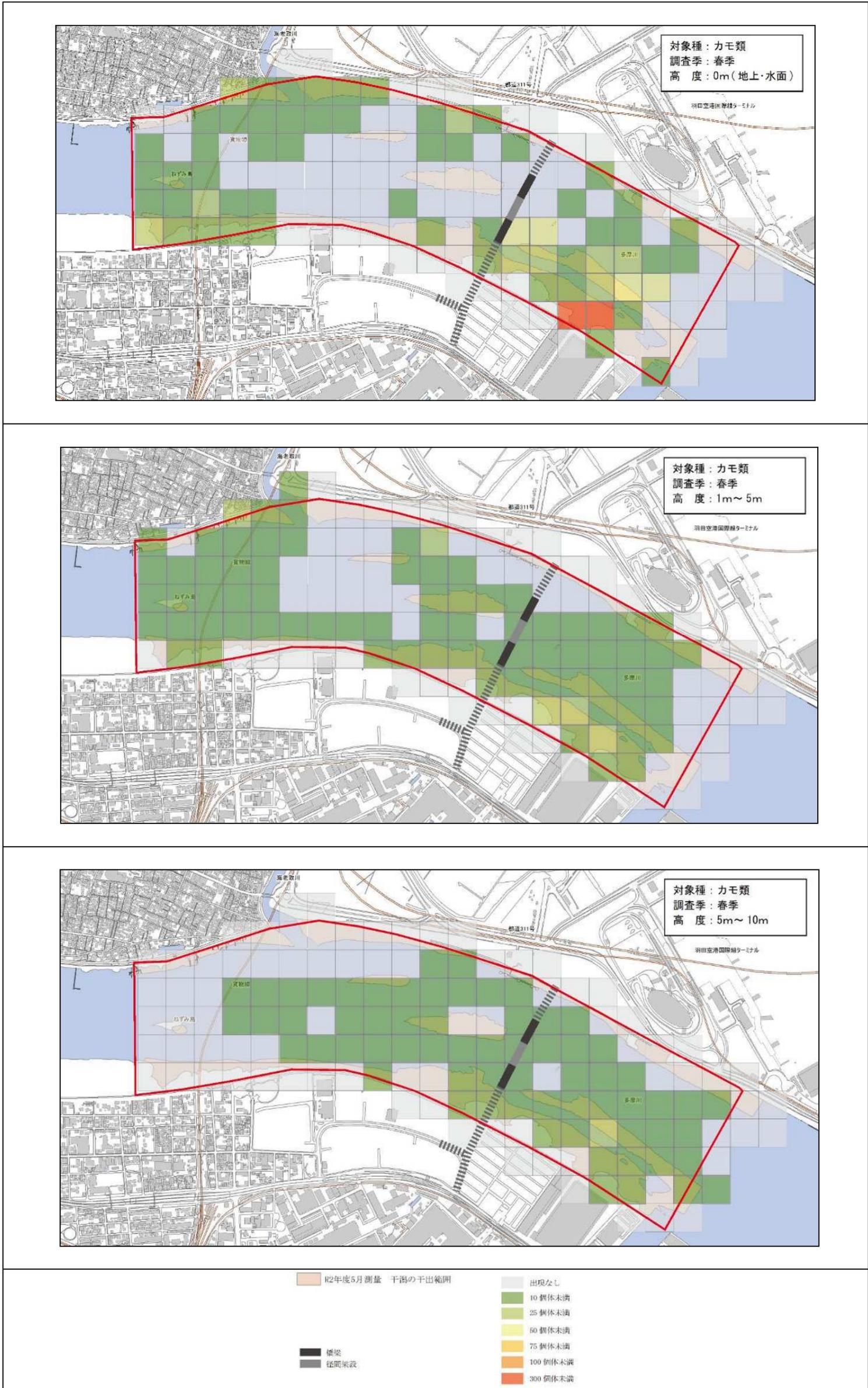
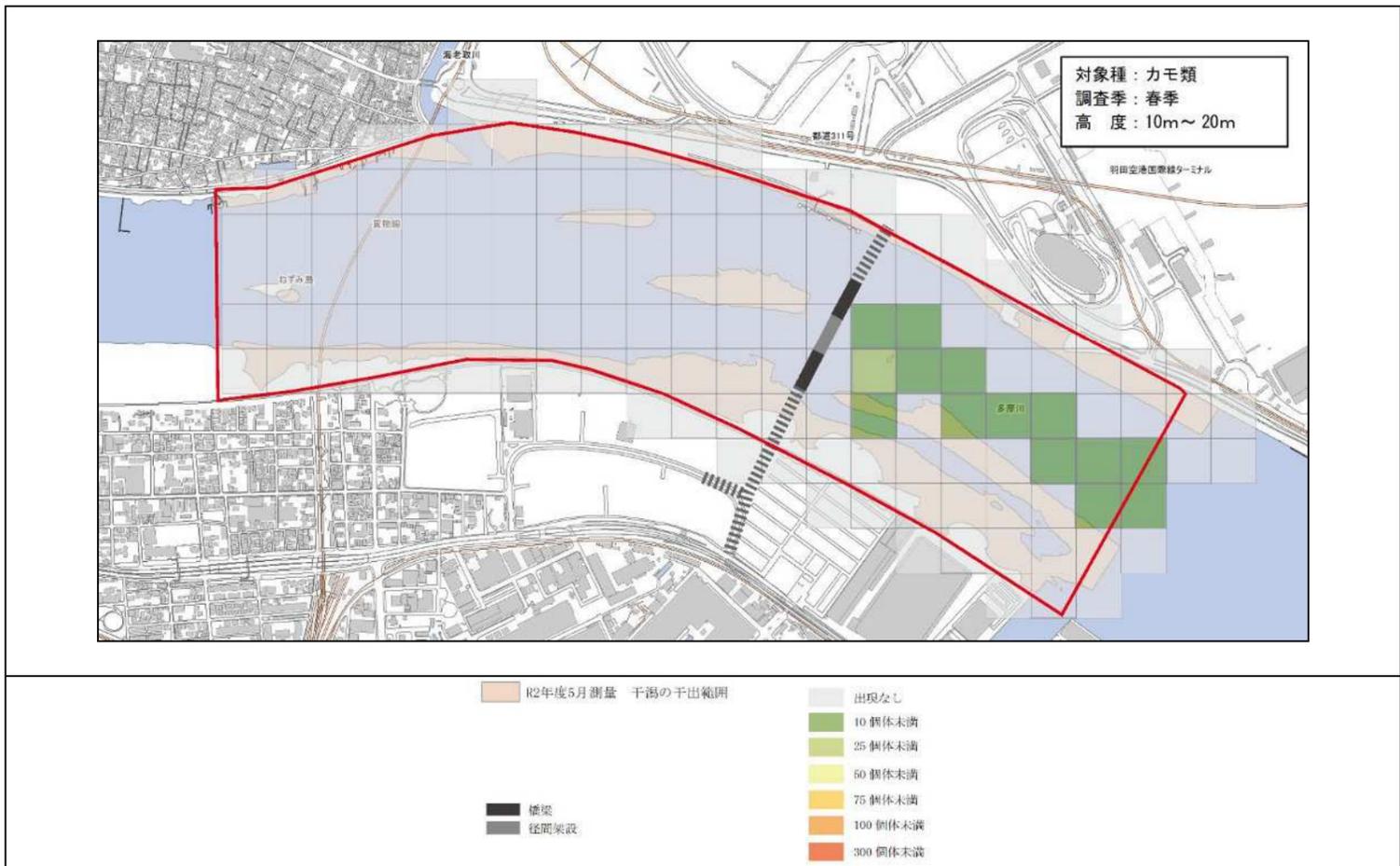
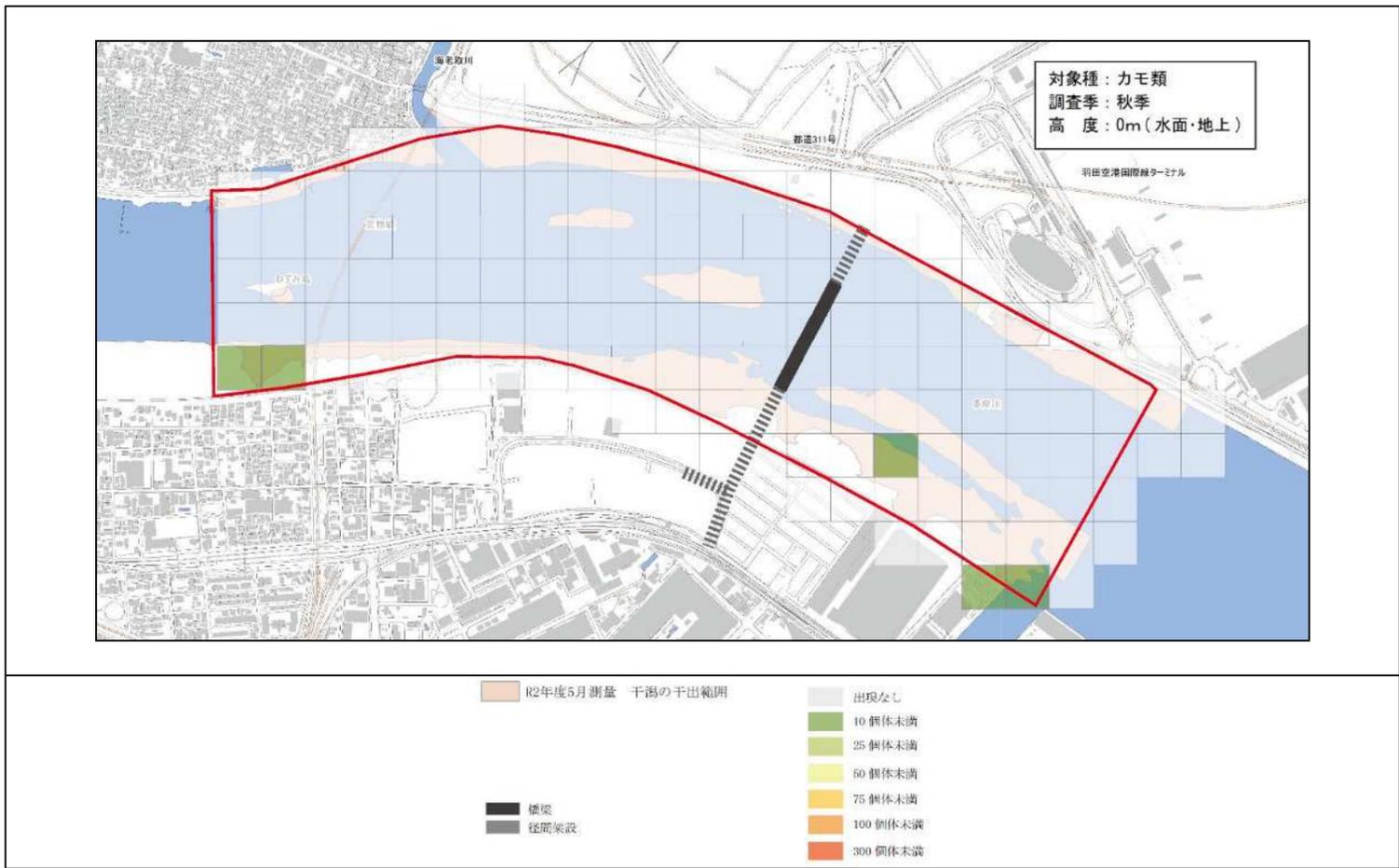


図 5.9 (1) 平面分布図(カマ類：R2 年度春季 0m , 1～5m , 5～10m)



R2 年度春季は 20～30m以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.9 (2) 平面分布図(カモ類：R2 年度春季 10～20m, 20～30m, 30～50m、50m以上)



R2 年度秋季は 0m(水面・地上)以外の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.9 (3) 平面分布図(カモ類：R2 年度秋季 0m)

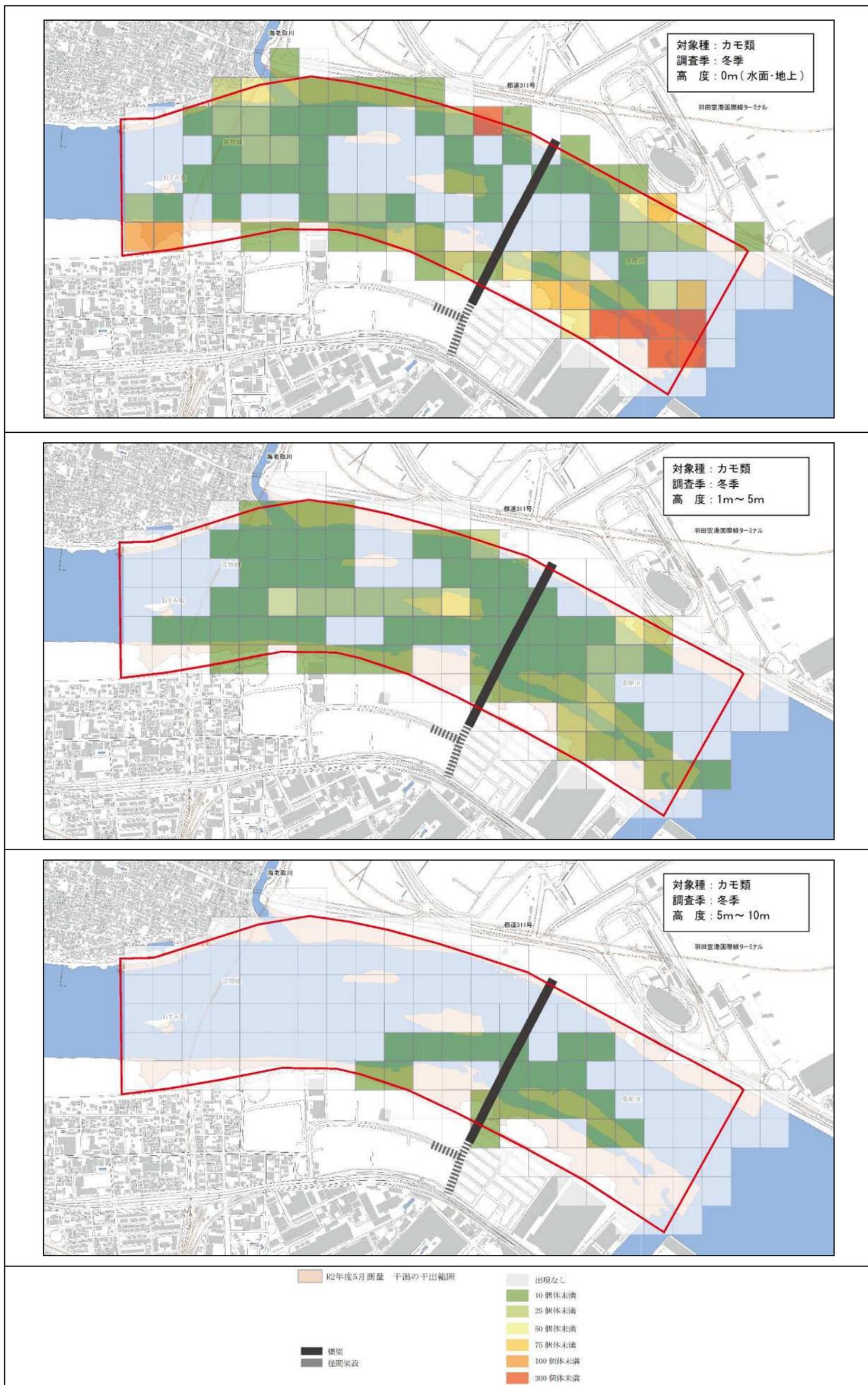
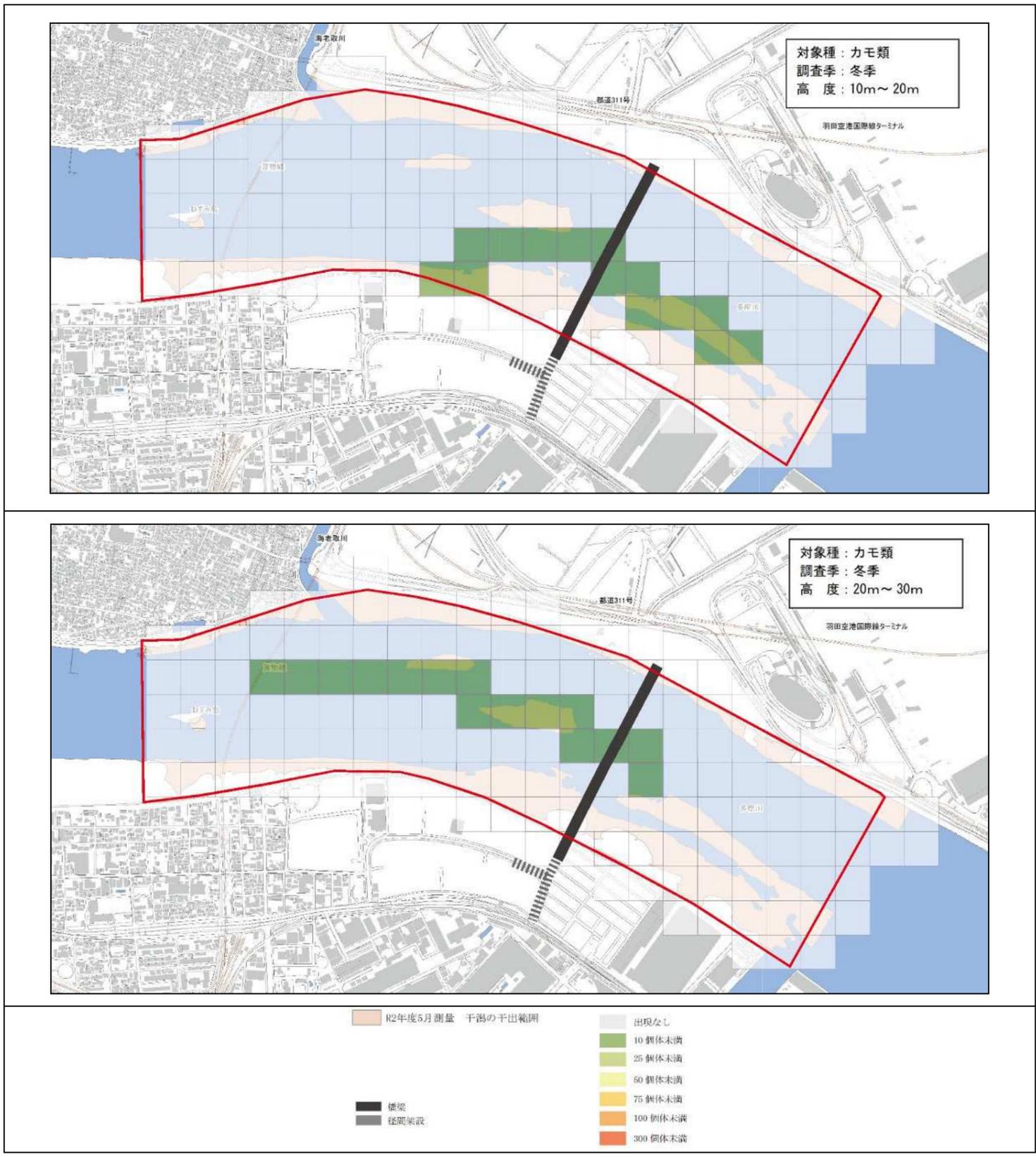


図 5.9 (4) 平面分布図(カモ類：R2 年度冬季 0m , 1～5m , 5～10m)



R2 年度冬季は 30 ~ 50m 以上の高度区分での飛翔は確認されなかった。

図 5.9 (5) 平面分布図(カモ類：R2 年度冬季 10 ~ 20m , 20 ~ 30m)

(6) 魚類調査(広域調査)

1) 調査地点

表 6.1 (1) 魚類調査時の調査位置一覧(H29 年度春季・夏季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	計画路線周辺(中央)	35° 32 31.40	139° 45 38.80	刺網
2	計画路線周辺(右岸)	35° 32 25.75	139° 45 36.56	夕毛網・投網
3	計画路線周辺(左岸)	35° 32 39.73	139° 45 42.55	夕毛網・投網

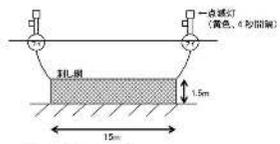
表 6.1 (2) 魚類調査時の調査位置一覧(H30 年度秋季以降)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	上流側(左岸)1	35° 32 31.40	139° 45 38.80	金魚網・投網
2	上流側(左岸)2	35° 32 25.75	139° 45 36.56	金魚網・投網
3	計画路線付近(左岸)1	35° 32 39.73	139° 45 42.55	金魚網・投網
4	計画路線付近(左岸)2	35° 32 44.70	139° 45 15.38	金魚網・投網
5	計画路線付近(右岸)1	35° 32 44.56	139° 45 17.03	金魚網・投網
6	計画路線付近(右岸)2	35° 32 38.81	139° 45 45.66	金魚網・投網
7	下流側(右岸)1	35° 32 38.29	139° 45 46.93	金魚網・投網
8	下流側(右岸)2	35° 32 26.94	139° 45 35.67	金魚網・投網
9	計画路線付近(中央)	35° 32 25.68	139° 45 34.16	刺網

2) 調査方法

調査方法は、地曳網(干潟汀線)、夕毛網(浅瀬、干潟)、投網(浅瀬)、刺網(浅瀬)を用いて魚類の採取を行った。また、既存の資料を活用し、通常時の状況を把握したうえで行った。調査方法及び調査の実施状況は、表 6.2 に示すとおりである。

表 6.2 魚類の調査方法一覧

種類	調査実施状況				漁具の説明及び採取方法、漁具の企画・努力量	調査時期
	R2年度春季 (R2. 5. 9~10)	R2年度夏季 (R2. 8. 17~18)	R2年度秋季 (R2. 9. 30~10. 2)	R2年度冬季 (R3. 2. 16~17)		
投網					<p>水深の浅い箇所や平瀬に生息する魚種の採取に適している。 タモ網等で捕獲が困難な遊泳力のある魚種の捕獲に有効である。 対象とする魚種によって使用する規格が異なる。 目合い18mm：スズキ、ウグイ、コイ類等 目合い12mm：マハゼ、ボラの幼魚等 本調査手法は、左右岸の干潟上でのみ、実施した。 目合：18mm 網裾：14.3m 数量：1統 目合：12mm 網裾：12.8m 数量：1統 努力量：1人5投程度</p>	春季 夏季 秋季 冬季
金魚網					<p>主にマハゼ類等の仔稚魚の採集に適している。 本調査手法は、左右岸の干出した干潟上でのみ、実施した。 各調査地点で10m*10mの調査区画を2区画設け、その区画内に存在するタイドプールを対象に、2人で10分間の採捕を行った。 現地で同定できない種は、持ち帰って分析に供した。 口径：15 cm 目合：0.5mm 各柄の長さ：30cm 数量：2本 努力量：2人で10分間</p>	春季 夏季 秋季 冬季
刺網					<p>水深の深い箇所や平瀬に生息する魚種の採取に適している。 一晩設置することにより、夜行性魚種の捕獲に有効である。 本調査手法は、中央の地点でのみ、実施した。 なお、設置に際しては、航行船舶の通航を考慮し、上下流にライトブイを設置した。 長さ：20m 網丈：1.2m 目合：15mm (半目) 数量：1枚 努力量：一晩設置</p> 	春季 夏季 秋季 冬季
地曳網					<p>水深の浅い箇所や平瀬に生息する魚種の採取に適している。 タモ網等で捕獲が困難な遊泳力のある魚種の捕獲に有効であり、調査者の技量に左右されないで定量的に魚種を採捕するのに適している。 本調査手法は、左右岸の干潟上でのみ、実施した。 調査は、2人1組で袖部を保持して、各地点上流方向に50歩程度の曳航を3回行った。 採捕された試料は、地点ごとに持ち帰って分析に供した。大型の個体は現地で種類の同定と計測を行った。 仔稚魚も対象として採捕した。 【袖口】目合：2mm 袖長：4m 【開口部】目合：0.8mm 開口部幅：4.0m 曳行：4.5m 数量：1統 努力量：上流方向に50歩*3回</p>	春季 夏季 秋季 冬季

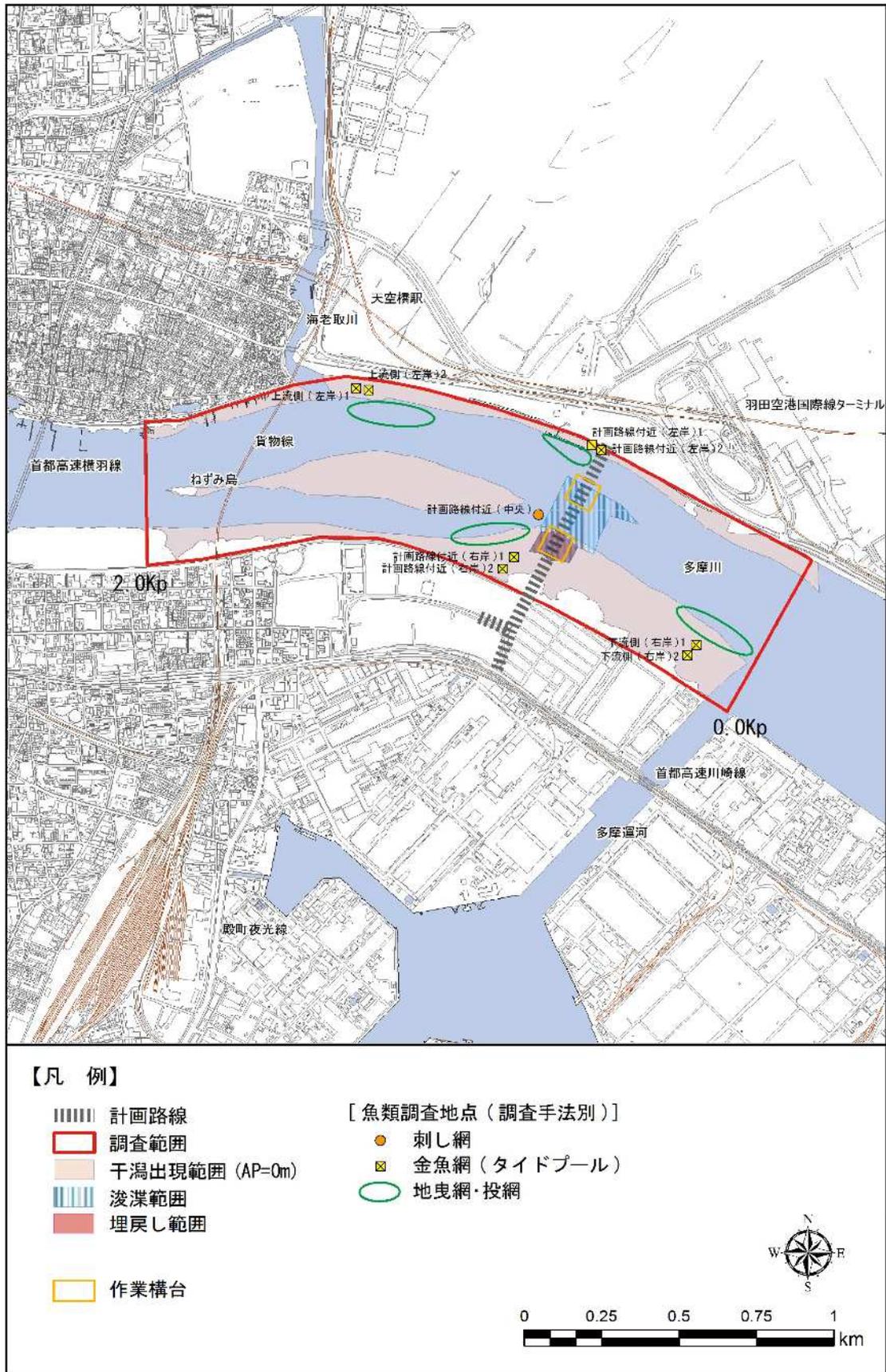


図 6.1 魚類調査地点

表 6.3(1) 魚類調査地点における水質調査結果(R2 年度春季 / R2.5.9～10)

項目	単位	調査地点及び調査手法													
		地曳網				金魚網									
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流			
				1	2	1	2	1	2	1	2				
水温		21.1	20.1	19.7	19.3	23.4	22.3	21.7	22.1	欠測				23.6	22.5
塩分	-	12.00	16.70	11.60	11.70	11.40	16.20	19.50	17.30					15.30	13.20
DO	mg/L	9.20	7.70	8.10	7.60	13.10	9.00	10.70	11.60					8.30	5.40
pH	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.1	7.9	8.4	8.5					7.9	7.8
濁度	FTU	12.0	7.5	-	-	-	-	-	-					-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.3(2) 魚類調査地点における水質調査結果(R2 年度夏季 / R2.8.17～18)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		33.8	31.4	30.1	31.5	33.3	34.6	32.6	32.9	35.9	35.1	34.8	35.1
塩分	-	6.80	9.40	11.50	9.80	5.10	12.30	7.80	15.80	10.30	11.90	13.80	13.90
DO	mg/L	12.10	10.10	7.00	7.50	6.20	12.60	7.70	6.50	5.50	11.10	5.30	8.10
pH	-	8.6	8.3	8.1	8.0	8.2	8.5	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.1
濁度	FTU	-	12.0	7.0	-	-	-	11.0	-	-	-	-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.3(3) 魚類調査地点における水質調査結果(R2 年度秋季 / R2.9.30～10.2)

項目	単位	調査地点及び調査手法											
		地曳網				金魚網							
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流	
				1	2	1	2	1	2	1	2		
水温		25.9	24.8	22.5	22.6	29.8	28.7	28.4	27.0	23.3	23.2	欠測	
塩分	-	10.50	13.80	9.60	9.40	14.70	9.40	17.60	16.10	13.00	9.60		
DO	mg/L	7.80	6.10	6.70	6.70	15.00	7.00	8.70	5.30	5.10	7.30		
pH	-	7.7	7.6	7.6	7.6	8.6	7.9	7.9	7.7	7.5	7.7		
濁度	FTU	12.0	10.0	8.0	6.5	11.0	-	-	-	-	-		

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.3(4) 魚類調査地点における水質調査結果(R2 年度冬季 / R3.2.16～17)

項目	単位	調査地点及び調査手法													
		地曳網				金魚網									
		右岸上流	右岸下流	左岸上流	左岸下流	右岸上流		右岸下流		左岸上流		左岸下流			
				1	2	1	2	1	2	1	2				
水温		21.1	20.1	19.7	19.3	23.4	22.3	21.7	22.1	欠測				23.6	22.5
塩分	-	12.00	16.70	11.60	11.70	11.40	16.20	19.50	17.30					15.30	13.2
DO	mg/L	9.20	7.70	8.10	7.60	13.10	9.00	10.70	11.60					8.30	5.4
pH	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.1	7.9	8.4	8.5					7.9	7.8
濁度	FTU	12.0	7.5	-	-	-	-	-	-					-	-

- : 水深が浅いため、または波が強く泥が巻き上げられ、正常値の測定が困難なため欠測とした。

表 6.4 (2) 魚類確認種一覧(R2 年度夏季(R2.8.17~18))

No.	分類*1				生活史型*4	調査時期及び調査地点*3 R2年度夏季(R2.8.17~18)																												
	目名	科名	学名	種名*2		右岸上流				右岸下流				中央		左岸上流				左岸下流														
						金魚網		投網	地曳網	金魚網		投網	地曳網	刺網	金魚網		投網	地曳網	金魚網		投網	地曳網												
						岸側	沖側			岸側	沖側				岸側	沖側			岸側	沖側														
1	エイ	アカエイ	Dasyatis akajei	アカエイ	海水									1																				
2	ニシン	ニシン	Sardinella zunasi	サッパ	海水									2																				
3			Konosirus punctatus	コノシロ	海水									2																				
4		カタクチイワシ	Engraulis japonicus	カタクチイワシ	海水			4						2							1				12									
5	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	淡水																				1									
6			Tribolodon brandtii maruta	マルタ	遡河回遊																													
7			Tribolodon hakonensis	ウグイ	遡河回遊									1											4									
8	トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	Hypoatherina valenciennesi	トウゴロウイワシ	海水																				1									
9	ダツ	サヨリ	Hyporhamphus intermedius	クルマサヨリ	汽水																				1									
10	カサゴ	コチ	Platycephalus sp.2	マゴチ	海水																				3									
11	スズキ	スズキ	Lateolabrax japonicus	スズキ	海水																													
12		ヒイラギ	Nuchequula nuchalis	ヒイラギ	海水																													
13		タイ	Acanthopagrus schlegelii	クロダイ	海水									1											4									
14		ニベ	Nibea mitsukurii	ニベ	海水																													
15			Pennahia argentata	シログチ	海水																													
16		ボラ	Mugil cephalus	ボラ	海水																													
17			Chelon haematocheilus	メナダ	海水																													
18		ハゼ	Eutaeniichthys gilli	ヒモハゼ	汽水																				1									
19			Gymnogobius heptacanthus	ニクハゼ	海水									1											6									
20			Gymnogobius macrognathos	エドハゼ	汽水																													
21			Gymnogobius breunigii	ピリンゴ	汽水																													
22			Glossogobius olivaceus	ウロハゼ	汽水																				1									
23			Acanthogobius flavimanus	マハゼ	汽水																													
24			Acanthogobius lactipes	アシシロハゼ	汽水																													
25			Pseudogobius masago	マサゴハゼ	汽水																													
26			Favonigobius gymnauchen	ヒメハゼ	汽水																													
27			Acentrogobius sp.2	ツマグロスジハゼ	海水																													
28			Tridentiger bifasciatus	シモフリシマハゼ	汽水																													
29			Tridentiger obscurus	チチブ	汽水																													
-			Gobiidae	ハゼ科	不明																													
合計	7目	13科	29種	28種	種数	3種	0種	6種	5種	4種	0種	6種	10種	8種	1種	4種	8種	8種	3種	3種	9種	14種												
					個体数	32個体	0個体	41個体	85個体	6個体	0個体	20個体	66個体	31個体	1個体	4個体	62個体	29個体	6個体	6個体	49個体	559個体												
						11種				15種				8種				13種				18種												
						158個体								92個体						96個体								620個体						

*1：種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。
 *2：「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。
 *3：数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。
 *4：生活史型は以下のとおり(出典：加納光樹・小池哲・河野博.1999.東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性.魚類学雑誌 47(2)).
 海水魚：海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。汽水魚：河口域や海域境界で産卵し、河口域で全生活史をほぼ完結する種である。
 両側回遊魚：産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。
 遡河回遊魚：産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

表 6.4 (4) 魚類確認種一覧(R2 年度冬季(R1.2.26~27))

No.	分類*1				生活史型*4	調査時期及び調査地点*3 R2年度冬季(R1.2.26~27)																					
	目名	科名	学名	種名*2		右岸上流				右岸下流				中央	左岸上流				左岸下流								
						金魚網		投網	地曳網	金魚網		投網	地曳網	刺網	金魚網		投網	地曳網	金魚網		投網	地曳網					
						岸側	沖側			岸側	沖側				岸側	沖側			岸側	沖側							
1	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	両側回遊				37					20													6
2		シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>	シラウオ	汽水									5													
3	ボラ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	海水				1					3								1					
4	スズキ	メバル	<i>Sebastes sp.</i>	カサゴ属	海水									7													
5		スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	海水									2								1					
6		タウエガジ	<i>Dictyosoma burgeri</i>	ダイナンギンボ	海水				7					14													
7		ハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	汽水									1	13												
8			<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ	汽水				1	12		1							2	13				2		3	
9			<i>Pseudogobius masago</i>	マサゴハゼ	汽水				87			1								4							
10			<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ	汽水						4	1															
11			<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ	汽水				2					1													
12			<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	スミウキゴリ	両側回遊									2													
13			<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ	汽水					3				12												2	
14			<i>Gymnogobius macrognathos</i>	エドハゼ	汽水				1																3		
-			Gobiidae	ハゼ科	不明									32											1		
合計		3目	7科	14種	14種	種数	2種	0種	2種	6種	1種	3種	0種	9種	2種	0種	0種	1種	5種	0種	0種	1種	3種				
							8種				12種				5種				3種								
	88個体						0個体	3個体	63個体	4個体	3個体	0個体	97個体	15個体	0個体	0個体	2個体	23個体	0個体	0個体	2個体	11個体					
						154個体				104個体				25個体				13個体									

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト~令和元年度版~(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「~科の一種」「~属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

*3: 数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。

*4: 生活史型は以下のとおり(出典:加納光樹・小池哲・河野博.1999.東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性.魚類学雑誌 47(2)).

海水魚:海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。

汽水魚:河口域もしくは河口域と海域の境界で産卵を行い、河口域で全生活史をほぼ完結する種である(仔魚期に海域へ分散することもある)。

両側回遊魚:産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。

遡河回遊魚:産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

表 6.4 (5) 魚類確認種一覧(R2 年度通算)

No.	分類				R2年度												
	目名	科名	種名*2	生活史型*4	春季			夏季			秋季			冬季			
					右岸	刺網	左岸	右岸	刺網	左岸	右岸	右岸湾	刺網	左岸	右岸	刺網	左岸
1	エイ	アカエイ	アカエイ	海水				1									
2	カライワシ	カライワシ	カライワシ	海水									3				
3		イセゴイ	イセゴイ	海水													
4	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	降海回遊			2										
5	ニシン	ニシン	サッパ	海水					2		7	7	39		45		
6			コノシロ	海水	145		10418	6	2	13			1				
7		カタクチイワシ	カタクチイワシ	海水	4				2								
8	コイ	コイ	オイカワ	淡水						1			3				2
9			マルタ	遡河回遊					10	22			3				2
10			ウグイ	遡河回遊				1	1								
-			ウグイ属	遡河回遊													
11	サケ	アユ	アユ	両側回遊											57		6
12		シラウオ	シラウオ	汽水											5		
13			イシカワシラウオ	海水													
14	トゲウオ	ヨウジウオ	オクヨウジ	海水													
15			ヨウジウオ	海水									1				
16			ガンテンイシヨウジ	海水									2				
17	ボラ	ボラ	ボラ	海水	263		105	12		9	6	1		8	4		1
18			メナダ	海水				16			4						
-			メナダ属	海水													
19	トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	海水						1							
20	ダツ	サヨリ	クルマサヨリ	汽水						1							
21			サヨリ	海水			1										
22	スズキ	メバル	カサゴ属	海水											7		
23		コチ	マゴチ	海水						14	1		1	2			
-			コチ属	海水													
24		スズキ	ヒラスズキ	海水													
25			スズキ	海水	1		14		7							2	1
26		アジ	マアジ	海水										3			
27		ヒイラギ	ヒイラギ	海水					1								
28		イサキ	コショウダイ	海水													
29		タイ	クロダイ	海水	1		455	1		7							
30			キチヌ	海水			1										
31		ニベ	ニベ	海水					3								
32			シログチ	海水					13				16				
-			ニベ科	海水													
33		キス	シロギス	海水													
34		シマイサキ	コトヒキ	海水							20						
35			シマイサキ	海水													
36		メジナ	メジナ属	海水			1										
37		タウエガジ	ダイナンギンボ	海水											21		
38		ニシキギンボ	ニシキギンボ属	海水													
39		イソギンボ	トサカギンボ	汽水													
40			イダテンギンボ	海水													
41			ナベカ	海水													
-			ナベカ属	不明													
42		ネスッポ	ネスッポ科	海水													
43		ハゼ	ミミズハゼ	汽水													
44			イソミミズハゼ	汽水													
-			ミミズハゼ属	汽水			1										
45			ヒモハゼ	汽水	1		1	2		2	1	3		1			
46			マハゼ	汽水	667		616	24	1	83	3	8		13	1	13	
47			アシシロハゼ	汽水	8		7	48		97	14	21		1	14		20
48			アベハゼ	汽水													
49			マサゴハゼ	汽水	1		1	30			96	618		46	88		4
50			シモフリシマハゼ	汽水				1		3		14					
51			ヌマチチブ	両側回遊													
52			チチブ	汽水				4		3			7	3	5		
-			チチブ属	不明									4				
53			ヒナハゼ	汽水			1										
54			ウロハゼ	汽水									3				
55			ツマグロスジハゼ	海水									1				
-			キララハゼ属	海水											3		
56			ヒメハゼ	汽水	19		10	23	1	41	3	7		1	3		
57			スミウキゴリ	両側回遊	7		161								2		
58			ウキゴリ	両側回遊			342										
59			ニクハゼ	海水			51	2		8							
60			ピリンゴ	汽水	475		1401	41		4	11	54			15		2
61			チクゼンハゼ	汽水							1						
62			エドハゼ	汽水						4	2				4		3
63			ドロメ	海水	3284		16466	1									
-			ハゼ科	不明			2										
-			ハゼ科仔魚(破壊個体)	不明			57	26		401	16	72		5	32		1
64		クロユリハゼ	サツキハゼ	汽水													
65		カマス	アカカマス	海水										1			
66	カレイ	ヒラメ	ヒラメ	海水													
67		カレイ	イシガレイ	海水													
68			マコガレイ	海水													
69	フグ	ギマ	ギマ	海水													
70		フグ	クサフグ	海水													
-			トラフグ属	海水				2									
合計	13目	35科		種数	13種	0種	23種	18種	8種	19種	13種	16種	6種	12種	13種	2種	8種
				個体数	4876個体	0個体	30117個体	250個体	31個体	716個体	185個体	831個体	61個体	132個体	258個体	15個体	38個体

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

*3: 数値を記入した種が、当該調査時期に確認されており、数値は確認個体数を記した。

*4: 生活史型は以下のとおり(出典:加納光樹・小池哲・河野博.1999.東京湾内湾の干潟域の魚類相とその多様性.魚類学雑誌 47(2))。

海水魚:海域で産卵を行う種であり、基本的には河川淡水域では成長しない。

汽水魚:河口域もしくは河口域と海域の境界で産卵を行い、河口域で全生活史をほぼ完結する種である(仔魚期に海域へ分散することもある)。

両側回遊魚:産卵を河川淡水域で行い、仔魚は流下して海域で多少成長した後に河川に戻り、河川で成長・成熟する種である。

遡河回遊魚:産卵のために河川を遡り、淡水域で産卵を行う種である。

3) 重要種選定基準

現地調査によって生息が確認された種のうち、表 6.5 に示す選定基準に基づいて重要種を選定した。

表 6.5 重要種選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー(カッコ内は略号)
	法律	文化財保護法	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
	文献	環境省RL	「環境省レッドリスト2019」(環境省、2019年)に記載されている種	環境省	2019	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
	文献	東京都RDB	「東京都の保護上重要な野生動物種(本土部)～レッドデータブック東京2013～」(東京都環境局、平成25年)に記載されている種 本調査では、「区部」の地域区分該当種が対象となる。	東京都	2013	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1～*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
	文献	神奈川県RDB	「神奈川県レッドデータブック生物調査報告書2006(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成18年)に記載されている種	神奈川県	2006	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

表 6.7 (1) 重要種確認状況

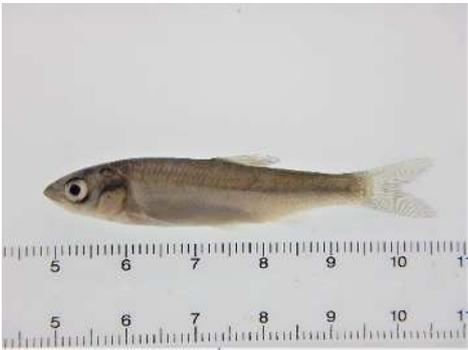
項目	内容
種名	ニホンウナギ
一般的生態	東アジア、国内では北海道以南に分布。マリアナ諸島西方海域で産卵し、仔魚はレプトケファルス幼生となって海流に運ばれる。沿岸域に到達してシラスウナギとなり、底生生活に移行し、河川や沿岸域で成長する。
注目種の選定状況	環境省 RL: EN (絶滅危惧 IB 類) 東京都 RDB: VU (絶滅危惧 類)
確認状況	春季に、左岸上流の地曳網および左岸下流の潮だまりで、それぞれ1個体ずつが確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和2年5月26日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和2年5月10日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	マルタ
一般的生態	体長 60cm 程度。体型は紡錘型で、口ひげはない。オスの婚姻色(赤色縦条)は1本しかない。婚姻色の出していない本種と他のウグイ属との識別は、目視では困難である。主に沿岸部から河口部の汽水域に生息し、春の産卵期には川を遡上し、河川の瀬に集団で産卵する。
注目種の選定状況	東京都 RDB: *1 (留意種) 神奈川県 RDB: VU (絶滅危惧 類)
確認状況	夏季に計 32 個体が確認された。全地点で投網や地曳網により確認された。秋季には、右岸濤の投網で 3 個体、左岸上流の地曳網で 2 個体が確認された。
<p><個体写真></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和2年9月9日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和2年8月17日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (2) 重要種確認状況

項目	内容
種名	ウグイ
一般的生態	婚姻色の出ていないマルタとは、頭部の感覚管の形態等で識別できる。淡水型と降海型があり、前者は河川上流域から河口域、湖沼などに広く分布、後者は汽水域から内湾、外海の沿岸部まで見られる。産卵期は春から夏、河川の瀬に集団で産卵する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB：NT（準絶滅危惧）
確認状況	夏季に右岸下流の投網で1個体が確認された。秋季には、左岸上流の投網で2個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和2年9月9日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和2年8月17日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	イシカワシラウオ
一般的生態	体長7cm程度。体形は細長く、体色は半透明な白色。あぶらびれがある。主に外洋に面する沿岸に生息する。産卵期は2-5月で、外洋に面した沿岸の水深約5mの砂底に産卵する。
注目種の選定状況	東京都 RDB：*1（留意種）
確認状況	令和2年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：平成30年10月17日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：平成30年10月10日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (3) 重要種確認状況

項目	内容
種名	クルマサヨリ
一般的生態	成魚は全長 20 cm程度で、下顎が長く、先端が黒い。本州から九州、朝鮮半島、中国に分布。大きな河川の汽水域付近で一を送る。産卵期は春から初夏で、水草などに卵を産みつける。
注目種の選定状況	環境省 RL : NT (準絶滅危惧)
確認状況	夏季に左岸下流の地曳網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 8 月 18 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	キチヌ
一般的生態	成魚は沿岸浅所の岩礁域周辺に生息する。幼魚は河川汽水域を生育場としており、干満に合わせて河川を出入りしながら小動物を捕食する。産卵期は秋で分離浮性卵を産む。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	春季に、左岸下流の投網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 5 月 10 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (4) 重要種確認状況

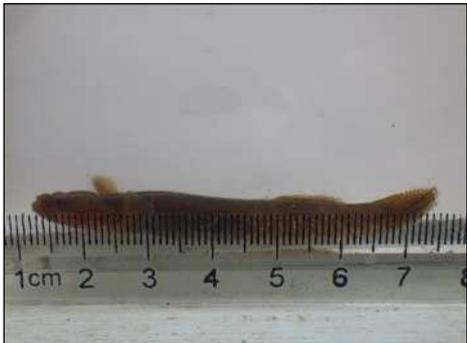
項目	内容
種名	メナダ
一般的生態	体長 70cm 程度。体型は紡錘型で、頭部は扁平する。尾びれはあまり湾入せず、眼球の周囲が赤く、口ひげはない。河口域や干潟などに生息する。産卵期は春で分離浮性卵を産む。
注目種の選定状況	東京都 RDB:NT (準絶滅危惧) 神奈川県 RDB:DD (情報不足)
確認状況	夏季に右岸上流の投網で 13 個体、右岸下流の投網で 3 個体が確認された。秋季には、右岸上流の投網で 3 個体、右岸下流の投網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 8 月 17 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ミミズハゼ
一般的生態	体長 8cm 程度。体型は細長く円筒形、ぬめりがある。口ひげはない。河川の汽水域や下流域から海岸の潮間帯まで広く生息する。産卵期は春頃で、卵は石の下などに産み付けられ、雄が守る。
注目種の選定状況	東京都 RDB:VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB:DD (情報不足)
確認状況	令和 2 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：平成 29 年 8 月 11 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：平成 29 年 8 月 11 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (5) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	イソミミズハゼ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長く円筒形、ぬめりがある。口ひげはない。岩礁性の海岸や河川河口域等に生息し、礫の空隙や転石下に潜む。本種は、尾鰭の縁辺に明瞭な透明域があることから、ミミズハゼとは別種である。重要種選定基準ではミミズハゼに包括して評価されているため、本書では注目種として扱う。
注目種の選定状況	東京都 RDB:VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB:DD (情報不足)
確認状況	令和 2 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ヒモハゼ
一般的生態	河口に発達する干潟の砂泥底に生息する。干潮時は甲殻類の坑道内に潜む。産卵期は 5 月から 8 月で、甲殻類の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL:NT (準絶滅危惧) 神奈川県 RDB:DD (情報不足)
確認状況	春季には、右岸下流および左岸上流の地曳網によって、それぞれ 1 個体ずつが確認された。夏季には、右岸下流の地曳網で 2 個体、左岸下流の地曳網および金魚網でそれぞれ 1 個体ずつが確認された。なお、左岸下流の潮だまりで金魚網により採集した個体は、同種の孵化直前の卵を飽食していた。秋季には、右岸下流、右岸湾および左岸下流の地曳網で、それぞれ 1、3 および 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時:令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時:令和 2 年 5 月 9 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (6) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	スミウキゴリ
一般的生態	主に河川下流から汽水域に生息する。動物食性でエビや水生昆虫、小魚などを食す。産卵期は冬から春。卵は石の下などに産み付けられ、雄が守る。ふ化仔魚は海へ降り、ある程度成長した稚魚期になると河川を溯上する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB : NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季には、計 168 個体が確認された。全地点の地曳網で確認され、ほとんどが左岸下流であった。冬季には、右岸下流の地曳網で 2 個体確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 5 月 10 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	エドハゼ
一般的生態	体長 4cm 程度。体型は細長い紡錘型で、下顎下部にひげ状突起がない。河川の汽水域から内湾の干潟に生息する。産卵期は春で、甲殻類の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL : VU (絶滅危惧 類) 東京都 RDB:VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB : DD (情報不足)
確認状況	春季には、計 19750 個体が確認された。主に地曳網で広く確認され、左岸下流で特に多かった。夏季には、右岸下流および左岸下流の潮だまりでそれぞれ 1 および 4 個体が確認された。秋季には、右岸上流の地曳網で 1 個体、右岸下流の潮だまりで 1 個体が確認された。冬季には、右岸上流の地曳網および潮だまりでそれぞれ 3 および 1 個体、左岸上流の地曳網で 3 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 5 月 10 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (7) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	チクゼンハゼ
一般的生態	体長 3 cm程度。下顎下部にひげ状突起があること等でエドハゼと識別できる。北海道から九州に分布。河口域の干潟に生息する。東京湾では、小櫃川河口域にほぼ限定的にみられる他、葛西の人工渚でもわずかに確認されている。産卵期は春で、甲殻類等の坑道内に卵を産み付ける。
注目種の選定状況	環境省 RL：VU（絶滅危惧 類）
確認状況	秋季に、右岸下流の潮だまりで 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 10 月 10 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 10 月 2 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ピリンゴ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長い紡錘型で体側に暗色横斑がある。腹びれは吸盤状になっている。河川の感潮域の砂泥底に生息する。産卵期は春で、河口域の甲殻類の坑道内に卵を産み付け、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB:NT（準絶滅危惧）
確認状況	春季には、計 1876 個体が確認された。主に地曳網で広く確認され、右岸上流や左岸下流で比較的多かった。夏季には、計 45 個体が確認された。地曳網などで広く確認され、右岸上流で比較的多かった。秋季には、右岸上流の投網で 1 個体、地曳網で 10 個体、右岸湾の地曳網で 54 個体が確認された。冬季には、右岸上流、右岸下流および左岸上流の地曳網で、それぞれ 3、12 および 2 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 5 月 10 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (8) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	ウロハゼ
一般的生態	河川汽水域に生息し、砂底や砂泥底の転石下などに潜む。夜行性で、魚類や甲殻類を捕食する。産卵期は夏で、石やブロックの下に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	神奈川県 RDB：注目（注目種）
確認状況	夏季に左岸下流の投網で1個体が確認された。秋季には、右岸湊の投網で2個体、地曳網で1個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和2年9月9日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和2年8月18日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	アシシロハゼ
一般的生態	体長 9cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭がやや丸い。体側に暗色斑がある。河川の汽水域から内湾に生息する。産卵期は 5-9 月で、転石の下等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB：*6（留意種）
確認状況	春季には、計 15 個体が確認された。地曳網や投網で広く確認された。夏季には、計 145 個体が確認された。地曳網などで広く確認された。秋季には、計 36 個体が確認された。左岸では下流の地曳網で1個体のみ、右岸では地曳網や投網、潮だまりでの採集で広く確認された。冬季には、計 34 個体が、地曳網や投網で広く確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和2年9月9日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和2年8月18日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (9) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	マサゴハゼ
一般的生態	体長 3cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭がやや丸い。体側に暗色斑がある。河川の汽水域の泥底に生息する。産卵期は 5-9 月頃と推定されている。
注目種の選定状況	環境省 RL: VU (絶滅危惧 類) 東京都 RDB: VU (絶滅危惧 類) 神奈川県 RDB: DD (情報不足)
確認状況	春季には、右岸上流および左岸下流の潮だまりで、それぞれ 1 個体ずつが確認された。夏季には、右岸上流の潮だまりのみで 30 個体が確認された。秋季には、計 760 個体が確認された。着底前後の小さな個体が左岸上流以外の地曳網で確認され、特に右岸滞りで 608 個体と多かった。潮だまりでは着底後の個体が確認され、右岸上流で 67 個体が確認された。冬季には、計 92 個体が確認され、右岸上流の潮だまりで 87 個体確認された他、右岸下流の潮だまりで 1 個体、左岸上流の地曳網で 4 個体確認された。
<個体写真>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 2 年 8 月 17 日)</p> </div> </div>
項目	内容
種名	ヒメハゼ
一般的生態	体長 9cm 程度。体型は細長い紡錘型で尾柄が細い。体側に暗色斑がある。河口域やそれに続く干潟に生息する。産卵期は夏頃で、石や貝殻の下等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB: NT (準絶滅危惧)
確認状況	春季には、計 29 個体が確認され、右岸上・下流、左岸上流で、主に地曳網で確認された。夏季には、計 65 個体が確認された。地曳網、投網等で広く確認され、河川中央の刺網でも 1 個体が確認された。秋季には、計 11 個体が確認され、右岸下流および右岸滞りの投網・地曳網、左岸下流の地曳網で確認された。冬季には、右岸上流の投網で 2 個体、右岸下流の地曳網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 2 年 8 月 18 日)</p> </div> </div>

表 6.7 (10) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	アベハゼ
一般的生態	体長 4cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に暗色斑と尾びれに向かって伸びる 2 本の黒褐色縦帯がある。河川の汽水域の泥底に生息する。産卵期は春から夏。石の下やカキ殻等に産卵し、雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB:NT (準絶滅危惧)
確認状況	令和 2 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和元年 10 月 18 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和元年 10 月 1 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	ツマグロスジハゼ
一般的生態	体長 5cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。内湾の湾奥、干潟、河口域、アマモ場、潮間帯の砂泥、泥底に生息する。産卵期は夏で、テッポウエビの巣穴や貝殻の下などに卵を産み付ける。腹鰭中央先端部のみが黒色であること等でスジハゼと区別できる。本種は、重要種選定基準ではスジハゼに包括して評価されているため、本書では注目種として扱う。
注目種の選定状況	東京都 RDB:NT (準絶滅危惧)
確認状況	夏季に、左岸下流の地曳網で 1 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時：令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時：令和 2 年 8 月 18 日)</p> </div> </div>	

表 6.7 (11) 重要種別確認状況

項目	内容
種名	ヌマチチブ
一般的生態	体長 13cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に青白色点が点在する。河川の中流域から汽水域、ため池などに生息する。産卵期は春から夏で、石の下等に産卵し雄が保護する。孵化した仔魚は海に下り、2 cm程に成長してから河川を遡上する両側回遊魚であるが、容易に陸封される。
注目種の選定状況	東京都 RDB: *6 (留意種)
確認状況	令和 2 年度調査では確認されなかった。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 平成 29 年 5 月 26 日)</p> </div> </div>	
項目	内容
種名	チチブ
一般的生態	体長 10cm 程度。体型は細長い紡錘型で頭は丸い。体側に青白色点が点在する。胸びれつけ根の黄斑に橙色線がない。内湾や河川の汽水域に生息する。産卵期は春から夏で、石の下等に産卵し雄が保護する。
注目種の選定状況	東京都 RDB: *6 (留意種)
確認状況	夏季に計 7 個体が確認された。全地点の潮だまりで、転石や流木の陰で確認された。秋季には、右岸澁の地曳網で 7 個体、左岸上流潮だまりの転石の陰で 3 個体が確認された。冬季には、右岸下流潮だまりの転石の陰で 5 個体が確認された。
<個体写真>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体写真 (撮影日時: 令和 2 年 9 月 9 日)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本種の確認環境 (撮影日時: 令和 2 年 8 月 17 日)</p> </div> </div>	

(7) 底生動物調査(広域調査)

1) 調査地点

表 7.1 (1) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(H29 年度春季)

No.	調査点	緯度	経度	備考
1	1-R-1	35° 32 29.11	139° 45 13.99	-
2	1-R-2	35° 32 29.30	139° 45 14.00	-
3	1-R-3	35° 32 30.00	139° 45 14.01	-
4	1-R-4	35° 32 30.40	139° 45 14.01	-
5	1-C-R	35° 32 34.60	139° 45 14.10	-
6	1-C-L	35° 32 37.30	139° 45 14.10	-
7	1-L-4	35° 32 43.70	139° 45 14.20	-
8	1-L-3	35° 32 44.00	139° 45 14.20	-
9	1-L-2	35° 32 45.70	139° 45 14.20	-
10	1-L-1	35° 32 45.89	139° 45 14.20	-
11	2-R-1	35° 32 28.31	139° 45 21.89	-
12	2-R-2	35° 32 28.40	139° 45 21.90	-
13	2-R-3	35° 32 29.30	139° 45 22.10	-
14	2-R-4	35° 32 29.60	139° 45 22.20	-
15	2-C-R	35° 32 32.70	139° 45 23.01	-
16	2-C-L	35° 32 36.60	139° 45 23.92	-
17	2-L-4	35° 32 42.51	139° 45 25.40	-
18	2-L-3	35° 32 42.80	139° 45 25.49	-
19	2-L-2	35° 32 44.11	139° 45 25.80	-
20	2-L-1	35° 32 44.50	139° 45 25.90	-
21	3-R-1	35° 32 26.10	139° 45 29.40	-
22	3-R-2	35° 32 26.31	139° 45 29.40	-
23	3-R-3	35° 32 29.40	139° 45 30.50	-
24	3-R-4	35° 32 29.69	139° 45 30.60	-
25	3-L-2	35° 32 41.50	139° 45 34.88	-
26	3-L-1	35° 32 42.09	139° 45 35.10	-
27	4-1R-1	35° 32 24.80	139° 45 36.29	-
28	4-1R-2	35° 32 24.90	139° 45 36.40	-
29	4-1R-3	35° 32 29.60	139° 45 38.89	-
30	4-1R-4	35° 32 29.91	139° 45 39.10	-
31	4-1L-2	35° 32 38.91	139° 45 43.80	-
32	4-1L-1	35° 32 39.50	139° 45 44.10	-
33	4-2R-1	35° 32 24.30	139° 45 38.30	-
34	4-2R-2	35° 32 24.50	139° 45 38.30	-
35	4-2R-3	35° 32 29.51	139° 45 41.01	-
36	4-2R-4	35° 32 29.81	139° 45 41.19	-
37	4-2L-2	35° 32 38.20	139° 45 45.60	-
38	4-2L-1	35° 32 38.79	139° 45 45.90	-
39	4-3R-1	35° 32 23.80	139° 45 40.20	-
40	4-3R-2	35° 32 24.00	139° 45 40.20	-
41	4-3R-3	35° 32 28.71	139° 45 42.70	-
42	4-3R-4	35° 32 29.00	139° 45 42.90	-
43	4-3L-2	35° 32 37.50	139° 45 47.29	-
44	4-3L-1	35° 32 38.01	139° 45 47.71	-
45	5-R-1	35° 32 18.10	139° 45 51.30	-
46	5-R-2	35° 32 18.20	139° 45 51.40	-
47	5-R-3	35° 32 21.50	139° 45 54.00	-
48	5-R-4	35° 32 21.81	139° 45 54.20	-
49	5-L-4	35° 32 29.91	139° 46 0.51	-
50	5-L-3	35° 32 30.09	139° 46 0.70	-
51	5-L-2	35° 32 31.40	139° 46 1.70	-
52	5-L-1	35° 32 31.50	139° 46 1.80	-
53	6-R-1	35° 32 14.00	139° 45 57.49	-
54	6-R-2	35° 32 14.11	139° 45 57.59	-
55	6-R-3	35° 32 18.20	139° 46 1.09	-
56	6-R-4	35° 32 18.40	139° 46 1.30	-
57	6-L-4	35° 32 27.12	139° 46 8.71	-
58	6-L-3	35° 32 27.30	139° 46 8.91	-
59	6-L-2	35° 32 28.21	139° 46 9.70	-
60	6-L-1	35° 32 28.40	139° 46 9.79	-

表 7.1 (2) 各調査項目の調査範囲及び調査地点(H29 年度秋季)

No.	調査点	緯度		経度		備考
1	1-R-1	35° 32	30.26	139° 45	14.59	-
2	1-C-1	35° 32	40.67	139° 45	14.67	-
3	1-C-2	35° 32	36.02	139° 45	14.62	-
4	1-L-1	35° 32	45.10	139° 45	14.69	-
5	2-R-1	35° 32	29.67	139° 45	22.32	-
6	2-C-1	35° 32	40.02	139° 45	24.98	-
7	2-C-2	35° 32	35.46	139° 45	23.81	-
8	2-L-1	35° 32	44.10	139° 45	26.03	-
9	3-R-1	35° 32	26.95	139° 45	29.75	-
10	3-C-1	35° 32	38.94	139° 45	34.02	-
11	3-C-2	35° 32	33.81	139° 45	32.20	-
12	3-L-1	35° 32	42.03	139° 45	35.16	-
13	4-1-R-1	35° 32	24.68	139° 45	36.53	-
14	4-1-R-2	35° 32	28.71	139° 45	38.43	-
15	4-1-C-1	35° 32	37.67	139° 45	43.11	-
16	4-1L-1	35° 32	39.21	139° 45	43.96	-
17	4-2R-1	35° 32	23.92	139° 45	38.46	-
18	4-2-R-2	35° 32	28.17	139° 45	40.61	-
19	4-2-C-1	35° 32	37.27	139° 45	45.25	-
20	4-2-C-2	35° 32	34.15	139° 45	43.69	-
21	4-2-C-3	35° 32	32.52	139° 45	42.80	-
22	4-2-C-4	35° 32	30.84	139° 45	42.00	-
23	4-2L-1	35° 32	38.56	139° 45	45.92	-
24	4-3-R-1	35° 32	23.27	139° 45	40.23	-
25	4-3-R-2	35° 32	27.58	139° 45	42.26	-
26	4-3-C-1	35° 32	36.46	139° 45	46.89	-
27	4-3L-1	35° 32	37.82	139° 45	47.63	-
28	5-R-1	35° 32	18.38	139° 45	51.50	-
29	5-R-2	35° 32	22.17	139° 45	54.38	-
30	5-C-1	35° 32	28.38	139° 45	59.15	-
31	5-L-1	35° 32	31.11	139° 46	1.16	-
32	6-R-1	35° 32	14.55	139° 45	57.84	-
33	6-R-2	35° 32	18.20	139° 46	0.91	-
34	6-C-1	35° 32	22.79	139° 46	4.77	-
35	6-L-1	35° 32	27.71	139° 46	8.93	-

表 7.1 (3) 各調査項目の調査範囲及び調査地点 (H30 年度春季以降)

No.	調査点	緯度		経度		備考
1	1-R-1	35 ° 32	30.26	139 ° 45	14.59	-
2	1-C-1	35 ° 32	40.67	139 ° 45	14.67	-
3	1-C-2	35 ° 32	36.02	139 ° 45	14.62	-
4	1-L-1	35 ° 32	45.10	139 ° 45	14.69	-
5	2-R-1	35 ° 32	29.67	139 ° 45	22.32	-
6	2-C-1	35 ° 32	40.02	139 ° 45	24.98	-
7	2-C-2	35 ° 32	35.46	139 ° 45	23.81	-
8	2-L-1	35 ° 32	44.10	139 ° 45	26.03	-
9	3-R-1	35 ° 32	26.95	139 ° 45	29.75	-
10	3-C-1	35 ° 32	38.94	139 ° 45	34.02	-
11	3-C-2	35 ° 32	33.81	139 ° 45	32.20	-
12	3-L-1	35 ° 32	42.03	139 ° 45	35.16	-
13	4-1-R-1	35 ° 32	24.68	139 ° 45	36.53	-
14	4-1-R-2	35 ° 32	28.71	139 ° 45	38.43	-
15	4-1-C-1	35 ° 32	37.67	139 ° 45	43.11	-
16	4-1L-1	35 ° 32	39.21	139 ° 45	43.96	-
17	4-2R-1	35 ° 32	23.92	139 ° 45	38.46	-
18	4-2-C-1	35 ° 32	37.27	139 ° 45	45.25	-
19	4-2L-1	35 ° 32	38.56	139 ° 45	45.92	-
20	4-3-R-1	35 ° 32	23.27	139 ° 45	40.23	-
21	4-3-C-1	35 ° 32	36.46	139 ° 45	46.89	-
22	4-3L-1	35 ° 32	37.82	139 ° 45	47.63	-
23	5-R-1	35 ° 32	18.38	139 ° 45	51.50	-
24	5-R-2	35 ° 32	22.17	139 ° 45	54.38	-
25	5-C-1	35 ° 32	28.38	139 ° 45	59.15	-
26	5-L-1	35 ° 32	31.11	139 ° 46	1.16	-
27	6-R-1	35 ° 32	14.55	139 ° 45	57.84	-
28	6-R-2	35 ° 32	18.20	139 ° 46	0.91	-
29	6-C-1	35 ° 32	22.79	139 ° 46	4.77	-
30	6-L-1	35 ° 32	27.71	139 ° 46	8.93	-

2) 調査方法

底生生物の調査方法は、定量調査(スミス・マッキンタイヤ(河川内)、コアサンプラー(干潟))、任意踏査(スコップ、タモ網等)による採集を行った。

採取方法は、15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ20cmまで採泥し、1.0mm目のフルイで砂泥を濾して各地点の底生生物を採集した。

底生生物調査方法及び実施状況は、表7.2に示すとおりである。

表7.2 底生生物調査方法及び実施状況

	調査方法		
	任意観察		定量採集
実施状況			
		R2年度春季 (R2. 5. 8~10)	
実施状況			
		R2年度秋季 (R2. 9. 30~10. 2)	
概要	任意観察は、干潟上に出現する大型甲殻類(カニ類等)を目視で観察するほか、転石を起こし、適宜タモ網を使用して、定量調査では出現しにくい大型の甲殻類の確認に努めた。 また、干潟上で観察されるヤマトオサガニ等のカニ穴の分布状況等を定性的に記録した。	定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。	コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、上図に示すスミス・マッキンタイヤを用いて採集した。

3) 重要種の選定基準

表 7.3 重要種の選定基準

No.	区分	表記	法律・文献名	制定機関・発行者	制定・発行年	カテゴリー (カッコ内は略号)
	法律	文化財保護法	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号) に基づく天然記念物及び特別天然 記念物に指定されている種	文化庁	1950	天然記念物(天) 特別天然記念物(特天)
		種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物 の種の保存に関する法律」(平成 4年6月5日法律第75号)に基づく 国内希少野生動植物種及び緊急指 定種に指定されている種	環境庁	1992	国内希少野生動植物種(国内)
	文献	環境省 RL	「環境省レッドリスト2017」(環 境省、平成29年)に記載されてい る種	環境省	2017	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
		東京都 RDB	「東京都の保護上重要な野生生物 物種(本土部)~レッドデータ ブック東京2013~」(東京都環境 局、平成25年)に記載されている 種 本調査では、「区部」の地域区 分該当種が対象となる。	東京都	2013	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD) 留意種(*1~*8) *1: 準絶滅危惧(NT)に準ずる(現時点では絶滅のおそれはないが、 生息環境が減少していることから動向に留意する必要がある) *2: 過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある *3: 人為的な環境配慮により個体群が維持されている *4: 外来種の影響に注意する必要がある *5: 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている *6: 自然の回復状況をあらわしている *7: 良好な環境の指標となる *8: タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
		神奈川県 RDB	「神奈川県レッドデータブック生 物調査報告書2006(神奈川県立生 命の星・地球博物館、平成18年) に記載されている種	神奈川県	2006	絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅危惧 A類(CR) 絶滅危惧 B類(EN) 絶滅危惧 類(VU) 準絶滅危惧(NT) 減少種(減少) 希少種(希少) 要注目種(要注) 注目種(注目) 情報不足(DD) 不明種(不明) 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

4) 調査結果

表 7.4 底生生物分類群別確認種数(R2 年度春季 / R2.5.8 ~ 10)

分類				
門	綱	目	R2年度春季	
			科数	種数
紐形動物			1	1
軟体動物	腹足綱	盤足目	1	1
		頭楯目	1	1
	二枚貝綱	イガイ目	1	1
		マルスダレガイ目	6	8
環形動物	多毛綱	サシバゴカイ目	6	8
		スピオ目	2	6
		イトゴカイ目	1	4
		オフエリアゴカイ目	1	1
		ケヤリムシ目	2	2
節足動物	軟甲綱	クーマ目	2	2
		ヨコエビ目	1	1
		ワラジムシ目	1	2
		アミ目	1	2
		エビ目	7	7
4門	5綱	15目	34科	47種

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

表 7.5 底生生物分類群別確認種数(R2 年度秋季 / R2.9.30 ~ 10.2)

分類				
門	綱	目	R2年度秋季	
			科数	種数
紐形動物			1	1
軟体動物	腹足綱	盤足目	1	1
		頭楯目	1	1
	二枚貝綱	イガイ目	1	1
		マルスダレガイ目	7	8
		ウミタケガイモドキ目	1	1
		サシバゴカイ目	5	6
環形動物	多毛綱	イソメ目	1	1
		スピオ目	2	5
		イトゴカイ目	1	4
節足動物	軟甲綱	フジツボ目	1	1
		クーマ目	1	1
		ヨコエビ目	2	2
		ワラジムシ目	1	1
		エビ目	6	7
		ハエ目(双翅目)	1	1
		腕足動物	ホウキムシ綱	ホウキムシ目
5門	6綱	17目	34科	43種

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～令和元年度版～(水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「～科の一種」「～属の一種」については、同一の分類群に属する種が確認されている場合には種数に計上しないこととし、同一の分類群に属する種が確認されていない場合には、1種として計上した。

表 7.6 底生生物重要種一覧

No.	分類				H27年度 (アセス時)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		重要種選定基準						
	門	綱	目	種						春季	秋季							
1	軟体動物	腹足	盤足	ワカウラツボ	カワグチツボ	○	○	○	○					NT	留意			
2				カワザンショウガイ	ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ			○		○					NT	DD		
3				サザナミツボ	サザナミツボ					○						NT		
4				ミズゴマツボ	エドガウミズゴマツボ	○	○	○	○	○						NT	留意	
5				頭楯	ブドウガイ	カミスジカニコガイダマシ			○								VU	
6		二枚貝	マルスダレガイ	ウロコガイ	ガタツキ	○	○	○	○	○						DD		
7				フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ			○		○						NT	EX	
8				ニッコウガイ	サビシラトリガイ					○							NT	
9				シジミ	ヤマトシジミ	○	○	○	○	○							NT	留意
10					マルスダレガイ	ハマグリ			○									VU
11					オオノガイ	オオノガイ			○		○							NT
12	節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	シラタエビ	○		○	○							留意		
13					ユビナスジエビ		○			○								留意
14					スジエビ		○											留意
15					コメツキガニ	チゴガニ	○	○	○	○	○							留意
16						コメツキガニ	○	○	○	○	○							留意
17					オサガニ	ヤマトオサガニ	○	○	○	○	○							留意
18					ベンケイガニ	クロベンケイガニ			○	○	○							留意
19						カクベンケイガニ			○	○	○							留意
20					モズクガニ	モズクガニ				○								留意
21						アシハラガニ	○		○	○	○							留意
22			ケフサイソガニ					○							留意			
合計	2門	3綱	5目	16科	22種	11種	7種	16種	12種	16種	7種	13種	0種	0種	11種	15種	0種	

*1: 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト - 令和元年度版 - (水情報国土管理センター、2019年)」に準拠した。

*2: 「」を記入した種が、当該調査方法において確認されていることを示している。

*3: 重要種の選定基準とランクについては表 7.3 に準拠した。

*4: ムシヤドリカワザンショウで記載。

表 7.7 (1) 定量採集結果(R2 年度春季 / R2.5.8 ~ 10)

No.	学名			側線1				側線2				側線3				測線4-1																				
				左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	右岸	右岸																	
				1-L-1	1-C-1	1-C-2	1-R-1	2-L-1	2-C-1	2-C-2	2-R-1	3-L-1	3-C-1	3-C-2	3-R-1	4-1-L-1	4-1-C-1	4-1-R-2	4-1-R-1																	
目名	科名	種名	学名	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量													
1	(紐形動物門)	(紐形動物門)	紐形動物門	NEMERTINEA					3	0.03			3	0.10			2	0.03			1	0.01			1	0.01	1	0.00	2	0.04						
2	盤足目	ミスゴマツボ科	ウミゴマツボ	Stenothyra edogawensis																																
3	頭楯目	キセウタガイ科	キセウタガイ科	Philinidae																																
4	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ	Musculista senhousia	2	0.24	1	0.05	3	0.25			11	1.17	1	0.06	1	0.02	1	0.05																
5	マルスダレガイ目	バカガイ科	チヨノハナガイ	Raetellops pulchellus																																
6		ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	Macoma incongrua																																
7		ニッコウガイ科	ニッコウガイ科	Tellinidae																																
8		アサジガイ科	シズクガイ	Theora fragilis																																
9		マテガイ科	Solen属	Solen sp.																																
10		シジミ科	ヤマトシジミ	Corbicula japonica			1	0.11																												
11			Corbicula属	Corbicula sp.	3	0.00							1	0.01							1	0.02	4	0.04												
12		マルスダレガイ科	アサリ	Ruditapes philippinarum	1	0.31			2	0.21	1	0.46																								
13	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone属	Eteone sp.	1	0.01	1	0.02													2	0.03					1	0.00								
14		チロリ科	Glycera属	Glycera sp.																																
15		ニカイチロリ科	Glycinder属	Glycinder sp.																																
16		カギゴカイ科	Sigambra属	Sigambra sp.																																
17		ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma																																
18			Hediste属	Hediste sp.	86	0.72	2	0.18	14	0.15	2	0.00	4	0.03	13	0.13	91	1.28	1	0.00	3	0.03	10	0.06	3	0.04					2	0.01				
19			オウギゴカイ	Nectoneanthes latipoda																																
20		シロガネゴカイ科	Nephtys属	Nephtys sp.																																
21	スピオ目	スピオ科	スベスベハネエラスピオ	Paraprionospio coora																																
22			シノフハネエラスピオ	Paraprionospio patiens																																
23			Polydora属	Polydora sp.	3	0.00																														
24			ヤマトスピオ	Prionospio japonicus	1	0.00	1	0.00	10	0.02					1	0.00					9	0.03	5	0.03			28	0.05			1	0.00				
25			Pseudopolydora属	Pseudopolydora sp.	23	0.08	53	0.24	58	0.22					15	0.05	4	0.01			39	0.26	1	0.00			1	0.00	7	0.04	4	0.02				
26		ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ	Cirriiformia tentaculata																																
27	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属	Capitella sp.				1	0.00																											
28			Heteromastus属	Heteromastus sp.							1	0.00																								
29			Mediomastus属	Mediomastus sp.			1	0.00	2	0.00																										
30			Notomastus属	Notomastus sp.																																
31	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	Armandia属	Armandia sp.				1	0.00																											
32	ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	Euchone属	Euchone sp.																																
33		カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシゴカイ	Ficopomatus enigmaticus																																
34	クーマ目	シロクーマ科	シロクーマ科	Leuconidae																																
35		クーマ科	ミツオビクーマ	Diastylis tricineta																																
36	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	Grandidierella japonica	3	0.01	2	0.00					10	0.10			1	0.00	5	0.04	1	0.01									1	0.00	1	0.01		
37	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	ムロミスナウミナナフシ	Cyathura muromiensis																																
38			Cyathura属	Cyathura sp.																																
39	アミ目	アミ科	クロイサザアミ	Neomysis awatschensis				3	0.01																											
40			Neomysis属	Neomysis sp.																																
41	エビ目	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	Chelomalpheus koreanus																																
42		エビジャコ科	Crangon属	Crangon sp.																																
43		スナモグリ科	スナモグリ科	Callianassidae																																
44		アナジャコ科	Upogebia属	Upogebia sp.																																
45		コメツキガニ科	チゴガニ	Ilyoplax pusilla																																
46		オサガニ科	Macrophthalmus属	Macrophthalmus sp.																																
47		モクスガニ科	Hemigrapsus属	Hemigrapsus sp.																																
-	15目	34科	47種	-	123個体	1.37g	62個体	0.60g	92個体	0.65g	20個体	0.84g	4個体	0.03g	31個体	0.18g	152個体	5.28g	13個体	0.85g	11個体	0.12g	71個体	0.44g	31個体	0.26g	8個体	0.06g	40個体	0.48g	54個体	2.36g	17個体	0.09g	8個体	0.11g
					9種		8種		9種		6種		1種		5種		12種		7種		5種		10種		8種		4種		7種		14種		8種		4種	

表 7.7 (2) 定量採集結果(R2 年度春季 / R2.5.8 ~ 10)

No.	目名 科名 種名			学名	測線4-2			測線4-3			測線5				測線6																					
					左岸	中央	右岸	左岸	中央	右岸	左岸	中央	右岸		左岸	中央	右岸																			
					4-2-L-1	4-2-C-1	4-2-R-1	4-3-L-1	4-3-C-1	4-3-R-1	5-L-1	5-C-1	5-R-2	5-R-1	6-L-1	6-C-1	6-R-2	6-R-1																		
				個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量													
1	(紐形動物門)	(紐形動物門)	紐形動物門	NEMERTINEA	1	0.02	5	0.12	1	0.00	3	0.03	1	0.02	1	0.00	1	0.00	2	0.02	3	0.01			4	0.04			2	0.03						
2	盤足目	ミズゴマツボ科	ウミゴマツボ	Stenothyra edogawensis	3	0.01																														
3	頭橋目	キセワタガイ科	キセワタガイ科	Philinidae			5	0.09					4	0.03					18	0.28					11	0.12										
4	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ	Musculista senhousia	2	0.04				1	0.03	1	0.00					4	0.28	3	0.15							1	0.01	1	0.06					
5	マルスダレガイ目	バカガイ科	チヨノハナガイ	Raetellops pulchellus										1	0.11																					
6		ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	Macoma incongrua					1	0.07																	1	0.15								
7			ニッコウガイ科	Tellinidae										1	0.00																					
8			アサジガイ科	シズクガイ	Theora fragilis			5	0.13					9	0.44					15	0.60					26	1.12									
9			マテガイ科	Solen属	Solen sp.			1	0.08											2	0.09					2	0.27									
10			シジミ科	ヤマトシジミ	Corbicula japonica	7	9.72																								3	0.11				
11				Corbicula属	Corbicula sp.																	1	0.00			2	0.00		1	0.00	6	0.04				
12			マルスダレガイ科	アサリ	Ruditapes philippinarum	2	0.03	2	1.96					11	0.26					27	3.39	5	0.36					2	0.06	4	1.58	1	0.00			
13		サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone属	Eteone sp.			1	0.01					1	0.01												1	0.00				2	0.00			
14				テロリ科	Glycera属	Glycera sp.			1	0.12					1	0.02											8	0.95								
15			ニカイテロリ科	Glycinder属	Glycinder sp.															2	0.01															
16			カギゴカイ科	Sigambra属	Sigambra sp.			16	0.24	1	0.00			6	0.03														5	0.05						
17			ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma																															
18				Hediste属	Hediste sp.				9	0.08	10	0.04	2	0.01	1	0.01						5	0.02	9	0.03			1	0.03	4	0.04	7	0.02			
19				オウギゴカイ	Necteanthes latipoda																								1	1.47						
20		シロガネゴカイ科	Nephtys属	Nephtys sp.																							13	0.14								
21	スピオ目	スピオ科	スベスベハネエラスピオ	Paraprionospio coora																																
22				シノブハネエラスピオ	Paraprionospio patiens																															
23				Polydora属	Polydora sp.																1	0.00														
24				ヤマトスピオ	Prionospio japonicus	2	0.00			15	0.05	8	0.01	1	0.00	2	0.00	1	0.00			2	0.00	9	0.02							38	0.12			
25				Pseudopolydora属	Pseudopolydora sp.				33	0.25	6	0.01			10	0.03	2	0.00			6	0.02	3	0.00					55	0.37		1	0.00			
26		ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ	Cirriiformia tentaculata																																
27	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属	Capitella sp.																																
28				Heteromastus属	Heteromastus sp.	4	0.01			4	0.01	42	0.16			8	0.11	7	0.04			28	0.09	5	0.02	2	0.00	61	0.36	3	0.00	13	0.07			
29				Mediomastus属	Mediomastus sp.				7	0.06											16	0.08														
30				Notomastus属	Notomastus sp.																									3	0.01					
31	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	Armandia属	Armandia sp.																																
32	ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	Euchone属	Euchone sp.									3	0.09					4	0.13							1	0.01								
33		カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシゴカイ	Ficopomatus enigmaticus																																
34	クーマ目	シロクーマ科	シロクーマ科	Leuconidae																																
35		クーマ科	ミツオビクーマ	Diastylis tricineta																																
36	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	Grandidierella japonica					4	0.03									2	0.03	3	0.02	1	0.01	2	0.02	1	0.02	4	0.02	2	0.00				
37	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	ムロミスナウミナナフシ	Cyathura muromiensis																						2	0.03									
38			Cyathura属	Cyathura sp.	4	0.07			2	0.02	2	0.02			7	0.07	13	0.15			1	0.01	5	0.06	8	0.09			2	0.03	9	0.12				
39	アミ目	アミ科	クロイサザアミ	Neomysis awatschensis																																
40				Neomysis属	Neomysis sp.																															
41	エビ目	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	Chelomalpheus koreanus	1	0.18																														
42			エビジャコ科	Crangon属	Crangon sp.															1	0.03	2	0.17													
43			スナモグリ科	スナモグリ科	Callianassidae																															
44			アナジャコ科	Upogebia属	Upogebia sp.	1	0.03																													
45			コメツキガニ科	チゴガニ	Ilyoplax pusilla																															
46			オサガニ科	Macrophthalmus属	Macrophthalmus sp.																															
47			モクスガニ科	Hemigrapsus属	Hemigrapsus sp.																															
-	15目	34科	47種	-	27個体	10.11g	76個体	3.06g	38個体	0.17g	71個体	0.39g	50個体	0.94g	21個体	0.19g	24個体	0.71g	104個体	5.14g	56個体	0.83g	32個体	0.15g	20個体	0.18g	202個体	5.19g	21個体	1.71g	83個体	0.54g				
					10種		10種		7種		8種		12種		6種		6種		17種		11種		6種		6種		16種		8種		11種					

表 7.8 (1) 定量採集結果(R2 年度秋季 / R2.9.30~10.2)

No.	分類			学名	側線1				側線2				側線3				測線4-1					
	目名	科名	種名		左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	中洲	右岸	左岸	中央	右岸	右岸		
					1-L-1	1-C-1	1-C-2	1-R-1	2-L-1	2-C-1	2-C-2	2-R-1	3-L-1	3-C-1	3-C-2	3-R-1	4-1-L-1	4-1-C-1	4-1-R-2	4-1-R-1		
個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	
1	(紐形動物門)	(紐形動物門)	紐形動物門	NEMERTINEA			2 0.00	2 0.01			10 0.03	5 0.04	5 0.30			2 0.01	1 0.02			2 0.01		
2	盤足目	ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	Stenothyra edogawensis			8 0.03	1 0.00			2 0.00				8 0.03			7 0.02	8 0.03	1 0.00		
3	頭楯目	ヘコミツラガイ科	マツシマコメツブ	Retusa matsusima																		
4	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ	Musculista senhousia		80 0.55	4 0.15				2 0.03				21 0.30				14 0.15			
5	マルスダレガイ目	ガンツキ科	ガタツキ	Arthritica reikoeae											9 0.01							
6		バカガイ科	シオフキガイ	Mactra veneriformis													1 0.31					
-			Mactra属	Mactra sp.							1 0.00						1 0.00					
7		ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	Macoma incongrua																1 0.29		
8		アサジガイ科	シズクガイ	Theora fragilis																10 0.43		
9		マテガイ科	マテガイ	Solen strictus							1 0.18											
10		シジミ科	ヤマトシジミ	Corbicula japonica			1 0.00	2 1.56	18 1.09	1 0.01			3 2.34	1 0.15	5 2.98		7 5.55	6 0.09				
-			Corbicula属	Corbicula sp.		3 0.01	2 0.01	1 0.00	1 0.00	12 0.04						1 0.00		23 0.12		4 0.61	3 0.02	
11		マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	Mercenaria mercenaria											1 0.08		3 0.54			4 0.61		
12			アサリ	Ruditapes philippinarum			3 0.24	3 0.21							3 0.46		8 0.73	6 0.48		11 1.85		
13		ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	Laternula marilina											1 1.12						
14		サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone属	Eteone sp.											1 0.00						
15	チロリ科		Glycera属	Glycera sp.		3 0.04					4 0.16				1 0.00	1 0.01						
16	カギゴカイ科		Sigambra属	Sigambra sp.											1 0.00							
17	ゴカイ科		ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma						2 0.33												
-			Hediste属	Hediste sp.		1 0.07	4 0.03	6 0.11	5 0.03	12 0.30	8 0.22	13 0.25	1 0.01	4 0.01	1 0.02	4 0.09	1 0.00	6 0.12	1 0.01	6 0.04	2 0.02	
18			アシナガゴカイ	Neanthes succinea											9 0.03	2 0.02			2 0.01			
19			シロガネゴカイ科	Nephtys属	Nephtys sp.														1 0.01			
20	イソメ目	ギボシイソメ科	Scoletoma属	Scoletoma sp.																		
21	スピオ目	スピオ科	シノブハネエラスピオ	Paraprionospio patiens											1 0.00				3 0.01			
-				Paraprionospio属	Paraprionospio sp.																	
22				ヤマトスピオ	Prionospio japonicus		1 0.00															
23				イトエラスピオ	Prionospio pulchra																	
24			Pseudopolydora属	Pseudopolydora sp.												1 0.00				1 0.00		
25			ミスヒキゴカイ科	Cirratulidae															4 0.02			
26	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属	Capitella sp.							3 0.00				1 0.00				1 0.00			
27				Heteromastus属	Heteromastus sp.		1 0.00	2 0.00	4 0.00				2 0.00	4 0.02	2 0.00		4 0.01	3 0.01	1 0.00	7 0.01	1 0.00	
28				Mediomastus属	Mediomastus sp.																	
29				Notomastus属	Notomastus sp.		1 0.04		18 0.19	2 0.00	32 0.10		1 0.01		4 0.01				1 0.00		3 0.00	3 0.01
30	フジツボ目	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	Balanus improvisus			1 0.10															
31	クーマ目	クーマ科	ミツオビクーマ	Diastylis tricineta							1 0.00											
32	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	Grandidierella japonica	1 0.00		1 0.00						1 0.00	3 0.00		4 0.00	1 0.00					
33		メリタヨコエビ科	Melita属	Melita sp.																		
34	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura属	Cyathura sp.	3 0.03			2 0.01	1 0.01			3 0.02	5 0.04	1 0.01		5 0.04				5 0.03		
35	エビ目	テナガエビ科	シラタエビ	Exopalaemon orientis																1 0.07		
36				Palaemon属	Palaemon sp.																	
37			エビジャコ科	Crangon属	Crangon sp.												1 0.04					
38			スナモグリ科	スナモグリ科	Callinassidae								1 0.05									
39			アナジャコ科	アナジャコ	Upogebia major																	
40			オサガニ科	ヤマトオサガニ	Macrophthalmus japonicus																	
-				Macrophthalmus属	Macrophthalmus sp.																	
41			モクズガニ科	タカノケフサイソガニ	Hemigrapsus takanoi											1 0.27					2 1.07	
42	ハエ目(双翅目)	アシナガバエ科	アシナガバエ科	Dolichopodidae																		
43	ホウキムシ目	ホウキムシ科	ヒメホウキムシ	Phoronis ijimai																		
-	17目	34科	43種	-	9個体 0.15g	99個体 0.98g	46個体 0.69g	19個体 1.61g	77個体 1.87g	9個体 0.23g	42個体 1.20g	14個体 2.41g	25個体 0.58g	77個体 5.77g	17個体 1.18g	24個体 5.65g	48個体 0.38g	46個体 3.27g	36個体 0.22g	16個体 1.21g		
					5種	9種	10種	8種	6種	2種	12種	5種	8種	18種	8種	7種	8種	11種	8種	7種		

表 7.8 (2) 定量採集結果(R2 年度秋季 / R2.9.30 ~ 10.2)

No.	分類			学名	測線4-2				測線4-3				測線5				測線6																	
	目名	科名	種名		左岸		中央		右岸		左岸		中央		右岸		左岸		中央		右岸													
					4-2-L-1	4-2-C-1	4-2-R-1	4-3-L-1	4-3-C-1	4-3-R-0	4-3-R-1	5-L-1	5-C-1	5-R-2	5-R-1	6-L-1	6-C-1	6-R-2	6-R-1															
個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量													
1	(紐形動物門)	(紐形動物門)	紐形動物門	NEMERTINEA	1	0.00			3	0.05			7	0.12					3	0.06	1	0.00	2	0.10	1	0.01								
2	盤足目	ミスゴマツボ科	エドガワミスゴマツボ	Stenothyra edogawensis			4	0.02			3	0.00	5	0.02							3	0.01	4	0.01										
3	頭楯目	ヘコミツラガイ科	マツシマコメツブ	Retusa matsusima																	3	0.01												
4	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ	Musculista senhousia									3	0.01							11	0.15	23	0.26										
5	マルスダレガイ目	ガンツキ科	ガタツキ	Arthritica reikoae									1	0.00																				
6		バカガイ科	シオフキガイ	Mactra veneriformis																		5	0.68		1	0.08								
-				Mactra属	Mactra sp.																													
7			ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	Macoma incongrua			1	0.93									1	1.29					1	0.21									
8			アサジガイ科	シズクガイ	Theora fragilis			2	0.06			1	0.03					1	0.03					13	0.52									
9			マテガイ科	マテガイ	Solen strictus												1	0.95							1	0.08								
10			シジミ科	ヤマトシジミ	Corbicula japonica	1	0.02			2	0.10			4	0.07			1	0.05			2	3.46	1	3.24		1	0.78						
-					Corbicula属	Corbicula sp.																												
11			マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	Mercenaria mercenaria			2	0.21			3	0.33					2	0.91					9	1.71									
12				アサリ	Ruditapes philippinarum			4	0.73	1	0.10			6	0.67	2	0.08					7	2.52	1	0.02	1	0.03	62	7.82	19	3.42			
13		ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	Laternula marilina																													
14		サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone属	Eteone sp.																				1	0.00								
15			チロリ科	Glycera属	Glycera sp.			1	0.28															2	1.34	2	0.03							
16			カギゴカイ科	Sigambra属	Sigambra sp.			1	0.00			5	0.02											3	0.00	3	0.00							
17			ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	Hediste diadroma									1	0.16	8	2.69							4	2.17									
-					Hediste属	Hediste sp.			2	0.01	2	0.04	1	0.02	6	0.01								1	0.00	4	0.10	1	0.00					
18				アシナガゴカイ	Neanthes succinea									1	0.00												3	0.02	1	0.00				
19		シロガネゴカイ科	Nephtys属	Nephtys sp.														1	0.03															
20	イソメ目	ギボシイソメ科	Scoletoma属	Scoletoma sp.			1	0.02										1	0.00					3	0.05									
21	スピオ目	スピオ科	シノブハネエラスピオ	Paraprionospio patiens			2	0.00			1	0.00						115	1.39					31	0.21									
-					Paraprionospio属	Paraprionospio sp.																			16	0.01								
22					ヤマトスピオ	Prionospio japonicus					1	0.00					1	0.00																
23					イトエラスピオ	Prionospio pulchra							1	0.00												1	0.00							
24						Pseudopolydora属	Pseudopolydora sp.																			2	0.00							
25				ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ科	Cirratulidae																												
26	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella属	Capitella sp.					1	0.00														1	0.00									
27				Heteromastus属	Heteromastus sp.	6	0.01		1	0.00	13	0.05	5	0.00	2	0.01			18	0.13			7	0.03	15	0.07	1	0.00		3	0.01			
28				Mediomastus属	Mediomastus sp.																					90	0.19							
29				Notomastus属	Notomastus sp.											1	0.00	11	0.02						1	0.00					1	0.00		
30	フジツボ目	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	Balanus improvisus																														
31	クーマ目	クーマ科	ミツオビクーマ	Diastylis tricineta																														
32	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポンドロソコエビ	Grandidierella japonica				1	0.00	1	0.00			7	0.02										2	0.00	3	0.00						
33			メリタヨコエビ科	Melita属	Melita sp.																							3	0.00					
34	ウラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura属	Cyathura sp.	21	0.10		3	0.01	12	0.08			16	0.20	1	0.00	4	0.02			6	0.07	28	0.29	11	0.10	1	0.02	5	0.07	1	0.01	
35	エビ目	テナガエビ科	シラタエビ	Exopalaemon orientis				1	0.20					1	0.15			2	0.21															
36				Palaemon属	Palaemon sp.				1	0.07																								
37			エビジャコ科	Crangon属	Crangon sp.										1	0.04										1	0.04							
38			スナモグリ科	スナモグリ科	Callianassidae														1	0.03					1	0.08								
39			アナジャコ科	アナジャコ	Upogebia major																				1	1.59								
40			オサガニ科	ヤマトオサガニ	Macrophthalmus japonicus																				1	1.72								
-					Macrophthalmus属	Macrophthalmus sp.																			1	0.14								
41			モクスガニ科	タカノケフサイソガニ	Hemigrapsus takanoi																													
42	ハエ目(双翅目)	アシナガバエ科	アシナガバエ科	Dolichopodidae																														
43	ホウキムシ目	ホウキムシ科	ヒメホウキムシ	Phoronis ijimai																														
-	17目	34科	43種	-	31個体	0.14g	20個体	2.29g	13個体	6.16g	37個体	0.29g	25個体	1.05g	56個体	0.90g	26個体	2.81g	27個体	1.39g	128個体	6.17g	10個体	3.55g	44個体	2.53g	51個体	7.81g	256個体	12.25g	63個体	4.07g	8個体	0.81g
					5種		10種		11種		6種		8種		15種		6種		6種		7種		4種		6種		14種		20種		10種		6種	

4-3-R-0 は東日本台風により出現した干潟の濁筋において調査を実施。

(8) 底質調査(広域調査)

1) 調査方法

底質調査は、表 11.1 に示す調査手法を用いて、調査範囲内の底生生物の生息環境を把握するために土質調査を実施した。

底質の採取方法は、15cm の円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ 20cm まで採泥し、土質調査(粗度組成、強熱減量、COD)、現地測定(pH、底層 DO、水温、塩分)を行った。コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、スミス・マッキンタイヤを用いて採集した。

表 8.1 底質方法及び実施状況

		底質調査方法 定量採集	
実施状況			
		R2年度春季(R2. 5. 8~10)	
概要			
		R2年度秋季(R2. 9. 30~10. 2)	
	<p>定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。</p>	<p>コアサンプラーで採集できない河川上の地点においては、上図に示すスミス・マッキンタイヤを用いて採集した。</p>	

2) 調査結果

表 8.2 底質調査分析結果 (R2 年度春季/R2.5.8 ~ 10)

No.	調査時期	左右岸	地点名	粒度分析結果									化学分析結果	
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	春季	中央	1-C-1	0.263	0.0	0.0	0.0	0.1	61.9	33.8	2.9	1.3	1.3	0.6
2	春季	中央(中州)	1-C-2	0.304	0.0	1.6	1.8	3.6	63.7	25.8	3.0	0.5	1.2	0.5
3	春季	左岸	1-L-1	0.235	0.0	0.0	0.0	0.7	36.4	54.8	5.9	2.2	2.1	2.0
4	春季	右岸	1-R-1	0.0303	0.0	0.0	0.3	0.3	5.6	22.0	52.0	19.8	4.8	5.7
5	春季	中央	2-C-1	0.255	0.0	0.0	0.2	0.7	56.6	39.4	2.2	0.9	1.4	0.5
6	春季	中央(中州)	2-C-2	0.0711	0.0	0.0	0.2	0.1	2.9	45.4	34.4	17.0	5.5	6.7
7	春季	左岸	2-L-1	0.0138	0.0	0.0	0.2	0.1	0.7	11.5	53.7	33.8	6.7	7.7
8	春季	右岸	2-R-1	0.0555	0.0	0.0	0.5	0.2	9.7	33.7	37.6	18.3	4.0	5.3
9	春季	中央	3-C-1	0.221	0.0	0.0	0.2	0.1	23.7	66.7	6.4	2.9	2.0	1.8
10	春季	中央(中州)	3-C-2	0.166	0.0	0.0	0.1	0.2	20.1	57.1	15.4	7.1	3.9	4.9
11	春季	左岸	3-L-1	0.193	0.0	13.9	1.8	1.2	22.7	31.2	19.8	9.4	5.1	5.1
12	春季	右岸	3-R-1	0.14	0.0	0.1	0.3	0.3	16.3	52.1	19.9	11.0	3.8	3.4
13	春季	中央	4-1-C-1	0.0637	0.0	0.0	0.1	0.2	13.6	33.4	31.4	21.3	5.9	6.0
14	春季	左岸	4-1-L-1	0.0829	0.0	0.6	1.3	1.4	14.7	34.7	32.3	15.0	5.4	6.1
15	春季	右岸	4-1-R-1	0.0619	0.0	0.0	0.0	0.1	2.1	41.1	45.5	11.2	6.1	9.8
16	春季	右岸	4-1-R-2	0.16	0.0	2.3	1.0	1.5	24.8	37.0	20.8	12.6	2.8	3.4
17	春季	中央	4-2-C-1	0.0113	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	6.6	62.6	30.4	8.5	14.0
18	春季	左岸	4-2-L-1	0.139	0.0	0.0	0.2	0.3	13.7	61.1	18.8	5.9	2.4	4.7
19	春季	右岸	4-2-R-1	0.114	0.0	0.0	0.0	0.1	6.7	56.9	25.8	10.5	3.2	3.6
20	春季	中央	4-3-C-1	0.0501	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	34.8	42.2	18.8	5.2	3.9
21	春季	左岸	4-3-L-1	0.238	0.0	0.0	1.5	2.2	43.6	36.4	13.7	2.6	2.7	3.2
22	春季	右岸	4-3-R-1	0.211	0.0	0.0	0.1	0.4	29.6	51.9	12.0	6.0	2.4	3.8
23	春季	中央	5-C-1	0.0509	0.0	2.6	0.4	0.7	11.6	26.1	38.0	20.6	4.8	4.5
24	春季	左岸	5-L-1	0.0287	0.0	0.0	0.1	0.1	6.2	19.5	55.2	18.9	7.5	10.0
25	春季	右岸	5-R-1	0.0484	0.0	0.0	0.0	0.1	2.8	29.2	53.4	14.5	4.8	6.9
26	春季	右岸	5-R-2	0.241	0.0	2.1	2.0	1.4	39.3	42.8	7.2	5.2	3.0	2.2
27	春季	中央	6-C-1	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	20.7	56.7	22.3	6.1	4.7
28	春季	左岸	6-L-1	0.241	0.0	0.0	0.0	1.1	43.0	40.3	9.0	6.6	5.1	5.6
29	春季	右岸	6-R-1	0.254	0.0	0.0	0.0	1.6	49.4	37.8	7.3	3.9	2.7	3.3
30	春季	右岸	6-R-2	0.194	0.0	0.0	0.9	1.0	31.5	46.6	13.2	6.8	2.3	2.5

R2年度春季底質調査結果(粒度分析)

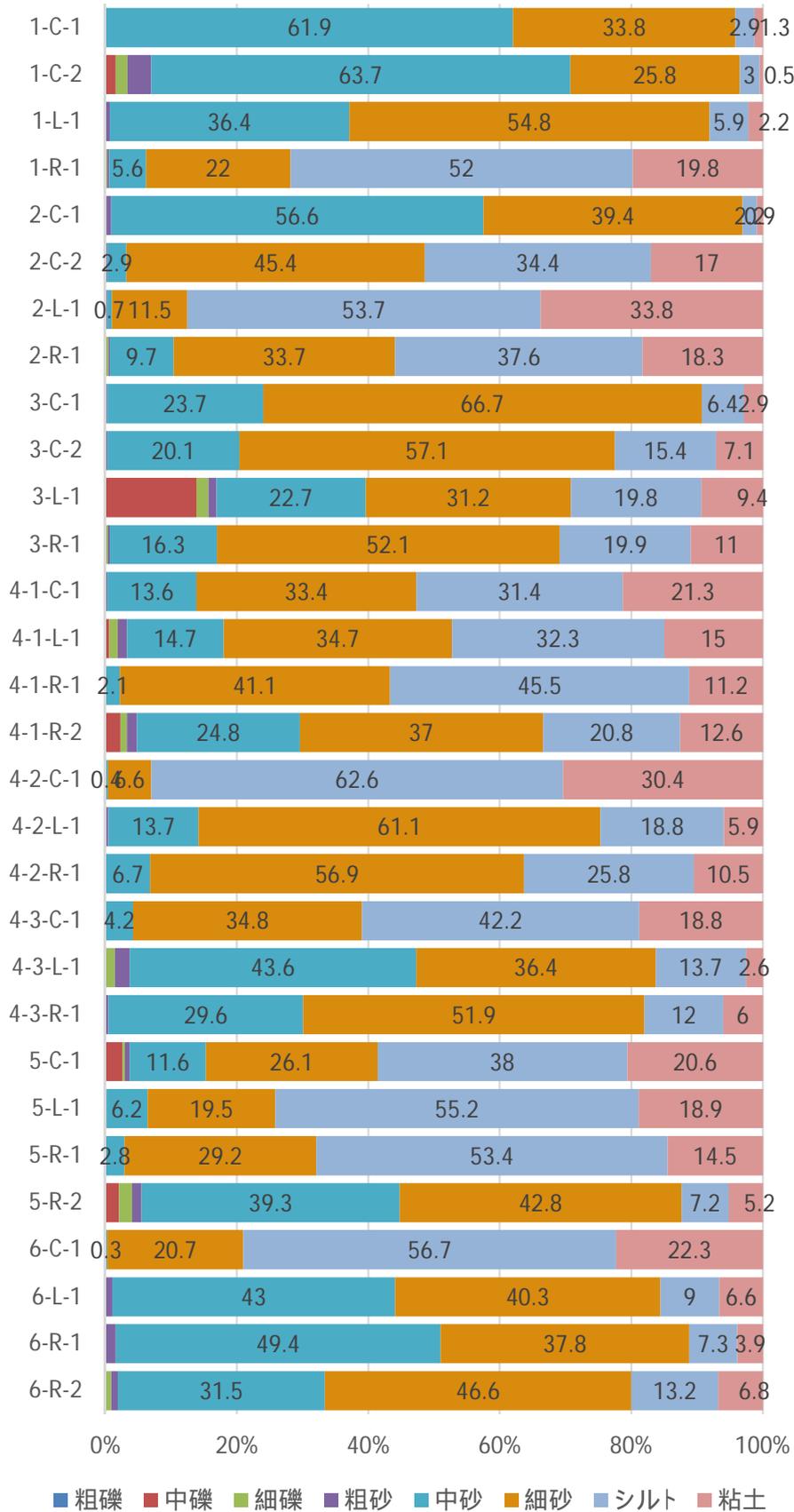


図 8.1 粒度組成分析結果 (R2 年度春季/R2.5.8 ~ 10)

表 8.3 底質調査分析結果 (R2 年度秋季 / R2.9.30 ~ 10.2)

No.	調査時期	左右岸	地点名	粒度分析結果									化学分析結果	
				d50(mm)	粗礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	強熱減量 (%)	COD (mg/g - dry)
1	秋季	中央	1-C-1	0.261			0.1	0.4	58.7	31.0	7.7	2.1	1.8	2.1
2	秋季	中央(中州)	1-C-2	0.0821					1.4	53.8	32.1	12.7	4.5	5.1
3	秋季	左岸	1-L-1	0.257				1.9	53.7	40.3	3.6	0.5	1.6	0.9
4	秋季	右岸	1-R-1	0.0959			0.2	0.2	7.7	49.0	32.6	10.3	3.5	4.6
5	秋季	中央	2-C-1	0.281			0.1	1.5	64.8	29.9	2.5	1.2	1.5	0.9
6	秋季	中央(中州)	2-C-2	0.117			0.1	0.1	3.2	63.6	24.6	8.4	4.1	5.0
7	秋季	左岸	2-L-1	0.128			0.6	0.6	14.9	53.5	21.6	8.8	2.5	2.8
8	秋季	右岸	2-R-1	0.111			0.9	0.3	12.4	48.2	29.0	9.2	3.8	4.4
9	秋季	中央	3-C-1	0.229			0.1	0.1	30.0	57.9	8.1	3.8	2.7	3.4
10	秋季	中央(中州)	3-C-2	0.0514				0.2	3.6	34.3	45.6	16.3	6.2	5.9
11	秋季	左岸	3-L-1	0.201			0.1	0.4	29.9	45.8	16.9	6.9	2.1	3.0
12	秋季	右岸	3-R-1	0.0912			0.3	0.7	13.4	41.9	28.4	15.3	3.9	5.5
13	秋季	中央	4-1-C-1	0.056				0.2	7.4	36.8	36.6	19.0	6.8	6.6
14	秋季	左岸	4-1-L-1	0.135			0.3	0.5	13.3	57.5	17.6	10.8	3.9	5.3
15	秋季	右岸	4-1-R-1	0.11				1.2	15.1	46.6	28.1	9.0	4.1	5.0
16	秋季	右岸	4-1-R-2	0.322		1.7	0.4	1.4	79.5	13.3	2.7	1.0	1.5	1.2
17	秋季	中央	4-2-C-1	0.0172				0.1	0.5	12.8	65.8	20.8	7.8	7.1
18	秋季	左岸	4-2-L-1	0.201		2.7	1.7	2.1	28.3	43.8	15.4	6.0	2.7	3.6
19	秋季	右岸	4-2-R-1	0.115			0.3	0.4	17.1	44.5	27.7	10.0	2.7	4.5
20	秋季	中央	4-3-C-1	0.023			0.2	0.1	0.5	19.8	59.1	20.3	6.7	6.0
21	秋季	左岸	4-3-L-1	0.361			0.4	3.0	71.2	20.8	4.0	0.6	1.5	1.8
22	秋季	右岸	4-3-R-1	0.118			0.1	0.1	12.1	51.1	27.1	9.5	3.9	6.2
23	秋季	中央	5-C-1	0.0195				0.1	2.1	11.4	68.1	18.3	7.6	7.2
24	秋季	左岸	5-L-1	0.239				1.4	43.7	45.2	7.6	2.1	2.1	3.2
25	秋季	右岸	5-R-1	0.126			0.1	0.3	14.8	54.3	22.4	8.1	3.9	5.7
26	秋季	右岸	5-R-2	0.298			0.1	1.0	69.3	25.7	3.6	0.3	1.4	0.9
27	秋季	中央	6-C-1	0.0176					0.4	4.1	76.4	19.1	7.1	6.9
28	秋季	左岸	6-L-1	0.0606				0.1	1.9	40.1	46.9	11.0	5.9	5.4
29	秋季	右岸	6-R-1	0.363			0.2	1.7	75.3	20.1	2.5	0.2	1.6	1.4
30	秋季	右岸	6-R-2	0.237			0.1	0.9	44.2	37.3	13.7	3.8	2.8	3.0

R2年度秋季底質調査結果(粒度分析)

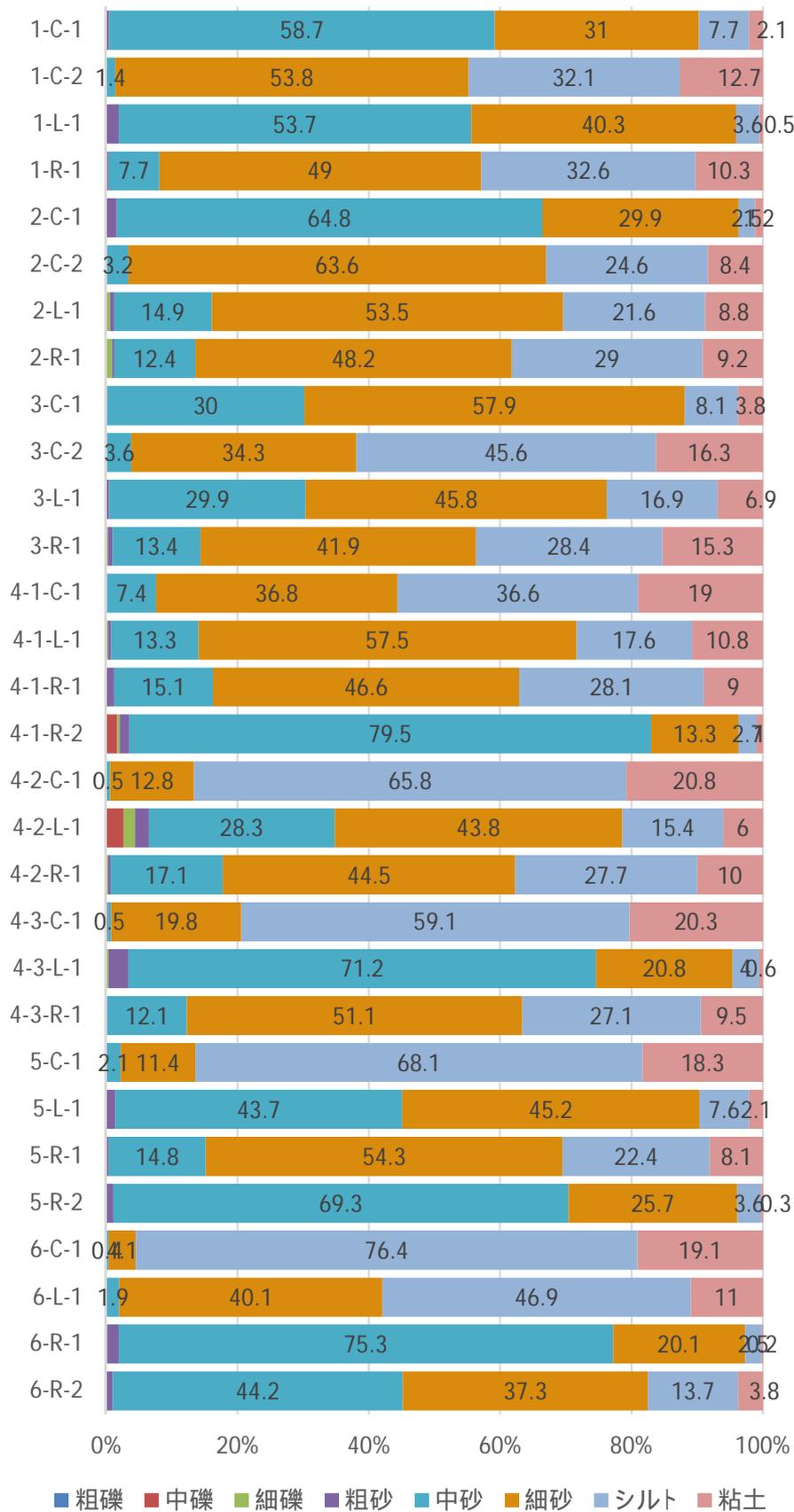


図 8.2 粒度組成分析結果 (R2 年度秋季 / R2.9.30 ~ 10.2)

(9) 地形変動(干潟調査)

1) 調査方法

夏季・秋季調査の測量は、レベルによる直接水準測量とし、調査範囲を 20m 間隔で実施した。ただし、緩衝帯の 5 測線は 1m 間隔で調査を実施した。

調査員は 3 名とし、1 名が陸地(測量機器操作員)、2 名が干潟内(測量ポールを使用し、位置を確認する作業員及び、巻尺による距離確認する補助作業員)で作業を実施した。

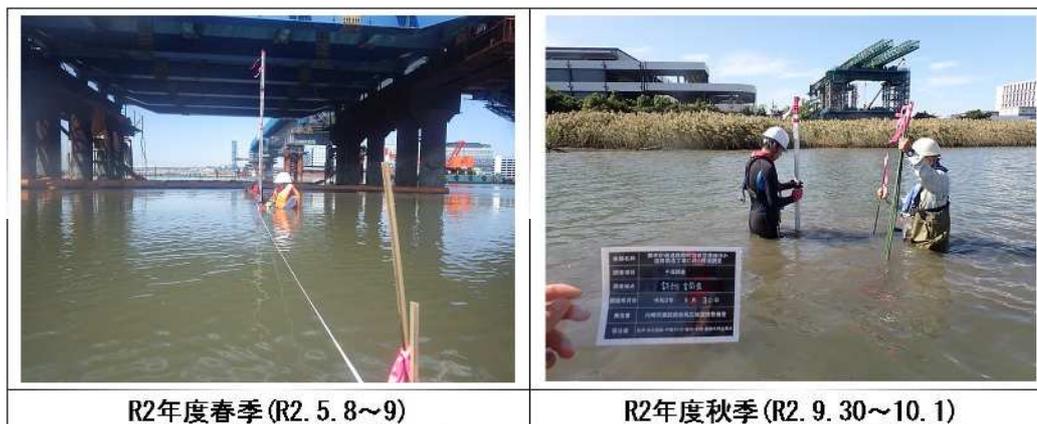


図 9.1 干潟の地形変動調査(R2 年度春季・秋季)の実施状況

表 9.1 使用機器の仕様(干潟の地形変動調査)

機種	機種名	製造	用途	精度	検定書	その他
音響測深器	PDR-1300 型	千本電機株式会社	深浅測量	$\pm (0.03 + \text{水深} / 1000)$ m 以上	無	
DGPS	SPS351	株式会社ニコン・トリンプル	深浅測量	1m 以下	無	
RTK-GPS	GPS1200 GX1230GG	ライカジオシステムズ株式会社	干潟測量	水平：10mm+1ppm 垂直：20mm+1ppm	有	ネットワーク型 RTKGPS 観測に適合
トータルステーション	FX-105	株式会社トプコン	干潟測量	$(2 + 2\text{ppm} \times D)$ mm D：距離	有	2級トータルステーションに適合
レベル	DL-103RS	株式会社トプコン	干潟測量 横断測量	1km 往復時：1.3mm	有	2級レベルに適合

2) 調査結果

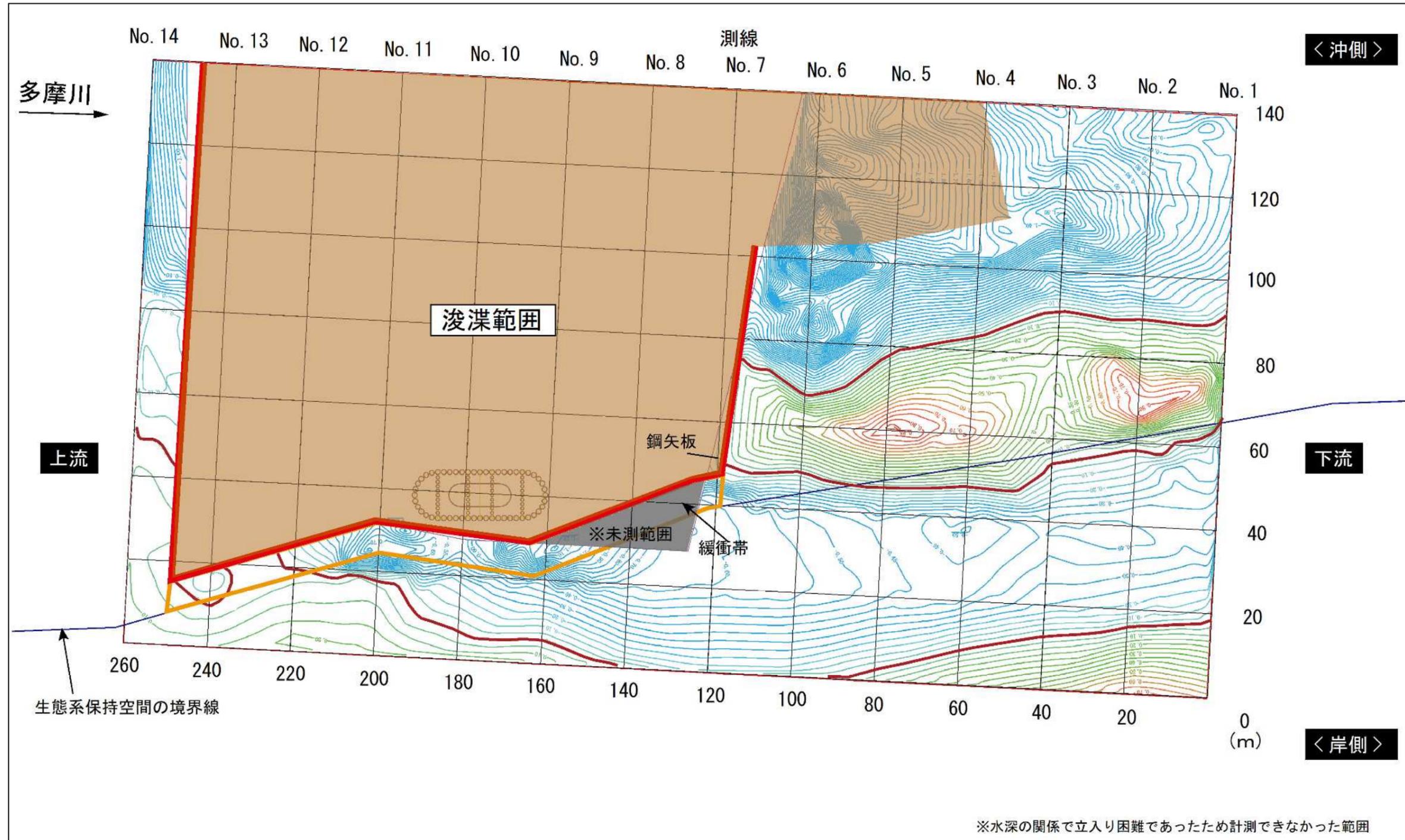


図 9.2 干潟等深線図 (R2 年度春季)

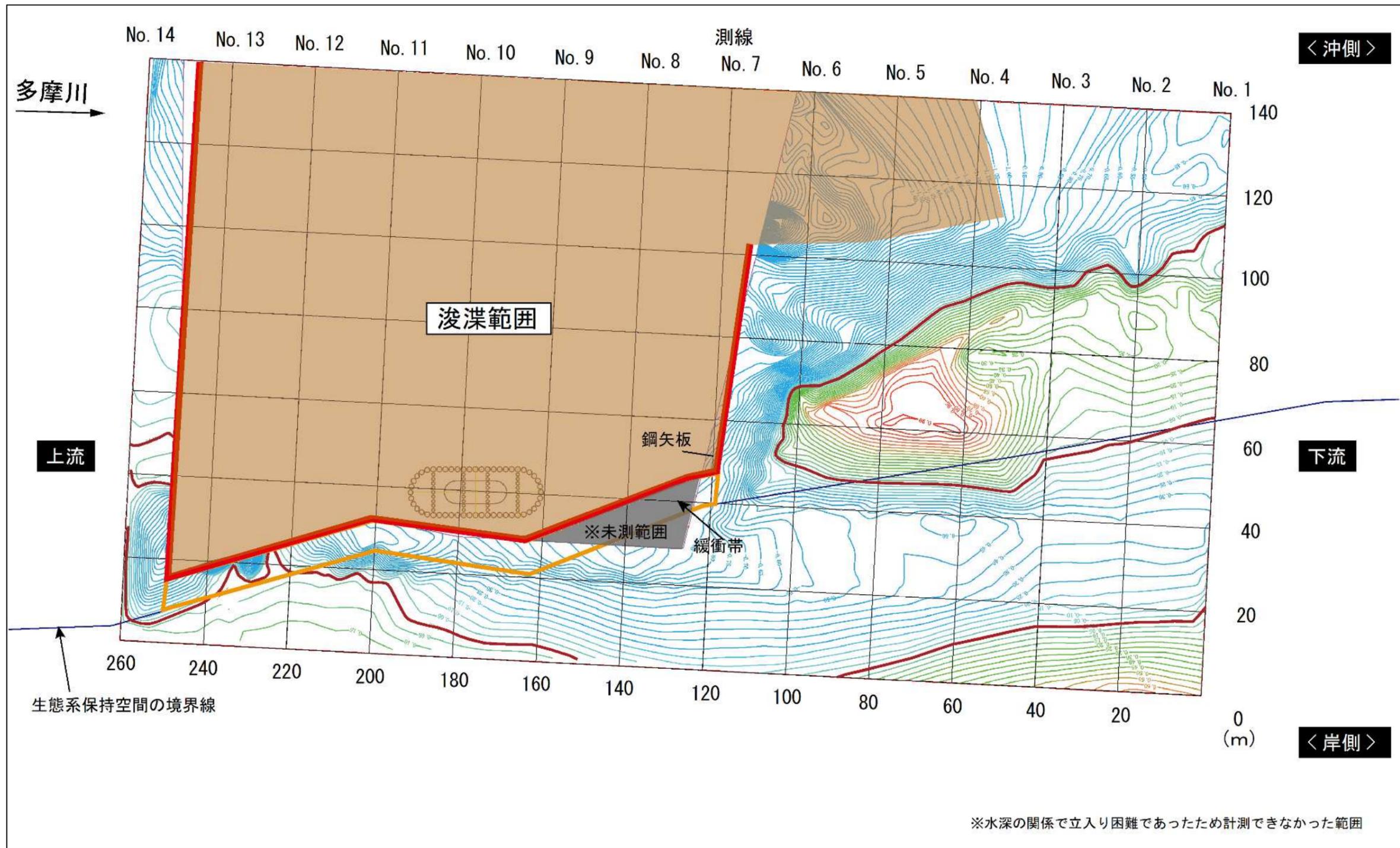
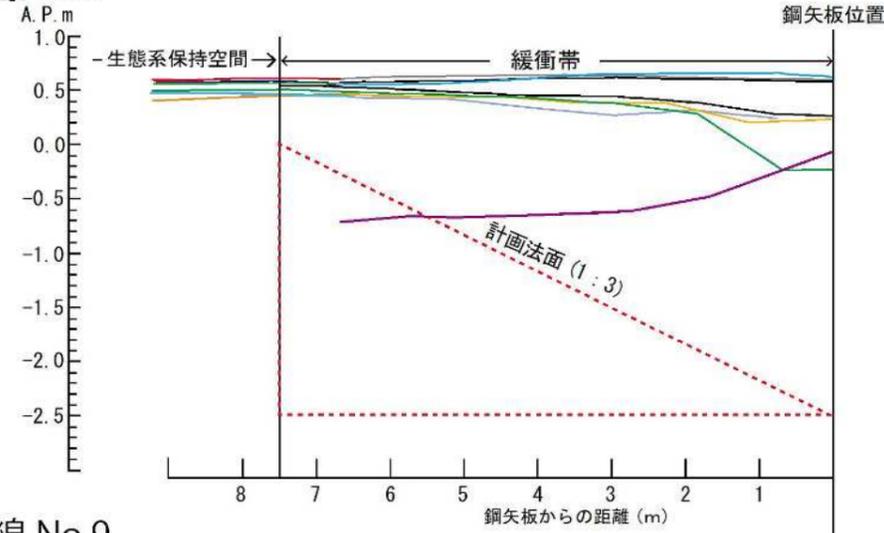
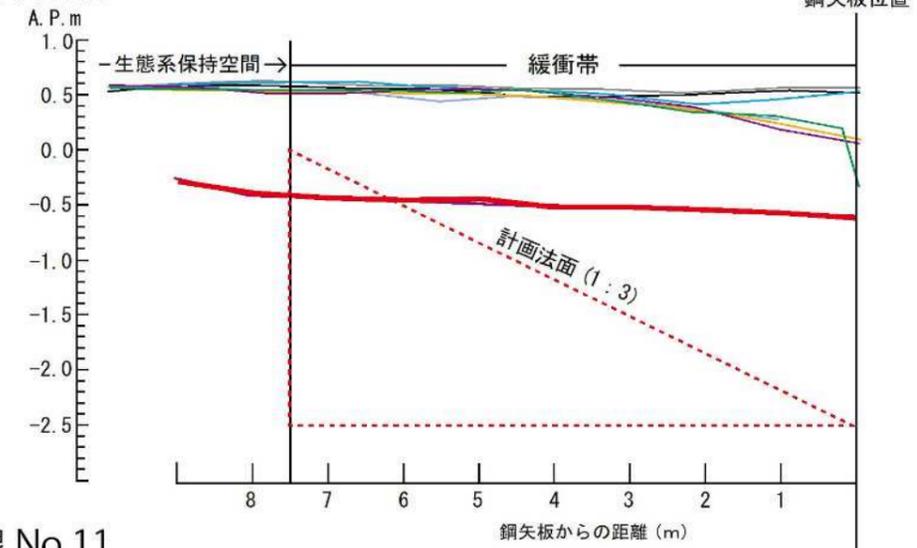


図 9.3 干潟等深線図 (R2 年度秋季)

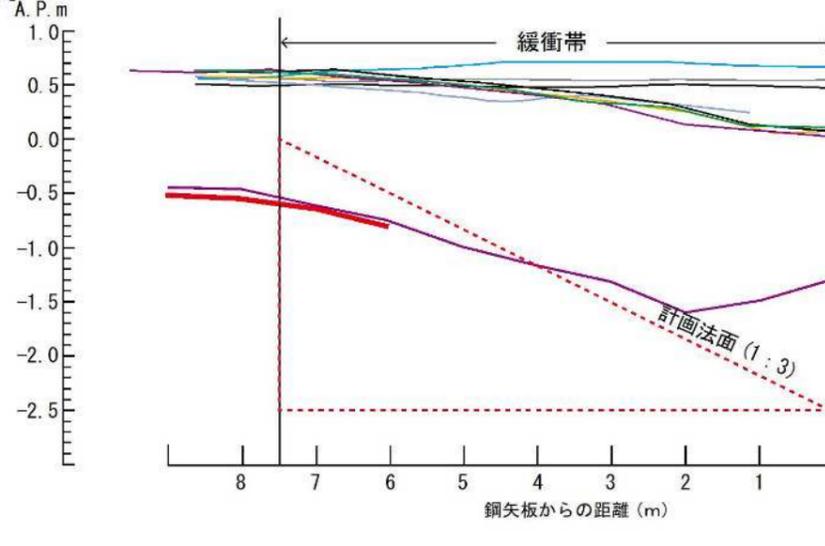
測線 No.7



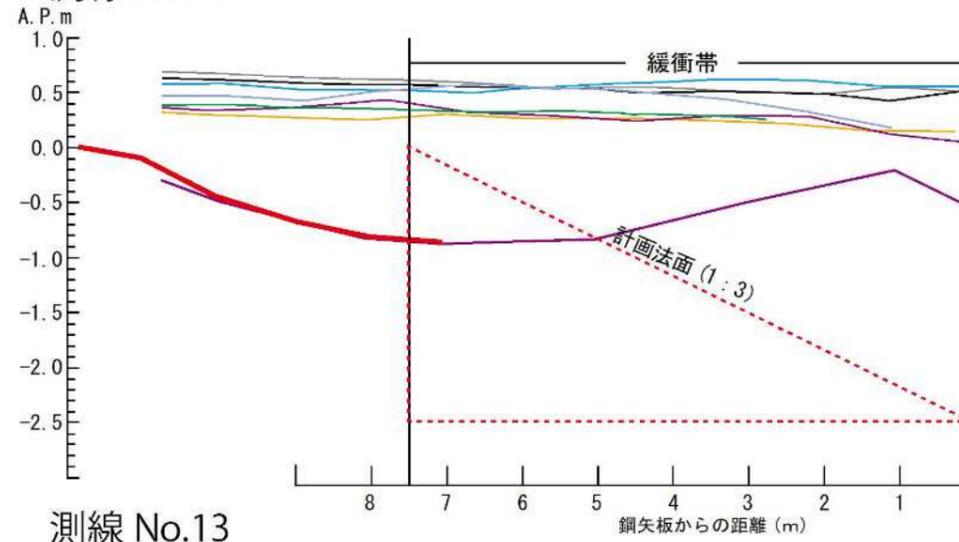
測線 No.10



測線 No.9



測線 No.11



測線 No.13

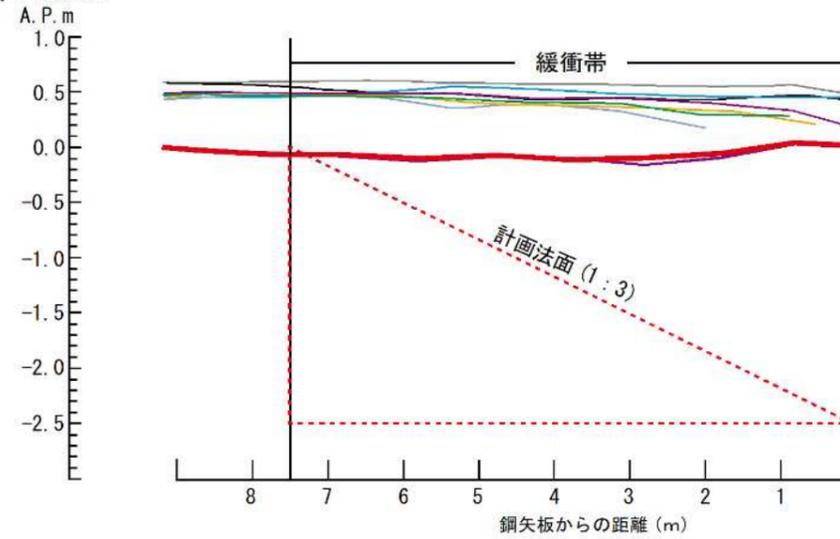


図 9.4 緩衝帯付近の横断面図

(10) 底生動物調査(干潟調査)

1) 調査方法

底生生物の調査方法は、定量調査(スミスマッキンタイヤ(河川内)、コアサンプラー(干潟))、任意踏査(スコップ、タモ網等)による採集を行った。

採取方法は、15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ20cmまで採泥し、1.0mm目のフルイで砂泥を濾して各地点の底生生物を採集した。

微細藻類は、5cm四方の範囲を1~2mmの厚さで採取し、エタノール99%で固定したのち分析した。

底生生物調査方法及び実施状況は、に示す表10.1とおりである。

表 10.1 底生生物調査・藻類調査方法及び実施状況

	調査方法	
	底生生物調査	藻類調査
実施状況		
	R2年度春季(R2. 5. 8)	
実施状況		
	R2年度秋季(R2. 9. 30~10. 1)	
概要	定量採集は、調査範囲内に設定した調査地点で、φ15cmの円柱状のコアサンプラーを用い、スコップや熊手を用いてその範囲の底泥を深さ20cmまで掬いとり、1.0mm目の篩で砂泥を濾し、残渣物を底生生物の分析試料とした。	微細藻類は、5cm四方の範囲を1~2mmの厚さで採取し、エタノール99%で固定したのち分析した。

2) 調査結果

表 10.2 総採集個体数及び総湿重量 (R2 年度春季)

R2年度春季

No.	門	綱	目	科	学名	地点	合計	
						種名	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	11	0.30
2	軟体動物門	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	Musculista senhousia	ホトトギスガイ	3	0.25
3			マルスダレガイ目	シオサザナミ科	Nuttallia sp.	Nuttallia属	1	0.18
4					シジミ科	Corbicula japonica	ヤマトシジミ	9
5				Corbicula sp.	Corbicula属	11	0.08	
6				マルスダレガイ科	Ruditapes philippinarum	アサリ	8	1.44
7			環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone sp.	Eteone属
8	ゴカイ科	Hediste sp.				Hediste属	83	0.98
9	スピオ目	スピオ科			Polydora sp.	Polydora属	1	0.00
10					Prionospio japonicus	ヤマトスピオ	39	0.27
11					Pseudopolydora sp.	Pseudopolydora属	59	0.23
12	イトゴカイ目	イトゴカイ科			Capitella sp.	Capitella属	5	0.03
13					Heteromastus sp.	Heteromastus属	7	0.03
14	オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科			Armandia sp.	Armandia属	1	0.00
15	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	Grandidierella japonica	ニッポンドロソコエビ	6	0.03
16			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura sp.	Cyathura属	1	0.03
17			アミ目	アミ科	Neomysis awatschensis	クロイサザアミ	7	0.04
18					Neomysis sp.	Neomysis属	10	0.04
19			エビ目	モクズガニ科	Hemigrapsus takanoi	タカノケフサイソガニ	1	0.07
種 類 数							19種	
個体数・湿重量合計							264個体 6.63g	

表 10.3 地点ごとの採集個体数と湿重量 (R2 年度春季)

R2年度春季

No.	門	綱	目	科	学名	地点 種名	No. 5+60		No. 5+80		No. 5+100		No. 8+40		No. 10+30		No. 11+30		No. 13+20		No. 14+60		No. 14+80	
							個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門			1	0.01	1	0.00	1	0.01	1	0.01	3	0.12	2	0.11			2	0.04
2	軟体動物門	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	Musculista senhousia	ホトトギスガイ								1	0.08	2	0.17							
3			マルスダレガイ目	シオサザナミ科	Nuttallia sp.	Nuttallia属													1	0.18				
4				シジミ科	Corbicula japonica	ヤマトシジミ			3	0.10	2	0.14							3	2.38	1	0.01		
5					Corbicula sp.	Corbicula属			8	0.05							3	0.03						
6				マルスダレガイ科	Ruditapes philippinarum	アサリ			1	0.00			3	0.88	2	0.20	1	0.24			1	0.12		
7	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone sp.	Eteone属			1	0.00														
8				ゴカイ科	Hediste sp.	Hediste属			19	0.18	7	0.06	35	0.46	8	0.13	11	0.13	1	0.01			2	0.01
9			スピオ目	スピオ科	Polydora sp.	Polydora属			1	0.00														
10					Prionospio japonicus	ヤマトスピオ			21	0.16			3	0.00	2	0.01	1	0.00	10	0.10	1	0.00	1	0.00
11					Pseudopolydora sp.	Pseudopolydora属			37	0.14			4	0.02	1	0.00	3	0.00	6	0.04	3	0.01	4	0.02
12			イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella sp.	Capitella属			3	0.03			2	0.00										
13					Heteromastus sp.	Heteromastus属															7	0.03		
14			オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	Armandia sp.	Armandia属																	1	0.00
15	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	Grandidierella japonica	ニッポンドロソコエビ			1	0.00	2	0.02			1	0.01					1	0.00	1	0.00
16			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura sp.	Cyathura属													1	0.03				
17			アミ目	アミ科	Neomysis awatschensis	クロイサザアミ													2	0.01	2	0.01	3	0.02
18					Neomysis sp.	Neomysis属															7	0.04	3	0.00
19			エビ目	モクスガニ科	Hemigrapsus takanoi	タカノケフサイソガニ									1	0.07								
種類数							4種	10種	2種	6種	8種	7種	8種	8種	8種									
個体数・湿重量合計							13個体	0.15g	88個体	0.68g	8個体	0.06g	48個体	1.37g	17個体	0.51g	24個体	0.69g	26個体	2.86g	23個体	0.22g	17個体	0.09g

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

表 10.4 総採集個体数及び総湿重量 (R2 年度秋季)

R2年度秋季

No.	門	綱	目	科	学名	地点	合計	
						種名	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	4	0.16
2	軟体動物門	二枚貝綱	盤足目	ミズゴマツボ科	<i>Stenothyra edogawensis</i>	ウミゴマツボ	4	0.00
3			イガイ目	イガイ科	<i>Musculista senhousia</i>	ホトトギスガイ	29	0.31
4			マルスダレガイ目	ガンツキ科	<i>Arthritica reikoeae</i>	ガタツキ	1	0.00
5				バカガイ科	<i>Mactra veneriformis</i>	シオフキガイ	1	0.26
6				ニッコウガイ科	<i>Macoma incongrua</i>	ヒメシラトリガイ	1	0.24
7				シジミ科	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジミ	13	1.57
-					<i>Corbicula sp.</i>	Corbicula属	14	0.10
8			マルスダレガイ科	<i>Mercenaria mercenaria</i>	ホンビノスガイ	5	0.43	
9				<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	7	0.55	
10	環形動物門	ゴカイ綱	サンバゴカイ目	サンバゴカイ科	<i>Eteone sp.</i>	Eteone属	1	0.00
11				カギゴカイ科	<i>Sigambra sp.</i>	Sigambra属	1	0.00
12				ゴカイ科	<i>Hediste sp.</i>	Hediste属	62	0.47
13				ゴカイ科	<i>Neanthes succinea</i>	アシナガゴカイ	1	0.01
14			スピオ目	スピオ科	<i>Pseudopolydora sp.</i>	Pseudopolydora属	4	0.00
15			イトゴカイ目	イトゴカイ科	<i>Capitella sp.</i>	Capitella属	4	0.00
16				イトゴカイ科	<i>Heteromastus sp.</i>	Heteromastus属	23	0.13
17	イトゴカイ科	<i>Notomastus sp.</i>		Notomastus属	81	0.25		
18	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	<i>Grandidierella japonica</i>	ニッポンドロソコエビ	11	0.01
19			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	<i>Cyathura sp.</i>	Cyathura属	12	0.14
20			エビ目	テナガエビ科	<i>Palaemon sp.</i>	Palaemon属	1	0.01
種 類 数							21種	
個体数・湿重量合計							280個体 4.64g	

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

表 10.5 地点ごとの採集個体数と湿重量 (R2 年度秋季)

R2年度秋季

No.	門	綱	目	科	学名	地点		No. 5+60		No. 5+80		No. 5+100		No. 8+40		No. 10+30		No. 11+30		No. 13+20		No. 14+60		No. 14+80		
						種名	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	紐形動物門	(紐形動物)	(紐形動物門)	(紐形動物門)	NEMERTINEA	紐形動物門	2	0.10					1	0.04			1	0.02								
2	軟体動物門	二枚貝綱	盤足目	ミズゴマツボ科	Stenothyra edogawensis	ウミゴマツボ							1	0.00					2	0.00					1	0.00
3			イガイ目	イガイ科	Musculista senhousia	ホトトギスガイ				7	0.06							1	0.02	5	0.06	2	0.02	14	0.15	
4			マルスダレガイ目	ガンツキ科	Arthritica reikoeae	ガタツキ																1	0.00			
5				バカガイ科	Mactra veneriformis	シオフキガイ				1	0.26															
6				ニッコウガイ科	Macoma incongrua	ヒメシラトリガイ						1	0.24													
7				シジミ科	Corbicula japonica	ヤマトシジミ	6	1.22	3	0.18				1	0.01	2	0.08			1	0.08					
-					Corbicula sp.	Corbicula属									7	0.05	2	0.02	1	0.00	1	0.01	1	0.01	3	0.02
8				マルスダレガイ科	Mercenaria mercenaria	ホンビノスガイ				1	0.12	4	0.31													
9					Ruditapes philippinarum	アサリ				2	0.04	4	0.41			1	0.10									
10	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	サシバゴカイ科	Eteone sp.	Eteone属																	1	0.00		
11				カギゴカイ科	Sigambra sp.	Sigambra属							1	0.00												
12				ゴカイ科	Hediste sp.	Hediste属	5	0.01	18	0.22	1	0.01	1	0.01	6	0.05	4	0.01	9	0.03	12	0.09	6	0.04		
13				ゴカイ科	Neanthes succinea	アシナガゴカイ							1	0.01												
14			スピオ目	スピオ科	Pseudopolydora sp.	Pseudopolydora属	1	0.00	2	0.00														1	0.00	
15			イトゴカイ目	イトゴカイ科	Capitella sp.	Capitella属	1	0.00			2	0.00												1	0.00	
16				イトゴカイ科	Heteromastus sp.	Heteromastus属	5	0.06	1	0.01							1	0.00	5	0.03	4	0.02	7	0.01		
17				イトゴカイ科	Notomastus sp.	Notomastus属			24	0.09	3	0.01	5	0.01	12	0.05	2	0.00	28	0.09	4	0.00	3	0.00		
18	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	Grandidierella japonica	ニッポンドロソコエビ	4	0.01	1	0.00	1	0.00					3	0.00					2	0.00		
19			ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	Cyathura sp.	Cyathura属			1	0.01	1	0.01	1	0.02	2	0.02	2	0.02	1	0.01	4	0.05				
20			エビ目	テナガエビ科	Palaemon sp.	Palaemon属					1	0.01														
種類数							7種		12種		12種		4種		7種		8種		7種		9種		8種			
個体数・湿重量合計							24個体	1.4g	62個体	1g	21個体	1.04g	8個体	0.05g	31個体	0.37g	17個体	0.07g	50個体	0.3g	31個体	0.19g	36個体	0.22g		

注) 湿重量欄の0.00は0.01g未満を示す。

(11) 底質調査(干潟調査)

1) 調査方法

底質調査は、表 11.1 に示す調査手法を用いて、調査範囲内の底生生物の生息環境を把握するために土質調査を実施した。

底質の採取方法は、15cm の円柱状のコアサンプラーを用い、底泥を深さ 20cm まで採泥し、土質調査(粗度組成、強熱減量、COD)、現地測定(pH、底層 DO、水温、塩分)を行った。

表 11.1 底質調査方法及び実施状況

調査方法	底質調査	
実施状況		
	R1年度春季(R2. 5. 8)	R2年度秋季(R2. 9. 30~10. 1)
概要	<p>底質調査は、底生生物の生息環境を把握するため、底生生物の定量採集と同じ地点で底質を採取し、性状、酸化還元電位、塩分、含水比等を記録した後、試料を持ち帰り、粒度組成、強熱減量の分析を行なった。</p>	

2) 調査結果

表 11.2 生息環境調査結果 (R2 年度春季)

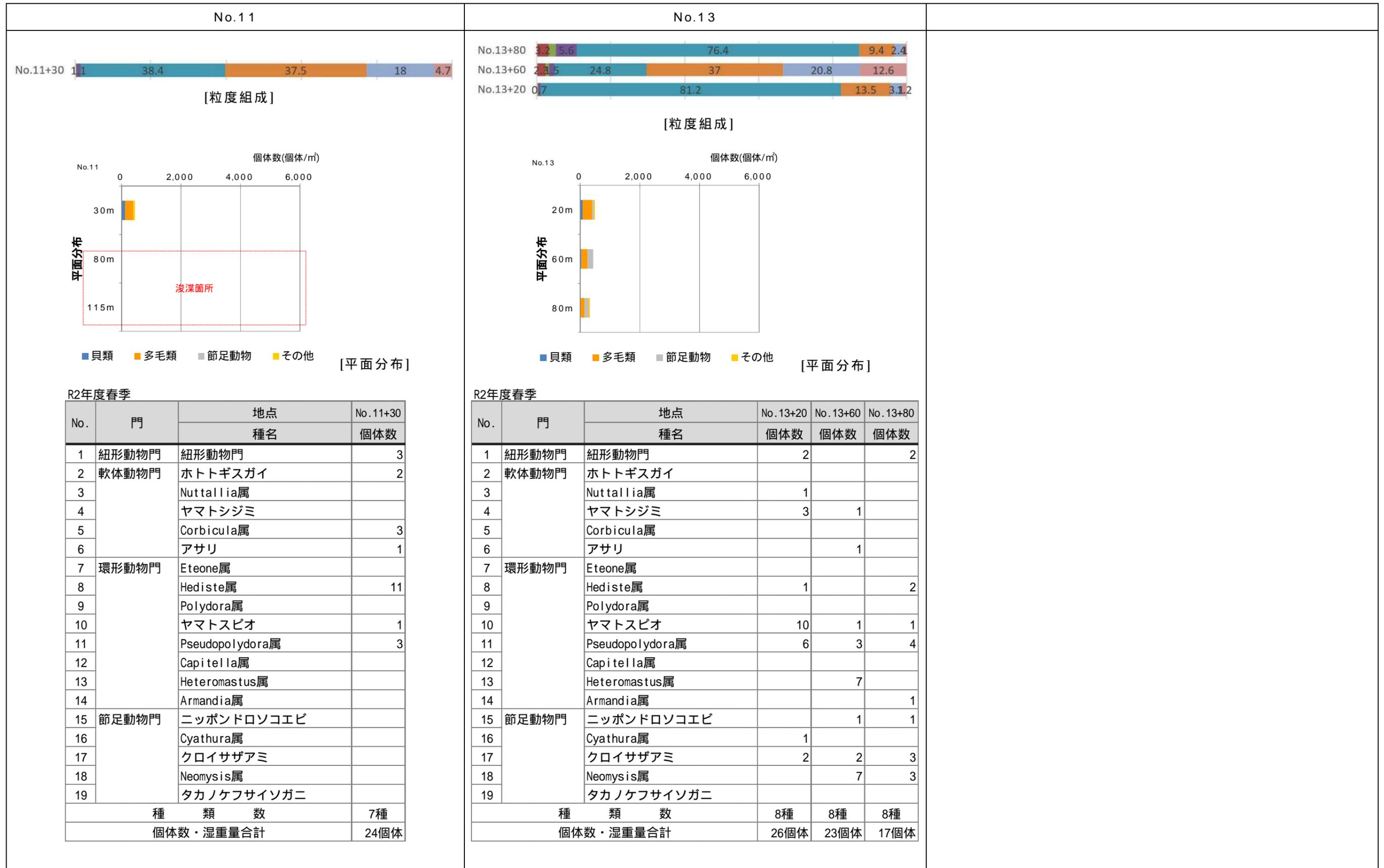
地点名	強熱減量(%)	COD (mg/g-dry)	酸化還元電位 (mV)	塩分
No.5+60	2.7	-	-70	1.83
No.5+80	2.7	-	18	1.11
No.5+100	4.1	-	-37	1.15
No.8+40	2.1	-	26	1.35
No.10+30	2.4	-	-96	1.68
No.11+30	3.6	-	-54	1.73
No.13+20	2.5	-	33	1.61
No.13+60	2.6	2.5	47	1.54
No.13+80	3.0	-	140	1.29

表 11.3 (1) 平面分布状況(R2年度春季)



平面分布グラフは 1 m²あたりの個体数に直したもの。粒度組成凡例：■粗礫 ■中礫 ■細礫 ■粗砂 ■中砂 ■細砂 ■シルト ■粘土。グラフの数字は%。

表 11.3 (2) 平面分布状況 (R2 年度春季)



平面分布グラフは 1 m²あたりの個体数に直したもの。粒度組成凡例：■粗礫 ■中礫 ■細礫 ■粗砂 ■中砂 ■細砂 ■シルト ■粘土。グラフの数字は%。

表 11.4 生息環境調査結果 (R2 年度秋季)

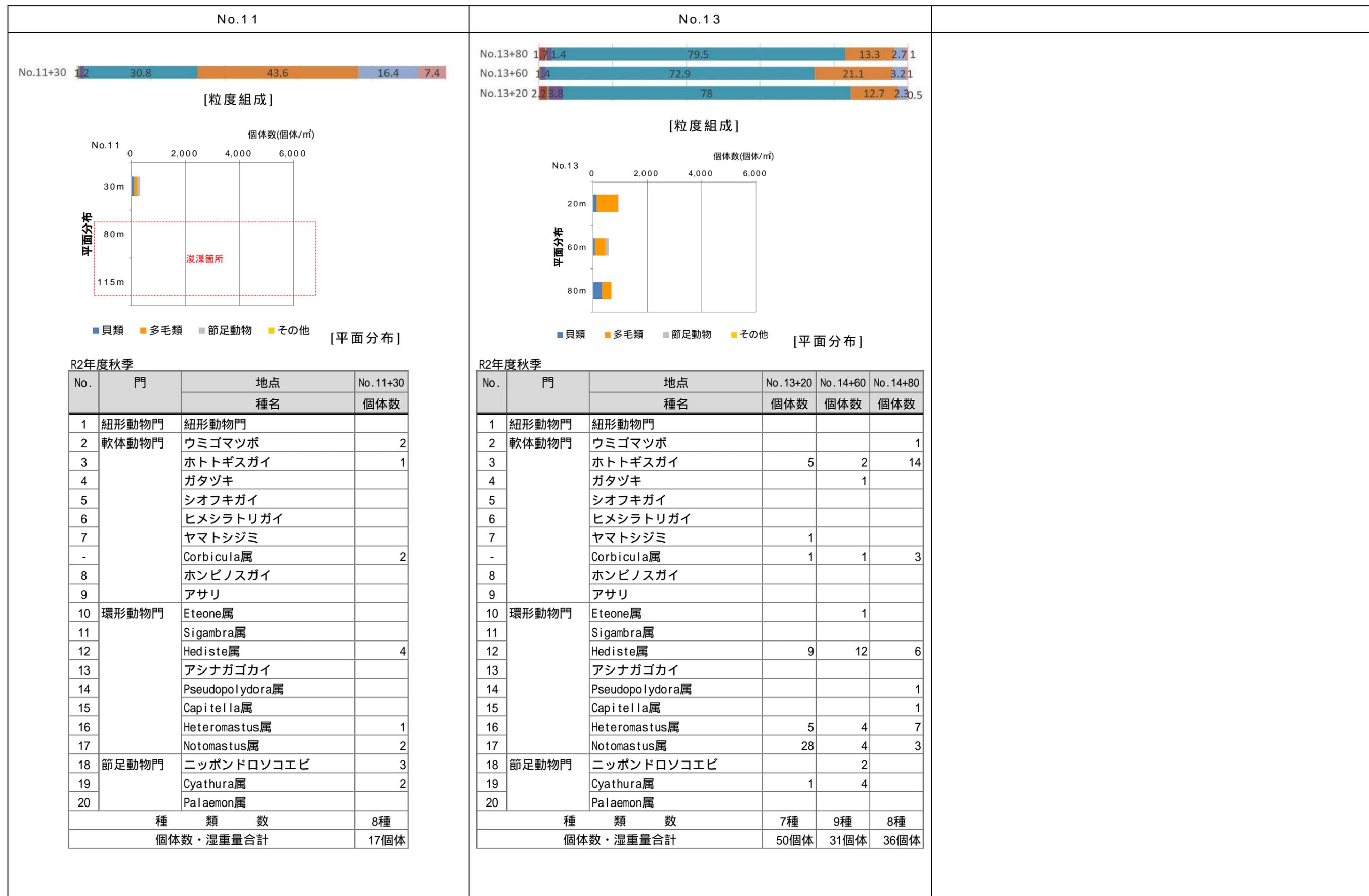
地点名	強熱減量 (%)	COD (mg/g-dry)	酸化還元電位 (mV)	塩分
No. 5+60	2.3	-	-29	1.20
No. 5+80	2.3	-	-109	1.21
No. 5+100	3.5	-	-42	1.20
No. 8+40	2.3	-	79	1.11
No. 10+30	2.3	-	86	1.10
No. 11+30	2.2	-	123	0.95
No. 13+20	2.8	-	151	1.02
No. 13+60	2.4	2.0	132	1.05
No. 13+80	2.4	-	45	0.94

表 11.5 (1) 平面分布状況 R2 年度秋季)



平面分布グラフは 1 m²あたりの個体数に直したもの。粒度組成凡例：■粗礫 ■中礫 ■細礫 ■粗砂 ■中砂 ■細砂 ■シルト ■粘土。グラフの数字は%。

表 11.5 (2) 平面分布状況(R2 年度秋季)



平面分布グラフは 1 m²あたりの個体数に直したもの。粒度組成凡例：■粗礫 ■中礫 ■細礫 ■粗砂 ■中砂 ■細砂 ■シルト ■粘土。グラフの数字は%。